夕刊
滿洲日報
三月廿四日

ロンドン會議の收獲
五國協定可能の範圍
幾多の難關が橫はる三國協定

【ロンドン二十三日發電】軍縮會議フランス側全權は目下首腦部全部パリーに歸還中であるがその内デューメニール海軍長官は二十四日、ブリアン外務長官は二十五日頃ロンドンへ來ることゝなつたが之は會議に新らしい**希望を認**めたゝめでなくフランスとして此まゝ長く會議地を離れ居ることは會議不成功の責をフランスに負はせらるゝ結果となるを虞るに因るもので最早英佛關係、佛伊關係は共に殆ど解決の見込みなく、斯くてロンドン會議は今や少くとも一部的失敗を暴露したと稱するも過言でない事情となつた、只從來の經過に鑑み左の諸點は或は纏まるべく結局

五國條約が若し出來るとしても左の範圍を出ないものとなるであらう
一、一九三六年までの各國の軍艦建造量を決定すること（主力艦の建造休止を含む）
一、將來更に軍縮會議を招集する件につき準備をなすこと
一、フランスの提案にかゝる艦船間の融通を認むる制限方式を決定すること
一、潛水艦使用制限規定を決定すること
一、特殊艦及び制限外艦船に關する規定を決定すること
右五項目であるが、就中第一項は佛伊均勢の主義主張の爭ひに觸れず實質的に制限の目的を達せんとする唯一の方法として今後の交渉に屬するところであるが

建造能力には各國自づから限度あり例へイタリーがフランスと同樣の建造量を得んとしてもフランスは必らずしも之に反對せざるべく、只フランスの建造量に對しイギリスの態度如何がなほ疑問とさるゝも既にマクドナルド氏はブリアン外務長官に對し此方式に據らんことを提議せる事實あり或は纏まるに至るやも知れぬ、只今日いづれの方面においても確信はついてゐないやうである、若しそれ日英米

三國協定が三國とも滿足なるところで成立せば本會議最大の收獲なるも、なほ幾多の難關が橫はつてゐる

蔣、閻、馮三氏協力和平に努力せよ
張學良氏が近く通電

【奉天特電二十四日發】張學良氏は踵を接して來奉する各方面の代表に對する應酬の煩に堪へず近く時局に對する自主的意見を發表すべく準備中であると傳へられてゐるがその骨子は大體次の如きものであると
一、全國の軍隊を平均に編遣すること
二、蔣介石氏の立場を尊重して現政府を擁護すること
三、閻錫山氏の意見を尊重して國民大會を召集し國是を解決すること
四、蔣閻馮三氏とも當分下野せず時局を整理して編遣を實施すること

北平市中の反蔣ビラ

北平市黨部の宣傳部が、一九二八年の夏以來、南京政府中心一點張りの躍起の宣傳もけふこの頃の北平は「閻中心」の宣傳と早變りして、街々には「禍國的蔣逆中正」等と云ふビラが貼られ、北方政府今や生る！の感じが漲ひはじめてゐる。

走馬燈

荻川

氣運（其四）

これを我國に觀ると、昔は民衆を士農工商に差別したが、士は文武なり、然るに今や武は農工商の間に分たれ、擧國皆兵といふことになつた、文に於いても内治では民衆の參政權が擴げられ、外交でも民衆の輿論を待つようになり、絕對に侵すべからざる司法の權内に、民衆の陪審を許す時世となつて、文もまた武に等しく、之が漸く農工商の肩に移らんとして、所謂士の領域は次第に狹まる。

◇

人智が高まると、誰でも互に劃せられたる民衆差別の内に入り易くなる、從ふて亦其の差別を設くるを欲せなくなる、そうして此事理を明に證するは、露國革命にあらざるか、露國革命は勞農を以て民衆を差別し、勞は乃ち工業者側にして、農は乃ち生產者側を代表す、革命露國には此民衆二差別の外に、士はなし、商もない、士商のことは國民全體が之に當るといつた調子で、こゝに此制度を直に我國のと對比せんとするのでないがそれで世界の氣運を示さんとするのみ。

◇

我國には我皇謨がある、我國には我が歷史がある、敢て他を眞似るに及ばぬが、そもそも我國の世界列國に負けないで、これと競ひ立ち行き得るは、世界の氣運を察し、此氣運から生ずる事態を取入れて、それを消化するからで、人は我國がよく外國に眞似ると云ふが、眞似ると見ゆるは、消化せんとして之を取入れる間際なのである、斯うしたことを考えて、さて商なるものに及ぶと、氣運は我國の所謂商に革命を促して居る、差あたり消費組合の發達、百貨店の出現から、連鎖商街の提唱なぞがそれ。

◇

要するに士の差別が、農工商の上に配當さるゝに至りし如く、此次は商の差別が、農工の上に配當さるゝに至るまいか、斯くて國内では、特殊にして消費者に便利なる商機關が起つて、一般小賣商なぞ衰え、之を大にせば、海外貿易の如き、露國の國營とまでに至らずとも、工業生產兩者聯合機關によつて、之が營まるゝようになるかも知れないが、先づ以て一般小賣商などは、前途に光明の極めて乏しきが察せらる。

米駐屯軍增員

【天津廿四日發電】米國の北支那駐屯軍では今回の駐屯兵更代に際して米本國より百五十名の下士卒を增員した、時局の不安が傳へられてゐる昨今のことゝて注目されてゐる

特別議會における貴院論戰の中心
補償法、失業對策、教育費問題

【東京廿四日發電】貴族院各派間には政府の糸價補償法の運用決定以來中、小商工業者に對する保護政策を中心に緊縮政策の緩和は積極政策への轉換が相當有力に唱道され來るべき特別議會には義務教育費問題と共に野黨系議員の痛烈な質問戰が行はれる形勢であるが財界不況問題と關連し益々重大性を帶び來つた、失業問題に對しても貴族院は相當政府の態度を難詰せん空氣濃厚で現に研究會が過日吉田社會局長官を招致して本問題の現狀並びに當局の對策如何を聽取したが火曜會でも四月八日華族會館に例會を召集し安達内相の出席を求め懇談的に選擧革正問題に對する當局の意嚮を確むると共に失業問題に就いても當局の對策方針につき詳細なる說明を要求する筈で公正會亦本問題の基礎的調査を急ぎつゝあるから不日内務當局に對し責任ある說明を求むることとなるべく現内閣の金看板とする產業合理化政策と關聯し貴族院における失業問題對策は緊張を呈するものと見られてゐる

心理學界の新しい學說發表
世界青年大會に出席した鈴木梅吉氏の歸朝談

日本に於けるYMCA代表として米國の世界青年大會に出席した心靈學大家鈴木梅吉氏は廿二日の歐亞聯絡列車にて來哈し語る
昨年九月一日から一週間米國のエール大學にて心理學大會が開催され日本からは今田、寺澤、太田三氏と私が出席した、會議の題目のうち最近の

發見としては英のスペヤーニン氏の智能發表とドイツのケーラー・コフカー氏の形態心理學は新學說であつて米國の心理學界における研究と全然反對の立場にあることが說明された、ロシヤからは世界的大家であるタブロフ博士が出席し生物學（レフレツクス、コンデーシヨン）——これは犬に電氣を感流せしめその兆候によつて唾液を出さしめその心理狀態を人間の場合の參考として研究せんとする學說であつて心理學界においては

新學說である、それからフランスのジヤネー博士は精神分析學を發表しドイツのフロイド、アドラー氏は心理學は外面的にも流れてゐる心的作用の反應を研究する必要があると云ふ、假令へば歐洲大戰當時出征した軍人が職場に出て互彈に見舞はれた際ハツとした瞬間に眼をつぶつた爲めに盲目となつたのを精神分析學によるとその過程に行くまでの狀態に引戾し、再び眼を開くやうに

誘致する學說であつて最も新らしい研究方法であつた又米國では行動心理學即ち人間の外面的行動によりその心的作用を研究する學說でドイツの形態心理學と全然反對の學說であつたが、要するに心理學は局面の轉換をせねばならぬ行詰りの狀態で各國の心理學者も一樣にその缺陷を認めてゐた【ハルビン時信】

奉天派の内部監視

【間島廿四日發電】張學良氏は管下各軍隊内に便衣隊を密派して居るが最近閻蔣間の反目濃厚となるにつれ東北陸軍部内も多少動搖を免れぬと見て此際各隊長の動靜を監視せしむる爲め便衣隊の充實を期しこの程便衣隊長及び腹心の隊長を招致し、現在の組織を改め、最高を旅とし旅内に二個團を置き

莫全權等二十九名
來月二日赴露決定
會議の前途は多難

【ハルビン二十四日發電】露支正式會議支那全權莫德惠氏以下隨員は會議の下準備に寧日なき有樣であるが、莫全權以下二十九名はいよいよ四月二日モスクワへ向ふことに決定した、依つてハルビンロシア總領事メリニコフ氏は外務人民委員會にそれぞれその旨を打電した、なほ支那側では會議の前途を樂觀して居ないが結局露支關係に新生面を開くに至るべしと見られてゐる

電政權問題
勞農側承認せず

【ハルビン廿四日發電】東鐵電信課の權利が勞農側に掌握されたのを憤慨した支那側は電信管理權を要求し莫督辦の歸哈により愈々露支正式細目會議を開催し支那側は六ケ條の要求を提案し國境滿洲里ポグラの兩地に電報支局を開設し沿海州及モスクワへの打電を檢閱すべく主張したが勞農側は極力反對し交渉は外面傳へられるが如く圓滿に進捗してをらないと、勞農側としては支那の主權は承認するが別にそれが爲め抑制される點はないと云ふのが根本的主張で哈府協定の際に斯かる問題は提議し解決すべきものであると何處までも突ッ張つてゐる、然し料金問題は兩國において妥協する一縷の望みある由

沿岸航路の管理
拓務省に移管交渉

【東京二十四日發電】拓務省では外國に於ける沿岸航路就航船例へば日清汽船の宜昌、重慶線、上海漢口線、漢口、宜昌線、南方線等に對する航路、補助に關する事項が目下遞信省において掌理せられつゝあるも右は海外拓殖事業なるを以て拓務省所管とすべきであるとし近く移管に關する交渉を開始するはずであるが、それと共に更に現在遞信省の命令航路中内地と各殖民地又は拓殖事業と密接なる關係を有する地方を連絡するもの例へば南米航路東岸線（大阪商船）大連線（同）日本海航路樺太線、朝鮮西岸線（朝鮮郵船）等は拓殖省側と密接な關係があるので該事項については豫じめ遞信省から拓務省に合議するやう交渉することゝなつた

阿片取締に關する意見申出を希望す
目下滯連中の國際聯盟委員がステートメント發表

國際聯盟極東阿片吸食取締問題調査委員の一行は二十二日來連以來各方面に亘り實情調査をなしつゝあるが二十二日附左のステートメントを發表した
關東州に於ける大連並びに旅順に於ける關東廳の關係官と會談し實狀を聽取す、本委員會は阿片吸食取締問題に關し關係私的諸團體並びに個人の意見を聽かんことを欲す、されば是等の團體並びに個人にして同委員に陳述せんとする向は星ケ浦ヤマトホテル氣付秘書レンボルグ氏宛申出あらんことを希望す
本委員會の關東州に於ける調査に就ては時日に制限あり凡ての諸團體の代表者並に凡ての關係個人と親しく面談することは困難とする事情あるを以て其の所見を書面にて提出せられんことを希望す（寫眞は委員長エクストランド氏）

仙石總裁の日程變更
卅日夜大連着

歸任の途にある仙石滿鐵總裁は二十四日八幡製鐵所を視察中であるが二十四日京城以後の日程を左の如く變更した旨滿鐵本社に入電があつた
△二十四日　八幡製鐵所視察
△二十五日　午前十時三十分下關發同日午後六時三十分釜山上陸同夜東萊溫泉一泊
△二十六日　釜山發、同日京城着
△二十七日　京城滯在
△二十八日　京城發、同日午後九時二十五分安東着一泊
△二十九日　安東滯在、同夜五龍背溫泉一泊
△三十日　五龍背發、同日二十時三十分大連歸着

滿洲商工業發展の二大重要方策審議
近く招集の關東廳經濟調査會
けふ新任職員を發表

第五回關東廳經濟調査會は左記の通り四月一日午前九時三十分より同廳會議室において開會に決定、會議招集の通知を發した、而して神田會長は二十四日委員に對し今期會議の附議事項既報の如き今般太田長官より諮詢されたる左記二重要案件にして會議の結果如何は直に現在乃至將來の滿洲商工界に多大の影響をもたらすべき問題となれる滿鐵製鋼組合問題又第二號案に關して昭和製鋼所一面又第一號案に關しては當然目下問題等その審議を見る筈で今回の會議は相當緊張するあらうと思はるゝが、これより先き同會でその機構に鑑みて左記如く委員及び臨時委員を增員し從來の名士或は官吏主義を廢して實際商工業關係者或は學識者に選任して大いに實質的に會の内容を改善した

諮問事項
第一號　滿洲に於ける中小商工業振興に關する方策如何
滿洲に於ける各種事業は最近種々なる財界の變動に遭遇し極度の不況に沈淪せり就中中小商工業に在りては一層之が深刻化せるものある實相に鑑み此際之が振興を圖る爲適切なる方策を講究するの要ありと認む而して本件に付ては詳に現在中小商工業經營の缺陷を檢覈して改善の策を審議し更に之が振興に關する根本的方策の樹立に關し諮議せむとするものなり
第二號　滿洲に於て特に發達せしむべき重要工業の種類並之が助成の方策如何
絶近滿蒙資源の開發は甚だ顯著なるものありと雖仍た充分ならざるものあり依つて其の資源開發利用に關する重要なる工業の種類を討究し且之が樹立發達の爲官民に於て採るべき助成方法に付諮議せむとするものなり

△會長　神田純一

用度事務所分掌

滿鐵用度事務所では今回事務分掌規定を變更し左記十三係をおき廿五日より實施する筈
庶務、第一調度、第二同、第三同、第四同、第五同、審査、調査、計算、檢收、整理、發着、

滿鐵社員會幹事
廿四日開票の結果

滿鐵社員會で先般行つた評議員選擧當選者の互選による第二次幹事選擧は廿二日午後締切り廿四日午前中に開票を終つたが各部、箇所より二名宛選出せる二十名の幹事當選者左の如し
△總裁室松尾盛男、中山晴夫△庶務部島一郎、篠原吉郎△鐵道部隅田虎二郎、佐藤達二△地方部神守源一郎、河村牧男△興業部中根信夢、岩下敬次△經理部富永能雄、廣崎浩一△東京支社平山敬三、橋本戊子郎△撫順渡邊寬一、廣吉辰雄△鞍山石原金次石橋米一△哈事石原重高、軍司義男△消組今井巳代吉、齋藤茂

△副會長　西山左内　小日山直登
△委員　井上禧之助(新)田中喜介、山崎平吉、今井俊彥、津久井誠一郎(補新)高田友吉、永田善三郎、村井啓太郎、古澤丈作、佐藤至誠、宮田仁吉、小田信治(補新)高崎弓彥、寺田虎次郎、安田柾、武安福男、西山勉、高橋勇、宇佐美寬爾(新)田村羊三(新)權太親吉(新)庵谷忱(新)加藤明(新)加賀種二(新)荒川六平(新)山中繁雄(新)張本政、麗志順、劉仙洲、野田清一郎(新)長谷川熊彥(新)船田要之助(新)世良正一(新)佐藤正典(新)井上輝夫、角野久造、橫田多喜助、藤田臣直、石川鐵雄、佐田弘治郎、武部治右衛門、槐常藏、神成季吉(新)向井龍造(新)勝弘貞次郎(新)上島慶篤(新)今津十郎(新)美川多三郎(新)天滿善次郎(新)福田熊治郎(新)今中良(新)日下辰太、安藤明道、源田松三

印度不服從運動重大化せん
漸やく深刻味を加ふ

【ボンベイ二十二日發電】インドの不服從運動はその後頓に深刻味を加へたが全土に亘る不服從運動が開始されゝば何時迄も無抵抗主義に執着しない事とならう、或方面では今度の運動は堂々たる叛亂の性質を有するに至るだらうとの意見である、全土に亘る不服從運動はガンジー氏が鹽專賣法を無視し製鹽を開始するか又はガンジー氏が逮捕せらるゝや直ちに開始されることになつてゐる、ガンジー氏は四月五日ダンヂー、サラート地方に赴くことゝなつて居りその後鹽專賣法を破ることになつてゐる、尙ガンジー氏の股肱ネール氏も亦明かに新運動遂行の爲めには不服從主義に舉附されないだらうと述べてゐる

北大戰跡見學團

東北帝大滿鮮北支戰跡見學團廿一名は來る廿七日下關發、釜山、龍山、平壤を經て卅日安東着、奉天撫順、長春、哈爾賓を見學し北平天津へ赴き四月十二日大連着、旅大を見學の上十五日うらる丸にて内地へ歸る豫定

廣島高師生天津へ

廣島文理科大學附屬廣島高等師範學校生徒一行十名は同校教官竹村直臣中佐及び浦廉一教授に引率され廿四日午前十時出帆の天潮丸にて天津へ赴いた

卒業式

大連沙河口小學校では二十五日午前十時から第十九回卒業證書授與式を、また朝日校では同十時半から第十二回卒業式を擧行

人事

▲坂本清氏（沙河口署員）東京警察講習所入所のため二十五日出帆の香港丸にて上京
▲池田敬一氏（小崗子署員）同上

大觀小觀

聖駕本日復興の帝都を御巡幸。輝かしき哉。
◇
殿様連が失業問題で政府を難詰するとやら。成程殿樣にも失業者が殖えて來た。
◇
軍縮會議も少しは收獲があるらしい。
◇
無抵抗主義で獨立が出來たら南豆に花、果然雲行が變りさう。
◇
戰ひは勝と見ていよいよ露支會議。
◇
支那が自分で初めて軍艦を造つた。えらいぞ。
◇
謹しんでデンマーク皇儲殿下御歸途の御安泰を祈る。

天氣豫報

廿五日（南西の風）曇勝雨模様後大氣長くなる

各地の溫度

	十一時	昨日最低
大連	一二	五
旅順	一一	五
奉天	一六	三
營口	一五	三
長春	一四	二

復興の大業成り けふ親しく御巡幸

市民の雄々しき努力報いられ 春光に輝く大東京

【東京廿四日發電】聖上陛下には帝都が大正十二年未曾有の大震災の厄に遭つて以來、焦土に雄々しい復興を續けて來た東京市民努力の跡、復興完成の樣を具さに御巡覽あらせらるべく二十四日親くその街衢に玉步を運ばせられた、大江戸三百年の文化と明治、大正六十年の建設を一朝にして灰燼に歸せしめ、そして八萬四千の死傷者を出し卅七億の富を破壞せしめた災厄の中から奮ひ起つた市民が以來七億圓の巨費と六年半の永い日子を費した努力は遂に報いられて、今日輝く巡幸の榮を賜ふたのである、攝政殿下として焦土の慘狀を御覽遊ばされた陛下けふの御感慨、また殊の外と拜され市民もこの光榮の日を永く記念するであらう、復興完成して記念するであらう、復興完成して光輝ある甦生を迎へた大東京……希望と歡喜と光榮との錯綜したこの日二十四日は朝來快晴潑剌たる春の姿である、陛下御巡幸あらせらるゝ事とて御巡路は素より市の內外は日章旗を掲揚し揃の提灯を軒々に吊るし、表現派、分離派、ライト式、ロマネスクさては正統派、反動派等各樣の設計に成る洋館、日本建に復興した街上は華やかに極彩色せられて未だ見ぬ和やかな姿だ、未明から御巡幸沿道兩側には早くも龍顏奉拜の市民や小市民が堵をなし陛下の御巡幸を迎へ奉つた

略式自動車鹵簿にお召

卅哩餘の御里程を御機嫌麗しく みそなはせ給ふ

この日聖上陛下には陸軍樣式大元帥の通常御禮裝を召され大勳位章を御佩用の颯爽たる御風姿にて鈴木侍從長陪乘、略式自動車鹵簿で午前九時四十分、宮城御出門、一木宮相、奈良侍從武官長其他侍從、侍醫、武官、行幸主務官等三臺の自動車で供奉、列外には安達內相中川復興局長官、手塚府知事、堀切市長その他關係官數臺の自動車にて扈從申し上げた

鹵簿は 先づ馬場先門から日比谷公園前通りを當時の燒失區域なる櫻田本郷町に進み、芝御成門宇田川町より大東京が誇りとする復興第一幹線を芝口に出づ、市民歡喜して光榮に面を輝かして奉送迎する中を更に銀座の東側新通路から三原橋へと進んだが三原橋際にて「黎明の東京」「花咲爺」「光輝」「復活」等七臺の華やかな花電車が叡覽に供せられてゐるのが御目をひいた、白魚橋、下槇町、江戸橋を過ぎさせられ坦々と展べられたアスファルトの鋪道を平永、佐柄木、神保の各町を通御六哩餘を

九段坂 に向はせられ近衞步兵第一聯隊田安門に入御あらせられ牛ケ淵の營庭より神田本郷方面の復興狀況を始めて御展望遊ばされた陛下はいつまでも双眼鏡を放させ給はず安達內相、中川長官、手塚知事、堀切市長等交々御說明申し上げた、そこには當時の戒嚴司令官福田雅太郎大將が特に召されて拜謁仰付られたが、陛下には親しく同大將に對し當時の模樣を種々御下問あらせられたと承る、斯くて約十五分間

御眺望 の後、更に水道橋を通御午前十一時府立工藝學校に着御あらせられた、同校は東京府の代表的復興建築で陛下には便殿に入御、直ちに手塚知事より復興事業の奏上を御聽取あらせられ次で震災の最中に生れた地震內閣の首班山本權兵衞伯を始め平沼、井上・岡野等當時の閣僚及び復興關係者一同に列立拜謁を賜つた、府執行復興事業資料及平常の優なる校內をいと御熱心に御覽の後再び鹵簿を竪へさせられ壹岐殿坂、末廣町、湯島大神町から風致全く回復した不忍池畔を通御

陛下が 大震災直後一面燒野ケ原と化した下町一帶を御展望遊された御記憶の上野公園西鄕銅像前に御到着あらせられた、永田元市長、湯淺元警視總監、宇佐美元知事、森元近衞師團長等當時の人々に一々賜謁あり終つて見事にも雄々しき下谷、淺草、本鄕方面の復興振りを御感深げに御眺望あらせられた、かくて陛下には復興事業中魁して架設された言問橋に蒞らせらると自動車を降りさせて

御徒步 にて渡御、折柄日本漕艇協會二十餘隻のボートは一齊にオールを揃へて奉迎の後吾妻橋を言問橋に向ふや、陛下には御鹵簿を約五分間橋上に止めさせられ都下各大學の若人の一段と洗練された妙技を御覽あらせられ隅田公園に著御、國順公夫人に賜謁の後、今回建立の臨幸記碑前にたゝづませられた「花くはし櫻もあれどこのやどの世々にこゝろを我はとひけり」の碑面の趣は畏くも明治八年四月明治大帝が先々代昭武公邸に行幸のみぎり咲きはこる庭內の櫻のさまを御覽、公爵に賜はつたもので由緒ある今回の

臨幸と あはせ因緣深いものだ、それより元被服廠跡なる橫網町の震災記念堂に御立寄遊ばされた、こゝこそ數萬市民最後の地である、いと御感深く御追悼の御有樣拜すだに畏き限りであつた、それより更に自動車鹵簿は藏前橋より淺草橋、松村町、矢の倉町を御巡幸遊ばされつゝ正午近く千代田小學校に御到着遊ばされた

御晝餐 を攝られた後屋上に出御、本所、深川、淺草、下谷日本橋方面の復興市街を御展望、陳列の國、市執行の復興事業關係資料を御覽次で築地河岸なる市立築地病院に行幸あらせられた、陛下には御着後直ちに便殿にて復興衞生施設及び社會事業關係の資料を御覽、屋上にては芝浦の築港をはじめ芝方面の復興狀況を御展望、院內ではレントゲン室、手術室、各診察室など前院長小川中將が海外より得たる

新知識 を注いで施したる設備を約二十分に亘り詳細御覽遊ばされ午後二時同病院御出門、四時間の御巡幸と三十哩餘の御里程を恙なく終へさせられて市民奉送裡を同二時十五分御機嫌麗しく宮城に還幸遊ばされた

寫眞說明 けふ畏くも復興帝都を攀はせられた聖上陛下、下は行幸を辱うした復興記念堂

訓導の異動 愈よあす發表

今回は罷免や任命はないが 頗る廣汎にわたる

大連民政署管內小學校教員の異動に就いては民政署學務係に於て愼重審議中であつたが、適材適所主義で大體の成案も得たのでいよ〳〵二十五日發表されることになつた、今回の異動は管內各小學校、公學堂に波及し校長、堂長始め頗る廣汎にわたるものでその轉出配置は頗る注目されてゐるが、何れも異動のみで女教員十名の罷免を始め新教員の任命その他の任免は學期始めに行はれる模樣である

學び舍を出る 喜びに滿つ

けふ市內各小學校公學堂で 卒業證書授與式を

市內各小學校、公學堂卒業式は二十四、五、六日の三日間にわたつて行はれるが、伏見臺、春日、松林、南山麓、大正、聖德の各小學校及び沙河口、西崗子兩公學堂西崗子商業學堂の各校卒業式は廿四日午前十時半よりそれ〴〵行はれた、

螢の光 の歌に送られて六年間の學び舍を出る少女等の嬉々とした顏、子供が卒業證書を見ながら晴れやかな親達の面持ちに陽炎立つ春日にのんびりした空氣を漂はしたが、同時に行はれた修業式に各一年、級の上つた子供等も證書を貰つて喜び勇んで今日から一週間の春休みを樂みながら校門を出て行つた、殘部の各校は二十五日午前十時半より、また二十六日より擧行されるが、本年度における大連民政署管內の十四小學校の

卒業生 は尋常科千四百三十九名、高等科二百六十一名及び四公學堂普通科五百六十一名、高等科三百四十九名である

神明高女團 けさ下關上陸

【下關廿四日發電】神明高女旅行團一行は朝鮮經由今朝七時下關に到着、團員一同憧れの母國の土を踏んだが、一行元氣旺盛で宮島に向つた

大連第二中學 北支那見學團 けさ出發す

大連第二中學校生徒一行百二十四名は平津方面見學のため長濱藤次郎ほか三教諭に引率され廿四日出帆の天潮丸で天津へ赴いた

松林見學團 京都を見物

【京都二十四日發電】松林小學校母國見學旅行團一行は二十三日は東山一帶に亘る名所舊蹟を訪ね春光麗かな舊都をゆくまで見學、各時代の歷史の說明を聞き得る處多く午後四時半一同無事宿所錢太旅館に歸つた

投石機關手 判明收容さる

去る十九日午前十時半ごろ金福線登沙河橋上で驀進して來た列車の通過を待つため線路外にあつた石門屯五三番地居住徂玄亮（六〇）の頭部に列車の機關室より石炭を投げつけ致死せしめた事件は、高井檢察官現場檢證の結果加害者の探査を行つたところ、第五〇一號列車機關車乘込員大連機關區木村四郎（三〇）の行爲と判明、廿三日傷害致死罪で嶺前屯刑務所に收容された

濃霧に阻まれ 衝突・坐洲

奉天丸救助に急航す

ガス、ガス、乳白色の濃霧がこの二三日來きまつた樣に大連の港の上に覆ひかぶさつてゐる、そしてそのガスが昨日から今朝にかけて幾つかの事件を生みだした、その一つは廿三日午後十一時半ごろ小喜多氏所有高松丸（四百三十二噸船長西原市太郎）が龍口より百廿六名の乘客を積み來連の途、濃霧のために

難航を 續けてゐたが、黃白嶼西南七哩の地點で帽島と覺しき島に衝突し左舷船首を吃水より五尺位上方に若干の損害を被つたが、そのまゝ船體は航行をつゞけ今朝三時廿分大連入港、また廿三日午後八時當地無電局の入報によると國際汽船漢口丸に西口角南一浬の地點で同じくガスのため進路を誤り帽垂島と覺しき島の南西に坐洲し頻りに救助を求めてゐたがその

被害の 程度は强力なる曳船により離洲の見込がつくから至急曳船を派遣されたしとあつたので、大連埠頭よりは滿鐵曳船奉天丸を即時出港せしめんとして手配を進めたが何分濃霧のためやむなく奉天丸は今朝六時現場に急航、目下引揚作業中であると

靑聯講演延期

山城町靑年聯盟本部に於て今廿四日午後五時より開催の筈だつた藤山一夫氏の講演は同氏病氣のため延期

キネマ座談會　本社主催

觀客訓練のため 非常口の利用

平素閉場の時にも開くとよい

映畫館の防火設備（二）

工藤　非常口は大てい赤色電燈で表示するやうになつてゐますが全部さうなつてゐますか

原田　なつてゐます

工藤　換氣についてはどうなつてゐますか

原田　出來るだけ完全にするやうに注意はしてゐるのですが、まだ〳〵完全とまでは言へませんが今日は幸ひ各館の主腦者の方がお集まりですから是非規定通りに換氣裝置を完全にするやう御勵行願ひたいものです、私はフイルムについての知識を持ちませんが、フイルムの燃燒防止方法としてはサックのやうなものでフイルムを覆ふやうにしたらどんなものでせう

芥川　お話の樣なものは出來てゐます、つまりフイルムマガジーンの完全なものです

原田　應急の處置をするにしてもそんなものがあれば大變結構ですね

今井　卷取室と映寫室とを別にした方がよいでせうね、上海などではすべて別になつて居ります

芥川　折角非常口があるのだから解散の時に非常口から出るやうな習慣にすれば混雜を避けることも出來又さういふ訓練が平素から出來て居れば、いざといふ時にも容易に場外に逃げ出すことが出來るでせう、ある汽船ではライフボートの設備がありながら危難に遭つた場合さつぱり役立たなかつたといふ例もあり又ある建築ではホースの設備がありながら非常時に水が出なかつたといふやうな話もありますから、やはり平素から訓練して置くことが肝要で、之も非常時に處する一方法であらうと思ひます

原田　どことゝ場所は言へませんがある病院でホースをしらべて見たらすつかり腐つてゐたといふ實例もありますからね……解散の時に非常口から觀客を出すことは前に浪速館でやつて居たが暗いところで盛んにホースを揃へるのでどうも不都合でいけないといふやうな聲を聞いたことがありました

芥川　夏などは非常口をあけることは換氣の上から見ても大いによいことです

時日	廿二日午後六時
場所	滿鐵社員俱樂部
出席者（順序不同）	
大連署保安係主任	原田貞一
映畫檢閱官	內田愛吉
消防署長	今井民造
大連二中校長	丸山英一
朝日小學校長	櫻井勘四郎
滿鐵社會課	能登博
滿鐵社會課	花井陸一
滿鐵情報課	芥川光藏
滿鐵社員俱樂部	眞殿星麿
帝國館主	南信二
大日活館主	長次郎吉
常盤座主	小泉友男
演藝館主	小田孝澄
寶館代表者	姬路紘二郎
滿洲日報記者	靑山捨夫
同	長谷部貫一
同	工藤與吉

眞殿　解散の時に非常口を開けるといふことは理想としてはまことに結構なことですが、自動車や車などの待つて居るのは表口で非常口は大てい裏口にあるためどうしても觀客は表口の方に出やうとしますから、非常口から出すといふことは實行が困難ではないでせうか

芥川　非常口からすぐ表通りに出られるやうになつてゐると便利なんだがナ

小泉　人間の心理は入つて來た方に出る傾向を持つてゐますからいざといふ場合にはたとへ非常口があつても、やはり入口の方に殺到することになりはしませんか

工藤　だから芥川さんのいふやうに平素から訓練をして置くことが必要でせう

能登　協和會館では常に係員が非常口のところに居るから便利です、いざといふ場合にそれらの係員が出口に立つて「こちらにおいでなさい」と觀衆を導くやうにすれば更によいでせうね、何しろ全體が場外に出てしまふのは僅か二分か三分であるが、火が見えると驚怖するのがよくない、そんな場合には係員がステージに驅上つて相當の指揮をするやうにしたいものです。機械も高級のものは防火の裝置が出來てゐるからなるだけよいものを使用するやうにしたい、技師の訓練を平素からして置くことはもとより必要です、又係員が先づ落ちつくことが大切ですあとは館そのものゝ設備如何です

（第三種郵便物認可）

艶色生膽秘譚（61）

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

異人館（五）

ヴァンギーラに重ねて訊かれた蘭川の行方、それこそ二人が神奈川宿まで、態々出向いて來た用件ではなかつたか？

「その蘭川の行方を訊ねてまゐつたのでござる」

から云ひ放つと左近は油斷なくヴァンギーラの態度に眼をつけた

「私知りません。私不思議に思つてゐました。御承知の取引、この處一向にありません。私も當惑してゐました」

その言葉には僞りがなかつた。

で、左近は三藏が蘭川屋敷へ赴く途中、懷中物を掠めとられた事件を述べたてた。

と、ヴァンギーラもぎよつとしたらしかつたが、それも女賊お仙の仕業であること、やがてお仙が蘭川屋敷へ乗りこんで以來、二人連れ立つて旅に出たまでを、臆測まじえて語り終つた時ホッとしたらしく唇を開いた。

「さうですか、では案ずることもないでせう。旅なら戻つて來ませう。併し血卍組ではその後收獲ありましたか？」

ヴァンギーラは平然と商談を始めた。

「へい、何アにたいしたことも御座んせんが」

三藏は用意の一物を卓上に擴げる。

「よろしい、量目を計つてさしあげませう」

卓の側へ手を伸ばすと、忽ち奥の方で鈴の音が鳴りわたつた。

と、先刻の女がツと入つて來て心得顏に卓上の一物をとつて去る

左近は卓上の不思議な飲物や葉卷に魂をうばはれた如く見入つてゐたが、やおら膝を進めると要件に入つた。

「ヴァンギーラ殿、たつてのお願ひでござる。煙硝火藥の御取次願へまいか、序にと申しては恐れいるが鐵砲もな」

「ほう、血卍組の御申し出ですか？」

「火藥はそれがし必要でござるが銃砲はさる屋敷方よりの御調ひでござる」

「佛人フヒゲ氏が小栗上野介殿にチャッポ銃五千打の商談を進めつゝあります」

「や、それは幕府方へでござらう。それがし仲介に立ち申すは……」

ここで左近ヒョイと唇をつぐむだ。

と云ふのは、うかつに薩摩屋敷の名を出すことが考へられたからである。

「あ、仰有らなくとも解つて居ります。その屋敷は薩摩でございませう？」

左近は眼を見張つた。

「この異人奴、何もかも心得てをる、薄氣味のわるい男だな」

さう思ふと、あまり長座も出來なかつた。

「お察しに任せませう。で、如何でござらう、御返事は？」

「さやう。商談取引はおうけしてもよろしいが、先づ金額なり銃砲數、乃至は火藥の斤量等具體的に承らねばなりませぬな」

「いかにも」

そこで左近、かるく眼を瞑つて暗算をはじめた。

途端に、女が慌たゞしく部屋に入つて來た。

「何です、何事です」

ヴァンギーラの問ひには答へず女は、いきなり左近と三藏とによびかけた。

「はやくお逃げ下さい、裏口が開けてあります、役人衆の宿調べがはじまりました」

「え？」

左近は腑におちなかつた。

と、ヴァンギーラは椅子から宙腰になつて言葉を添へる。

「今日に限つたことではございません。併し、時折の宿調べですが見慣れぬ人、殊にお武家は禁物です、さ早くお立退き下さいまし」

裏口であらう。奥の方を指し乍らせきたてるのであつた。

左近はつきだされた己が帶刀を腰にたばさむや、三藏うながして

「御免！」

挨拶もそこ／＼に部屋をとびだした。

新劇團の惱み（三）

實際と經驗から割り出して

五斗計器

之は素人女優に多いが女優とメンバーの戀愛問題。之が又相當に考慮されねばならぬ問題だ、二人は稽古を早く切り上げて散歩したがる遲れて來る。勿論他の仕事は絶對にしない、他のメンバーは嫉き初める、厭な空氣が漲つたらもうお終ひで芝居は出來ない。確か仲木貞一先生から聞いたと思ふ、「劇團の親方は稀代の人格者であると同時に一面稀代の色魔でなければならない。澤正を見ると一番いゝ、どの女優も自分の身體の二寸位近くに引き付けて操るのだ、親方のする事なら座員は嫉く樣な事がなく從つて不和を釀さない」と云ふのである、成程とうなづかれる事である。

次は役不足の問題である、劇團創立當初は演出者の役の振り當に默從して文句がない、それが二三回上演後となると誰もがいゝ役を望むお天狗になり切つて出るならば出榮えのある受けそうな役を取りたがる、甚だしいのになると全然役所でない豚の樣な太ッチヨが二枚目を望んだり老人役なら出ないと駄々をこねたり一度位主役をやらせてもいゝとか五月蠅い限りである。而しこの振り當配合は主宰者が充分承知してゐて善處しなければならない事だ。

新劇團には兎角理窟屋が多い理論は新劇團に取つて重要だ、然し議論倒れになつては仕方がない。脚本の新古善惡人物の性格如何、新劇團の使命方向、態度演出方法思想、アクティング、上演方法、役員、ポスター、切符の圖案、等々々皆議論の材料となる樣だ。事實理窟や議論じや芝居は出來ない、若し出來るとしたら辯護士なんか名優だ、だから寧ろ理窟拔きにした方がいゝ。歌舞伎や新派の連中の芝居が可成りよく纏まつて行くのはあの絶對的な階級制度。殆ど盲從の樣な服從の爲だと云ふ事が出來ると思ふ。

中村吉藏先生が云つて居た「演劇にはヴァッカスの香りが高いが之は避けねばならぬ事だ」と全くその通りだ。「芝居をする」と云ふと直ちにそれが酒と女が付き物の樣な淫蕩的な響きがする。觀客の立場にある者も又心得違ひのメンバー夫自身がそう思つて居る不屆者がある。之は歌舞伎俳優連中の傳統的精神及び行動が爲した大害毒である。誤解である。新劇團はそんな生やさしい腐つたものではなく本當の藝術に生きる人達の精進でなければならない。其處で新劇團員たるもの常に眞面目で氣取らず決してヴァッカスの香りを追つて周圍の誤解を招く樣ではならない。私の東京時代のメンバーに芝居を終ると必ず玉の井邊へしけ込んで遊ぶ人があつた結局私は劇團の尊嚴の爲めに辭めて貰ふより外仕方がなかつた事を記憶して居る。

漏電から燃に移る

入口では感電　吉林事件

【長春】去る十八日夜發火して多數の死者を出した吉林永吉電影園の火災原因及び被害程度に關して調査せられた所に依れば永吉電影園は二月一日に創設されたもので財政總東側市場の北半部を借り入れ使用し居たるもので元來活動寫眞館として建られたものでなかつたから建物に非常設備が無かつた爲めにこの慘事を惹き起したもので最初漏電したのを技師の手落ちから火は遂にフヰルムに燃え移り忽ち燃え廣がつたので電線の全部が發火した、當夜の觀衆は普通入場者約二百名に軍人に子供等の無料入場者が多かつた、觀衆中二三十名は先を爭つて屋外に逃げ出したがその他のものが逃げ出さんとした時は入口の上部の電線が燒け落ち先づ若干名が感電して倒れ後から後からと詰め掛けたものはこと／＼く感電し遂に入口は塞がれ内部は阿鼻叫喚の巷と化したものである

囈話

本社主催の映畫座談會で映畫技師の問題が大分喧しくなつたといふので▲有志の人達が近く會合して映畫界をづり廻してやらうと物凄い意氣込みを示してゐる▲帝國館の遠藤松竹事務員は今回岐阜へ轉勤することゝなり明日の香港丸で出發▲後任には豐橋から中野隆成氏が昨日香港丸で來連▲この頃映畫人が寄ると觸るとライターの自慢話に花が咲く▲餘り五月蠅いので今井消防署長「失火の虞があるから全部沒收しやうかなア」▲關屋敏子の獨唱會からリリック・コロラチュラ・ソプラノとひと口で流暢に發音出來るのが尖端人だとは飛んだモダン振りである

ラヂオ

大連　JQAK

三月廿五日午後五時五十分

▲支那語講座（第四十二課）滿鐵學務課秩父固太郎
▲午後六時二十三分（内地中繼）
▲講演（產兒制限論理學博士）暉峻義等
▲雅樂（蘭陵王）林信麿、篳篥福田八郎、笙飯田壽吉、太鼓福田勇、笙皷芳村房太郎
▲三曲（梶枕）箏青木敏夫、三絃藤井折惠、尺八紙谷白山
▲地方俚謠（一）月の輪神事囃子 松本庄三、外六名（二）田樂 多田軍次郎、外七名（三）伊豫萬歳「豐年踊」友近潤、外三名（四）よさこい節 唄松本長江、唄、三味線佐竹政吉（五）御船謠 馬場彦一、外七名（六）ドッサリ節 唄吉田勝代、三味線吉田菊太、太皷吉田小太郎（七）關の五本松 安來節 大野あさの、外四名
以下大連放送局より
▲料理獻立
▲天氣豫報

滿洲日報

社說

奉露協定の精神を復活せよ

[illegible]し、對露關係を整理することが、最も急務であり、得策ではあるまいか。

◇

今日のロシヤとしては、すでに回復するだけのものは回復し、形式上のことなどは問題にしては居らぬのである。全く實利主義に立脚し、政治よりも經濟的に、對支政策を行はんとしつゝあることは、露支の紛糾を惹起して以來の、急角度の方向轉換を認めることが出來やうと思ふ。この勞農ロシヤに對して、すくなくとも國際關係を有耶無耶にして置くといふことは、結局、地元國たる支那側の不利となることは、明白なる事理であらうと思はれる。現に、勞農側が、正式會議を開催するのやら、またせぬのやら、全く不明の裡にあるにも拘らず、默々として顧みるところなきものゝ如きは、そこに何らか得るところがあるか、すくなくとも期するところがあるにあらずやとも察せられる。

◇

それは兎もかくとして、ロシヤにしても、また支那にしても、昨今のやうな事件を惹起するといふことは、決して賢明なることではないといふことは、充分、體驗せられたことゝ思ふ。果して然らば、ロシヤ側も、支那側も、双方、些の無理をやつてはならぬと思ふ。そこで結局、兩國は、北滿の經濟的開發といふことに協心戮力すべきであらうと思はれる。ロシヤが例の政治的野心として、北滿の赤化宣傳を立脚點として、それを支那に瀰及せんとするが如きは、徒らに支那の反露態度を硬化せしむるのみである。須らく經濟的に北滿を開發し、その開發の結果たる餘澤に浴するの覺悟がなくてはならぬ。また支那側としても、徒[illegible]

要するに吾人の望むところは、[illegible]礎を確立すると共に、すくなくとも東洋の和平を攪亂せざるやう、最善の努力を惜まざるを得ない。而して兩國は、經濟機關としての東支鐵道に對し、全能力を發揮せしめ、以て北滿の經濟的開發に努力すべきではあるまいか。これを要するに支那は、北滿の開發を眼目とすべく、ロシヤは支那の眼目たる北滿の開發に均霑すべく、條約上の權利を、正當に主張するより外なく、この兩國の國際關係は一日も早く、これをモスクワにおける正式會議によつて整理すべきものではあるまいか。かくて初めて、露支協定、奉露協定の精神は復活するといふものである。

外務省に廻付した回訓原案の內容
補助艦總括七割を要求

【東京二十四日發至急報】海軍省が二十二日外務省に廻附した回訓原案內容は確聞するに左の如くである

一、日本は補助艦總括七割を要求す

二、その內容はアメリカが八吋砲一萬噸巡洋艦十五隻十五萬噸を保有する場合、日本は十二隻十萬八千四百噸を要求し若し又アメリカが十八隻を保有せば日本は小型巡洋艦割當噸數を融通して十四隻十二萬六千噸を要求す

三、潜水艦は現有勢力七萬八千噸保有となる樣これ亦驅逐艦割當量より融通し得る事を求む

回訓案內容を齎らし園公訪問
首相の依賴で原田男

【興津二十四日發電】園公秘書原田熊雄男は濱口首相の依賴を受け二十四日午前十時半西園寺公を訪問し軍縮會議回訓案に關する二十二日の閣議の結果及び首相の意向を報告し十一時半退邸歸京した

靖國神社へ吊燈籠下賜
聖上御はじめ各皇族殿下

【東京廿四日發電】天皇陛下には建立二十五周年記念のため靖國神社に吊燈籠一對御下賜あらせられたが、この聖旨に添ひ奉るため各皇族殿下に置かせられても御同樣吊燈籠一對を納めらるゝことゝなり、加茂靖國神社宮司は廿四日午後二時半閑院宮家に伺候して目錄を拜受した

軍事參議官會議召集
對軍縮根本策決定のため

【東京二十四日發電】海軍々令部及び海軍省ではロンドン會議回訓案報告及び今後の對軍縮會議根本方針決定のため二十四日午前十時海相官邸に軍事參議官會議を召集した、伏見大將宮殿下、東郷元帥、岡田大將以下列席、加藤軍令部長より、請訓及び回訓の內容を中心に詳細なる說明を行ひ山梨次官より補足說明して正午散會した

佛伊協定と
英紙の觀測

【ロンドン二十四日發電】デーリーメール紙は本日左の如く述べてゐる

若しフランス、イタリーが協定に達し得ざる時はマクドナルド首相は素晴らしい妥當を打つであらう、それはマクドナルド首相は最後の全權會議を召集しフランス、イタリーの紛爭が會議の目的を不分明にしたと云ふ理由で、英國の原案を披露し他國の全權もまた同樣各自の立場を明かにするであらう

財部全權歸朝說
海軍省側の觀測

【東京二十四日發電】財部全權歸國の報につき海軍省側では同全權からまだ何等の消息を受けてゐないが、軍縮會議全體の空氣は可なり進步し關係國と諒解を遂ぐべき範圍も局限されてゐるからこゝ十數日間の會議の結果、形勢が益々好轉し目鼻つき次第若槻全權に先だち歸朝する事はあり得ると言つてゐる、然し海軍省の事務は濱口首相が海相の事務を管掌してゐる以上事務上に支障なく從つて財部全權もこれを懸念する必要はない筈だとしてゐる

政友定例幹部會

【東京二十四日發電】二十四日政友會定例幹部會はロンドン會議最近の眞相研究のため下村海軍大佐の來會を求めて詳細な報告及び海軍省としての態度等を聽取した

日米の妥協可能ならば三國の協定成立か
會議は四月中了らん

【東京二十四日發電】英米兩國は今回の會議において飽く迄五國協定を成立せしめ度き意向を有し勘くも主力艦休日延長、海軍縮小方式問題、潜水艦使用制限問題については五國協定を得んと苦心して來たがフランスが政治的協定の代償なき限りフランスの所要量は一噸たりとも低減しないと主張してゐるのに對しイギリス側は政治的協定を體よく拒絕した爲め英佛間の空氣は惡化した儘で今日に至るも好轉の模樣なく他方イタリーの對佛均勢要求は佛伊に關する限り差當り局面打開の途なく三國會議の形勢は漸く三國會議に移つたと見られる、既にイギリス、アメリカ間には協定成立し日本とアメリカとの交渉は又步み寄りが明白になつてゐるので日米の妥協可能とせば一週間內には相對的に會議の危機を脫し得べくその後の交渉は相當動搖を免れずとするも互讓的精神に依つて繼續され案外早く三國協定の實現を見るべく從つて在ロンドン全權團の觀測の如く會議は四月一杯で片づくものと見られてゐる

明年度豫算案各省に內示

【東京二十四日發電】大藏省では二十四日午後二時から豫算省議を開き二十五日の閣議に提出すべき明年度實行豫算案を確定し午後二時より各省會計課長を大藏省に招きこれを內示した

原前法相園公訪問

【興津二十四日發電】前法相原嘉道氏は二十四日午後一時五分來興し西園寺公を訪問し一時間半後退出即日歸京した

復興帝都御巡幸の聖上陛下

兒童が路上で遊戯する危險は今後無くなるか
─公園施設について種々御下問

[illegible]

橫死者の靈前に篤き御擧手
堀切東京市長謹話

[illegible]時四十五分御發輦遊ばされたが

御巡路 を九段の御展望所に着御牛憎の春霞でニコライ堂邊りはヴエールで覆はれたやうに美しい景色でしたが御說明申すには遺憾な天氣でした、府立工藝學校では生徒の實習から製作品を御覽そのため御豫定時間が少し遲れました、上野公園展望臺では空も漸く晴れ展望が可なり遠くまできゝました、私は陛下が震災當時御成りの砌り擔りました寫眞と復興後の現狀を比較して御說明申上げたところ御熱心な御下問のため

陛下の 御指先がともすると私の指に觸れさせ給ふとするには私は恐懼致しました、震災記念堂では廣瀨市助役の御說明で每年九月一日祭典を行つてゐる旨言上すると陛下は橫死者の靈前に御懇篤な御擧手の御會釋を遊ばされたのは恐懼の外ありません、殊に被服廠跡の橫死者の遺留品に深く御まなざしを灑がせられましたのは供奉の者も感激の淚にむせぶのみでした

建設時代回顧【三】
社員會編纂『滿鐵側面史』打合せ

竹中 先づ一着手として、こゝで出來るだけ材料を集め、誰々と云ふことの見當をつける、こゝで大分出るだらうと思ふから當分差當つてそれでやつて、次の段取りとしては、こゝでは咄嗟のことでもあるし漏れも多いから、後からけふ集つた人に書いて貰つて、その人に斯ういふ趣旨で斯う云ふものを集めたいと思ふが、貴下の方に何か材料はありませぬかと云ふ手紙を出す、それにもう一項加へて、斯う云ふ種類の話を有つて居られさうな人を何名か御紹介願へまいか、その人自身に書いて頂くか速記者を差し向けても宜い、尙斯う云ふトピツクについては何う云ふ所に行つたら宜いか知らして頂きたいと云ふことを書いて、最後にリストを付けて置く、是々の人は賴んであるから是以外の人を推薦して與れ、その地位の高下時の新舊を問はず、面白い側面史を知つて居る人ならば結構だと云ふ依賴狀を出す、今直ぐでなくとも第一の材料が盡きさうになつてからでも宜い、發表の仕方は偏すると云ふ難があるかも知れぬが「協和」が一番適當ではないかと思ふ

保々 「協和」は一號々々なんだから一應出して始めに載つたものでも本にする時は最後に廻しても差支へない

竹中 「協和」に一度出たものでも後で餘り面白くないと云ふやうなものは本にする時に除いても宜い譯だから、創業苦心談も出れば滑稽物或は教科書見たやうなものも出るだらうから

保々 手紙を出すにしても先づ其の範圍を極めないと具合が惡い、同じやうな種類のもので二人あると云ふやうなものは何方か都合の宜い人に賴めば宜いが……

竹中 差當りトピツクを誰に賴むかと云ふことを極めなければならぬ、決して滿鐵許りから求める必要はないので、例へば佐藤さんの熊岳城の話のやうに、ロシヤ兵が退却した直ぐ後に行つて湯に入つて居つた所が向ふから鐵砲を打たれたと云ふやうな話があつたが、隨分面白いと思ふ

藤根 滿洲全體のことにするか、或は滿鐵を中心にするかが問題ですね、人をやるにしてもたゞ漠然と戰爭の時に何か變つたことがありませぬかと聞くよりは、滿鐵に關係のもので新民屯の斯う云ふことは何うなつたでせうと云ふやうに行くと始めて面白味が出て來るやうに思ひますが

保々 滿鐵に全然關係のない話でも何うかと思ひます、勿論大連の話とか埠頭のこと等は絕對必要がありますが

藤根 何かさう云ふ狙ひ所でも極めないと書く人は迷ふかも知れない

保々 一番始めは椽の下の力持ちとか自慢話、例へば加藤氏の「命懸けの工事」と云ふやうなものゝ許りと云ふ話もあつたが、それでは少し鼻に付きはせぬかと思はれるので……

田邊 自慢話でなければ面白味はありませんよ、自慢話を集めると云ふことで始めて特殊の面白味があるんです

藤根 色々織込んでやるんですナア、要するに滿洲に關係のあるものとするか、或は滿鐵を中心にしたものと云ふことにするかと云ふことが

上村 矢張り滿鐵中心でないと具合が惡いと思ひます

藤根 さうすることが社員會としてやるのに相應しいことでもあるやうに思ひますね

保々 それはさうしたいと思ひます

田村 必ずしもそれに拘泥する必要はないと思ふ、現に發展しつゝあることに關聯するやうなこと、或る一つの寫眞と云ふよりは伸びて行くことに或る觀念を有つものでないと面白味がない

田邊 自分の自慢話でなくとも人のやつたことで自分が非常に感心して居ることを集めたら宜いですね、餘り研究的なものになると面白味が拔けて了ふから

保々 何うしても輕い氣持のものでないと困ります、固い理窟は云はれても切る積りで居ります

高柳 私の考へでは滿鐵中心主義と云ふのは少し面白くないと思ふ殊に今三十七、八年以後と云ふお話でしたが、寧ろ滿洲の發展はその以前にある二十七、八年戰役が濟んで營口旅順に日本人が苦心をして三十七、八年戰役を待ち堪へた邊り苦心は滿鐵の經營史の前史として記憶しなければならぬことが非常に多いと思ふ、さう云ふやうな苦心談が寧ろ非常に刺戟を與へると思ふ、さう云ふ點も御考慮願ひたいと思ひます

細かな點について仙石總裁質問の矢
きのふ午前、午後に亘り熱心に八幡製鐵所を視察

【八幡特電二十四日發】德山の海軍燃料廠を觀察し二十二日夜下關に着いた仙石滿鐵總裁は、二十三日の一日を安川敬一郎男爵とともにゆつくりと休養し、廿四日朝九時山陽ホテルを出て門鐵差廻しの汽艇「淸見丸」で、米山門鐵局長門司市長の出迎へを受けて門司着

總裁は 直ちに米山局長と共に門鐵の自動車で八幡製鐵所に向つた、總裁の八幡製鐵所視察は大正十四年來のことで、總裁は製鐵所創立委員の一人であり、今も委員としての關係を持つてゐる、下關で、ある新聞記者が「製鐵所觀察は初めてですか」と質問したとき「さうだな、ようは覺えぬが三十回ぐらゐ見たらう」と答へたが、全く總裁の頭にはあの複雜な製鐵所の內部は細かにきちんと解つてゐるらしい、十時製鐵所に着くと中井長官始め多數の出迎へあり、總裁は貴賓室で長官等と一通り

挨拶を すませて一服する暇もなく、野田技監說明役となつて先づ模型室に案內し、現在および將來の計畫など細かに說明し、かつ昭和製鋼所の計畫と比べてカレコレ細かな內容にわたり說明するところあり、九州製鋼所を合はせ昭和五年度には百五萬噸の製品を出す計畫だと說明し、總裁もまた細な點について質問してゐた、ジヨホールの鑛石、大冶鑛山その他の鑛石の比較などは時に專門的の質問應答あり、かくて技監の案內で長官や總務部長ともぐ〱同工場の敷地二百五十萬坪、構內縱橫に通ずる鐵道線路百二十五哩に達するといふ世界

稀れな 複雜を極める構內を、構內列車で先づソルベー骸炭爐から始まつて、銑鐵の火花飛び散る第三製鋼工場の出銑狀態を、ついで順次タンボツト爐、分塊工場その他を細かに觀察し、斯て一旦正午すぎ事務所に歸り食後さらに一時十五分から再び工場を觀察のため、中井長官、野田技監、各部長の案內で伍堂中將、鍋島秘書役等と共に自動車にて工場に到り構內列車に乘り、第四發電所、マグネシヤ工場、九州製鋼所、洞ケ丘鎔鑛爐、同骸炭爐を觀察し、更に汽艇にて洞海灣內を一周し戶畑作業所等を觀察し三時半、中央船溜りに上陸、自動車にて事務所に歸着したが、六時間近くも縱橫且つ細かに觀察した仙石總裁の熱心と努力と元氣には驚嘆の外なかつた、かくて同三時五十分、米山門鐵局長、伍堂中將と共に自動車で同所出發、四時半門司着、直ちに下關に向ひ山陽ホテルに入つた、總裁は廿五日朝、關釜連絡船で釜山に向ふ筈

蔣・閻開戰の場合奉軍は平津を占領
中央側との諒解成立

【奉天特電二十四日發】東北側の蔣閻兩派が開戰して北平、天津地方が戰亂の巷となる時は直に同方面一帶を占領して治安維持に任ずる事に中央側との間に諒解成立し何時にても出動し得るやう着々準備を進めつゝある

朝鮮の重要政務
─大體政府の承認を得た─
齋藤總督の歸來談

【釜山特電二十四日發】政務打合はせのため月餘に亙り東上中の齋藤總督は二十四日朝八時着釜、多數官民の出迎へを受けホテルに入り休憩中記者に語る

總ての政務については政府との折衝は大體承認を得た、失業救濟に關する諸案(豫算千三百萬圓)は林財務局長が持參して東上した、自治制の問題は既に閣議で決定したから樞府に關係はない、制令を制定し發布の後實施される、產業部の設置は現在の豫算範圍內でやれる積りだ、勅任參與官のことは拓務省に任せてある、昭和製鋼所の問題で隨分やかましいが、朝鮮としては新義州を希望するが、滿鐵でやられることゝ國策上政府の方針もあるので何れとも決定してをらぬやうだ、仙石總裁はかねてより朝鮮を觀察したいと言はれてゐたのである、時節柄重要視されるのももつともだ

なほ總督は十時四十分で鎭海に赴き要港部司令官邸に小憩の後悲慘事の精靈に對し新に弔意を表し、遺族を慰問し二十四日夜鎭海發二十五日朝七時歸城の筈

貨物規程の改正
滿鐵メートル制實施による
日滿當業者の影響

四月一日より實施さるゝ滿鐵のメートル制採用に伴ひ滿洲以外の省線、鮮鐵、船會社等との間の從來の貨物連絡運送規程も改正を見る事となつたが一般荷主、日滿取引業者等に關係ある主要な點は大體左の如くである

一、要償額表示制度を採用すべく日本郵船、近海郵船、朝郵、澤山の四社と協定中にて近く制定せらるゝ遞信、鐵道兩省間の鐵道船舶を通じ運送規程により各船會社共異議なく豫定通り來月一日より實施の筈

二、從來荷主に對し連絡貨物は一車扱に限り一米噸につき二十五錢を拂戾してゐたが今回の改正により一キロ噸につき二十五錢となり從來より約二錢五厘の低減となつた

三、從來は船會社を通じて省線、鮮鐵との間に貨物引渡期間に關する何等の規定なく商取引に不便であつたが今回の改正により荷主の利益を圖ることゝなつた

四、朝鮮鐵道局との連絡貨物の滿鐵發朝鮮着の小口扱貨物に限り配達制度を施行するとゝなつた

五、大連埠頭及營口接續費として從來特產物一米噸三十五錢、普通品五十五錢を徵收してゐたのを前者は一キロ噸四十錢、後者は同じく五十五錢に改正されたなほ鐵道部では原田汽船と契約して四月一日より瀨戶內海航路、門司、宇品、今治諸港との連絡貨物を取扱ふことゝなつた

阿片事情につき詳細に質問
きのふ赴旅の國際聯盟委員
けふ大連を視察する

國際聯盟極東阿片事情觀察委員エクストラン委員長一行は廿八日まで大連星ケ浦ヤマトホテルに止宿その間左記日程により關東廳當局者と會見して阿片事情を

調査す る由であるが、廿四日は午前九時ホテル出發、自動車にて同十時關東廳に到着し直ちに會議室にあてられたる第一應接室に通つて約一時間半に亙り中谷警務局長、十一時半より約一時間增田衞生課長並に黑井衞生技師と面談、ヤマトホテルにて晝食の上午後三時より再び警務局長と約二時間に亙つて

管內に 於ける阿片吸飮取締の實際、其他につき詳細なる質問を試み、高田囑託の通譯にてその答辯を聽取、同時にこれを速記した、なほ廿五日は同樣十時より土屋高等法院長及び安岡檢察官長と會見同樣の質問應答を試みて旅順管內の小賣所を觀察、午後は右につき警務局長その他と面談の筈であるが、その後の

日程は 左の通り

二十六日午前八時半星ケ浦ヤマトホテル發△九時―十一時專賣局、大連醫院、救療所、小賣所二ケ所視察△十一時―一時天野局長事務取扱、矢口囑託と面談(大連民政署に於て)晝食は大連ヤマトホテル△午後三時―四時半水上署長、大連署長と面談△午後四時半より森脇所長、小澤醫師と面談(場所同前)△七時送別晩餐大連ヤマトホテル(背廣服、成るべく黑又は紺色)▲內務局長、警務局長、財務部長、專賣局長合同主催▲二十七日午前八時半ホテル發△九時―十時ジヤンク埠頭苦力收容所、露天市場△午前十時―十一時滿鐵訪問△十一時―一時衞生研究所大連醫院視察、晝食星ケ浦ヤマトホテル△午後面會申込の私人と會見△午後三時―三時半大連商工會議所會頭同書記長と面談△三時半―四時半華商公議會長張本政、龐睦堂兩氏と面談△四時より山東同鄕會々長邇子祥氏其他と面談△七時滿鐵總裁招宴(湖月略服)▲二十八日午前內務局長と面談(星ケ浦ヤマトホテル)▲廿九日午前九時大連發△午後二時六分湯崗子着、晝餐は列車內、晚餐は滿鐵に依賴▲三十日午前八時五十九分湯崗子發(一等車特別連結)△午前十一時半奉天着、晝餐ヤマトホテル△午後一時十五分奉天發△午後二時四十五分撫順着△同六時四十分撫順發△同八時五分奉天着▲卅一日奉天滯在△午後七時奉天總領事官邸に於て招宴、同日中奉天警察署長と會見(時刻未定)▲四月一日午後三時三十分奉天發京城に向ふ

減配、整理などまだ何等考へぬ
總て總裁の歸任後に決定
大平滿鐵副總裁談

內地方面の新聞紙には滿鐵四年度の收入約一千萬圓の違算から減配を免れないであらうなどゝ報ぜられてゐるが之につき大平滿鐵副總裁を訪ひその眞否を問へば「そんなことが傳へられてゐるとすれば何等かの間違ひであらう」と冒頭して大要左の如く語る

歐洲向け大豆の不振と銀の暴落と內外の財界不況とに禍されて滿鐵昭和四年度の收入が相當

減收を見 ることは或は免かれぬかも知れぬ、然し其減收が一千萬圓とかの巨額に上るとはない一千萬圓の減收などと傳へられるのは昨年十二月に豫想した收入所謂更正豫算一億三千二百萬圓に對しての減收であつて一億二千五百萬圓の收入豫算に對しては三百萬圓內外の減收に過ぎない四年度は北滿貨物が

相當南下 したにも拘はらず減收してゐる狀態だから察するに若し露支係爭問題がなかつたならば或は大なる違算を來すに至つたかも知れぬ、これは豫算編成に當つて多少樂觀的に仕組んだためではないかとも思はれぬでもないから目下その原因について愼重研究中である、また來年度の收入豫算についても石炭の減產等相當收入を減ずることゝ思はるゝにつき勞々研究を進めてゐるが此際一層緊張して行かないと安全確實とはいへないだらう、差當り株主への

減配とか 社內の整理とかいつたことは自分として何等考へてゐない總裁も近く歸任されることであるからその上で研究されることにならうと思ふ

內鮮滿旅客案內所主任事務打合協議

四月十一、二兩日に亙り滿鐵東京支社に於て鐵道部並に內地鮮滿旅客案內所主任の事務打合會議が開催されるが滿鐵本社からは營業課貝塚旅客主任が出席の筈で、附議事項の主要なるものとして從來內地の視察團が安東若くは奉天まで來り引返すものが多いので、更にこれ等の觀察團をして他の社線を通過觀察せしむる樣各案內所に於て勸誘すること等を協議する筈

本社見學

大連遞信講習所本年度卒業生一行七十五名は寺島敎師に引率され二十四日午後本社を見學した

關東廳辭令(廿四日附)

任關東廳觀測所技手 勳七等 宍戶新次郎

敍從四位 正五位勳四等 小川順之助 特旨を以て位一級被進

安閑梅子

實業の安藤選手オートバイで狩獵に出かけるのは名高い話だが最近滿鐵運動會の高橋後夫氏は自動車……この自動車たるや旅順往復にガソリンを二罐も食ふといふ、昔パリーで流行つた大變な代物……で出かけ安藤氏の向ふをはつて居る▲二十三日の日曜日に大天狗が鴨打ちに行つて鴨になるので有名な大連運動場の中川哲藏氏同行で金州くんだり迄鴨打ちにシヤレ込んだところ鳥どころか足を棒にして歸途自動車に故障應急修理をやつて見たが埒あかず中川氏は一先づ大連に歸り、高橋氏は附近の支那人の家で夜を明かさうと入り込んだ所南京虫に攻められてゐる夜中の十時ごろ戶を盛んに叩くものあり、スハ馬賊來と思ひきや中川氏と小安氏が出迎へに、やつと生きた氣持で自動車を金州街道におつぽり出して歸つて來たと云ふ話

特產

定期後場(銀建)

▲大豆(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 [illegible]

▲普通大豆(出來不申)

▲豆粕(强保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 七千枚

▲豆油(堅調)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
五月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 三千五百箱

▲高粱(反撥)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百六車

▲包米(出來不申)

現物後場(銀建)

	寄付	大引
混保(後込)	七〇四〇	七〇八〇
大豆(裸物)	―	―

出來高 六十車

普通大豆 出來不申

豆粕 [illegible]

出來高 七千枚

豆油 出來不申

高粱 出來不申

包米 出來不申

錢鈔

定期後場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
近期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(近期)九十六萬圓 (遠期)百五十七萬圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(銀對金)五萬九千圓 (銀對洋)二萬三千圓

商品

後場

綿糸(保合)

銘柄	約定期	値段	梱數
扇面	延三月末	[illegible]	五
同	延五月末	[illegible]	三〇

出來高 三十五梱

麻袋(出來不申)

神戶特產(廿四日)

大豆先物	[illegible]
大豆現物	[illegible]
豆粕先物	[illegible]
豆粕現物	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]
豆油現物	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	六八六〇	六八五〇
大新	五五〇〇	五二七〇
鐘紡	九九七〇	九八四〇
新	八六三〇	八五九〇
東新	一〇二三〇	一〇二〇〇
日糖	不申	五六〇〇
郵船	五〇九〇	不申

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京株式(短期)

銘柄	後場寄	後場引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
三月	一五七四〇	一五七九〇
四月	一六〇六〇	一五九九〇
五月	一六二〇〇	一六二六〇
六月	一六五四〇	一六五一〇
七月	一六七九〇	一六七二〇
八月	一六九八〇	一六九四〇
九月	一七〇六〇	一七〇五〇

五品

	東新
寄値	不申
高値	不申
引値	七七八〇
安値	七八〇〇

（第三種郵便物認可）

滿日地方版

奉天

上に重くして下に輕くす
五年度の公費豫算 賦課の方針を決定

廿三日午前十時から地方事務所會議室に於て地方委員會を開催し昭和五年度公費査定に關する打合せをなす處あつたが、財界不況に鑑み總括的に引下げるか、上に厚く下に薄くするか、個人々々の現狀に從つて引上げ又は引下げるか等意見百出し容易に決定しなかつたが、結局採決することになりその結果個人々々によつて審議し上に厚く下に薄くする方針で進むことになり正午頃晝食をなす、午後零時五十分から個人關係百八件の審議に移つたがその中引上げられた主なるものは伊豫組の五等を三等にヤマトホテルの九等を五等に滿業公司の九等を一躍二等に引上げ又引下げられた主なるものは電車公司七等を八等に滿蒙證券は現狀に鑑み免除となつた、猶譯賣店の公費滯納については嚴重に督促し納附せしめることになつて五時頃閉會した

千代田通りに又も四人組强盜
支那煙草屋を襲ふ

廿一日末廣町支那人宅に四人組强盜が押入り主人を射殺して逃走し市民に多大の脅威を與へて間もなく、廿三日夜今度は千代田通りの目拔きの場所に又も四人連の强盜が侵入し金を强奪して悠々逃走した事件があつた、廿三日午後八時半頃千代田通支那煙草商東興號事張寶珍（三七）方に折柄の降雨に乘じて四人組の强盜現はれ二名は表入口に張り番をなし二名は客を裝ふて內に入り込み、突然隱し持つた拳銃をつきつけ同店支配人張篠泉及び書記胥風彩を脅迫したので張は金庫にあつた現大洋百卅元、金票七十八圓、現大洋票十元を提供した處、賊はこれに滿足したものか帳場にあつた、現大洋一千元その他金票奉票等には手も觸れず城內方面に向け逃走した、急報により奉天署では非常線を張り犯人の大捜査を行つたが遂に發見するに至らなかつた

區長會議

五年度公費査定に關する區長會議は廿三日午前十時から地方事務所會議室に於て開催、各區長出席の外滿鐵側から小倉所長、大岩係長松本公費主任等列席、査定につき協議の結果財界不況に鑑み製麻會社の特等を廿等に引下げ、以下卅五件を引下げ廿五件を引上げに決定し廿三日開かれた地方委員會議に提出され更に別記の如く協議された

法院と監獄の視察記（上）
司法會議室に革命未完成の額

奉天支社　一記者

東北法學研究會は治外法權撤廢を目標とする司法制度改善の指導研究機關であつて會長は日人に馴染の深い趙欣伯博士である支那の治外法權撤廢は既に宣傳時代より實行時期に入らんとし殊に日本は過般成立した日支關稅協定に次で近く法權問題の交渉に移らんとしてゐるので、趙氏は此機會に「支那の司法制度が如何に改善されてゐるか？」を見て貰ひ度いといふ趣旨で、廿二日日支新聞記者に招請して裁判所と監獄を參觀することになつたのである

法學研究會の主催に依つて廿二日午後より東北法學研究會、遼寧高等法院及び模範監獄と稱せられる小南門裡の遼寧第一監獄の參觀に赴いた、法學研究會は瀋陽皇城の一隅、古色蒼然たる建物の中にあり、法學博士趙欣伯氏が主となつて法學の研究改善、法律智識の普及に努めて居るもので多數の法律に關する中外の書籍を藏した圖書館を有し、毎週一回法學新報を發行して全國の各機關へ配布して居る、法學研究會なるものは支那全國に於て只一つ東北省にあるのみである、法律智識に缺けて居る支那民衆に對しては、唯一の法律智識を會得するに便利な機關である

高等法院

吾々は趙博士の案內に依つて遼寧高等法院に向つた、先づ門前には二名の巡警が立つて居て門を潜れば支那式の古い黑煉瓦造りの二階建が幾棟にも廻らされて居る、罪人の裁き場所として陰鬱な感が湧く、奧まつた司法會議室に案內された、正面には故孫文氏の額が掲けられて革命未完成、司法志仍須努力等の字が書かれて居た趙博士より一同に對し史高等法院長、朱檢事長を紹介された、史法院長は二十年以上法律事務にたづさわり東北に於ける法學界の權威者と云はれて居る、それより第一法廷に於て民事公判を傍聽した、法廷の構造は日本と同樣である、公判開廷と共に裁判長一名、判事二名、書記一名の係りで原告と被告が法廷に呼ばれ型の如く住所姓名年齡の訊問から審理が進められたが日本の如く辯護士が法廷代理人として裁判長の審理訊問に應ずる事なくして直接原被告に付き訊問をなし、双方の申立を書記が細大漏らさず記錄し公判の最後に其れを讀み上げて、原告被告に申立の正誤を正してそれに依つて判決を言ひ渡す事となつて居る、更に

第二法廷

で開廷中であつたロシア人に關する民事公判を覗いて見たが外人に關するもので多數の學生の傍聽者があつた、更に第四法廷に於いて刑事公判を傍聽したが民事公判と同樣で檢事が列席して居た、地方法院は格式が異るだけで他は大同小異である、遼寧高等法院は東北省の最高法院にして各地の地方法院より廻附された事件を處理する事となつて居るも、矢張り民國政府立法院の管轄下に置かれて居るので高等法院で上訴した裁判は東北政務委員會の手を經て一件書類を國民政府立法院に屬する高等法院に送り、其の書類に依つて審査し判決を下すか或は棄却をなすのである、之は東北省に於ける各地方法院に於て判決された事件に付き上訴された場合は右と同樣遼寧高等法院に書類が送られて判決又は却下されるものである、若し支那側の要望通りに領事裁判權が撤廢される曉には遼寧最高法院は國民政府より獨立して東北省に於ける裁判上の終審法院となるものと觀られて居る、當局者は不備の點は今後漸次改善を加へて行くと語つて居た

土地家屋の賃貸嚴禁
奉天政府の密令

奉天政府は今回外人に對する土地家屋の賃貸契約を一切嚴禁し舊契約の更改延期を許さずとの密令を發し、專ら外人の土地家屋賃貸を拒絕してゐるので打擊を被つてゐるものが多いと

南支現狀
野原局長視察談

南支視察を終へ歸奉せる野原奉天郵便局長は語る

當地を二月十日に出發し青島、上海、香港等を經て廣東に赴いたが二月廿日香港に着いた時八十度といふ夏の熱さで夏服と着換へさゝれた事には驚いた、南支は各地に排外思想の宣傳ビラ或は國民を刺戟する樣な排外宣傳を頻に行つてゐる、自働式電話については着々進められ青島は二月一日から開始し、上海は半數自働式となつてゐる、香港は電信電話の柱なく全部地下線で市街美をそこなはず非常に氣持がよかつた、南支には日本郵便局がないので尠らず不便を感じてゐる、貿易は銀安のため取引が困難となり減少してゐる樣である

人事

▲二宮憲兵隊長　廿二日安東より過奉旅順へ
▲八並武次氏（衆議院議員）　二十三日同上大連へ
▲秋川大佐（醫大配屬敎官）　二十二日着任
▲立川奉天署警視　廿二日歸奉
▲田邊前滿鐵理事　廿二日來奉
▲太田第卅八聯隊長　廿二日長春より過奉遼陽へ
▲平野滿鐵學務課長　廿二日歸連
▲大賀博士　廿三日歸奉
▲石原哈市運輸課長　廿三日長春へ
▲藥島哈爾賓事務所長　廿二日過奉長春へ
▲牧島警視（江原道警務課長）　廿二日大連より過奉長春へ
▲チゲス氏（駐奉獨逸領事）　廿二日歸奉
▲高紀毅氏　廿二日熊岳城へ
▲馮庸大學陸上競技選手一行二十四名　二十二日夜出發大連經由上海へ
▲青島高女生徒十四名　二十三日朝來奉

水ぬるむ　大連鏡ヶ池にて

安東

天長節をトして結團式擧行
安東ボーイスカウト

安東ボーイスカウトの設立は久しい間の問題であつたが、愈々實現する事となり二十一日各關係者集合し意見交換の結果設立を促進せしむる事となり、團長には井上所長、副團長としては大津大尉を推戴する事に略內定し、指導員として大和校より田中氏他一人、朝日校より橋本氏を推し以上三氏は此の休暇を利用して大連、奉天のスカウトを視察後直に建兒の募集に着手し一應訓練を經ると同時に四月二十九日の天長の佳節をトし莊嚴なる結團式を擧行する事となつた

道評議員の選擧
橫江氏當選

新義州府に於ける道評議員の候補者選擧は二十二日午後一時より三時迄の間に公會堂に於て執行された、今回は當初より無風狀態で加藤鐵次郎氏の再選さるゝものと一般から觀測されてゐたが、突如二十日に至り橫江重助氏が立候補を聲明し疾風迅雷的に運動を開始したので、加藤氏一派は大に狼狽をなし之が防禦線を張りたるも立遲れの爲めか遂に榮冠は橫江氏に歸した、因に選擧人は府協議員十六名中多田榮吉氏不在のため十五名であつたが開票の結果は左の如し

九票　橫江重助
六票　加藤鐵次郎
一票　中込精一、多田榮吉、卓昌河

春季競馬大に賑はん

安東競馬倶樂部では來る五月春季大競馬を開催の筈であるが、同競馬場が安東陸上競技場となつてゐる爲め理想の競馬場として手入れをするのをひかへてゐたが、今回同倶樂部の幹事橫畑幾久氏が陸上競技部役員と折衝の結果陸上競技場移轉其他の雜費として金八百圓を出し今後は一切該地は競馬のみとして使用する事となつた、同倶樂部では交渉の纏まりたる結果早速に手入れをなす筈との事であるから、今回の春季大競馬には理想の馬場も出來る事と見られ競馬ファンは非常に期待を持つてゐる

ゴム風船が幼兒の命を奪ふ
一人は手術で漸く助る

ゴム風船が咽喉に引掛り幼い子供が生命を奪はれた事件があつた、滿鐵貨物係勤務の上野某氏長女泰子（六つ）が二十日午後一時頃ボンタン飴の中にあるゴム風船を玩具にしてゐる內空氣の出るのと同時に吸ひ込み咽喉につまらせあつと言ふ間に齒を喰ひしばつたので、直に滿鐵醫院につれ込んだが十分間位で絕命し一時間以上も人工呼吸を施したが駄目で兩親は悲嘆の淚に暮れてゐる、尚醫院の話に依ると數日前にも十一歲になる子供が同じ狀態で連れ込まれて來て咽喉に穴をあけ風船を取り出して命拾ひだけしたそうであるが、幼兒を持つ親達は大なる注意を要すべき事である

一般的に大に努力
滿鐵社會事業

滿鐵社會主事會議に列席し此程歸安した地方事務所山本社會主事は語る

從來の社會係は滿鐵社員並に家庭の慰問其他滿鐵を主體として來たが、今後は一般的に總ての仕事をする樣にと謂ふ事になつた、もつとも安東は栗野前所長時代から井上現所長に至る迄滿鐵以外の事業をなして來たが、今後は一層一般的に努力するつもりである、特に在住民の體育即ち運動方面には大いに力を注ぐ事にする

校旗推戴式

安東中學校では二十二日午前九時から新調の校旗推戴式並に終業式を擧行したが、校旗の旗手及び保衞手は左の通り校長が任命した

旗手＝花房一秋、保衞手＝崎田正壽、高田憲男、長野憲、堀將興、大村滿治、前橋滿三郎、澤部直次、濱田正實、武藤善一、張南哲、白俊煥

尚擧式に際しては伊東校長より一場の訓示があつた

太い齒入屋

平南平原生れ現在新義州府老松町一四金思福（三〇）と言ふ下駄の齒入職は豫て仕事材料買入れの爲め同本町五永田下駄店に出入する內主人の信用を得金貸の斡旋やその取立等を依賴されたるを奇貨として昨年四月頃より最近までの間に百數回に亘り僞造借用證書を作製し金を騙取したり或は取立てた金を着服する等總額千六百八十餘圓をセシめて知らぬ顔をしてゐた所此程惡事露見し新義州署に逮捕され取調べを受けてゐたが、二十二日詐欺及橫領罪として檢事局に送致された

金州

問題の白鳥俊雄
二十二日附で解職

大連民政署官有財產係土地不正拂下げに絡まる問題の中心人物白鳥俊雄は二十二日大連民政署庶務係主任が來金平井當民政支署總務課長と打合せの上直ちに解職の手續を取つた

建築界賑ふ
城內の改築も著しく增加す

解氷せる當地の建築界では目下非常な賑はひを呈し到る處に新建築を見るに至つたが、此の模樣では建築數は昨年に倍加するものと豫想されて居る、城內の改築も近時著るしく增加しつゝあるが不體裁な支那町の面目一新も近き將來であらう

卒業式擧行
廿三日小學校で

小學校の第二十三回卒業式は二十三日午前十時半より平井民政支署長代理外多數の來賓保護者出席の上兒童作品展覽會を兼ね盛大に擧行された

關東州內農事視察旅行記（終）
旅順市內の諸農園

熊岳城農業實習所　佐藤政雄

普蘭店へ午前八時三十分着下車民政署當局者と先輩塚本、松岡兩氏（松崎農園）が着車を待つてゐて歡迎してくれる、今が果樹の剪定期、渤海の潮風に吹かれながら太陽直射の農園に立働く兩先輩の顔は、見違ふ程眞黑になつてゐる「太陽と農民」それは何處までも離れ得ない、眞に健康のシンボルである。平藥寺農園で再び剪定の指導を受け、土と果樹と手入の三拍子揃つた好農園を讃美し、果樹と養鷄と蔬農と水田の複雜な土の仕事の松崎農園で近代的手腕を有つた園主を偲びながら午後六時の列車で歸途に就いた。

×

汽車は暮色蒼然たる靜かな滿洲の野の夕を一路ひた走り北行を續ける、熊岳城も目近に迫つた、農園開拓は何と言つても經營者の運命を左右する「土地の選擇」を第一條件とする、そして滿洲苹果はもう自給自足の殼を脫し、將來は販路を遠く關外の市場に求めねばならぬ昨今であるから、今後はアメリカの苹果に對抗出來得る「品種の選擇」が第二の條件である、日本內地の農業にしろ、米國にしろ、デンマークにしろ相當な收益を擧げ其の資金に對して好利廻りを示してゐる、比較的環境に惠まれたこの滿洲の農業は決して採算がとれぬ筈はない、唯今後は一層合理的に、一層集約的に營んでゆくことが必要であると思ふ。僕はこれを機會としてもう一步進んで、根本的に理想的な候補地や、土の分析試驗の結果の意見も發表したいと思つたが、時間の都合で紀行中の見聞の事實のみに止め、全然主觀を沒却して骨子のみを記述した、今回の旅行で吾々の最も愉快であつたのは邦人農業家が、將來恐るべしと云はれた支人を「好敵手ではあるが決して恐るゝに足らず」と口を揃へて云はれたことである「頭と機械と技術」の三拍子を揃へて寧ろ巧に彼等の長所を捉へて利用してゐることである、吾々は既に北滿旅行をして原始的農法を見た經驗があるだけに思ひ半に過ぎるものがあつた。僕は一識者から、吾々實習生の將來には大した期待を持てぬといふ懷疑的なお言葉を間接に聞いた然し吾々の滿蒙開發に對する確信は決して薄弱でないことを此處に斷言して置く、唯一つ吾等の惱みは若輩なるが故の資金難である、だがそれも滿鐵と農事會社が、特に吾等の立場に同情と理解とを有つてくれるからそれを唯一の賴みとして今後の計畫を進めてゆく。旅行中特に御厄介になつた民政署當局、各農園主、先輩諸兄其の他の方々に厚く御禮を申し上げて擱筆する。

遼陽

廿五年の昔を偲ぶ從軍記者招待會
殘櫻會を組織して永久的に　廿一日公會堂の淸會

遼陽在住者中日露役に從軍した百餘名が二十一日在鄕軍人分會から公會堂に招待され二十五周年の祝賀會があつた、當日定刻午後一時先づ記念撮影の後當時の從軍者片山武一郎、栗原八郎、長濱和一郎、地家精一の諸氏實戰談をなし、來賓代表多田第十六團參謀長の祝辭あり終つて開宴、折詰を開いて往時を偲ぶ懷舊談に卓を賑はし宴半にして有志の動議で殘櫻會を組織して今後毎年一回會合することに滿場一致を以て決定、會長に赤十字診療所長多田三等軍正、副會長に西在鄕軍人分會長地家精の兩氏外に十名の評議員を置くことになり極めて盛會裡に午後五時頃散會した

消組總代會

遼陽消費組合支部では二十日午後三時から社員クラブに於て支部總代會開催、魚菜部擴張、必需品配給價格其の他の問題に付協議する處あり見坊理事は二十一日夜行で理事會議出席の爲め赴連した

金組役員會

遼陽金融組合では廿日午後七時から評議員會を開き新加入者の資格審査其の他に付協議した

本社支局移轉

我社遼陽支局は廿三日仲町三番地に（電話三四八番）移轉した

宮村氏結婚

遼陽朝鮮銀行支店員宮村新太郎氏は西田爲次郎氏夫妻の媒酌で鞍山木下竹次郎氏息女貴美子（廿二）と二十一日遼陽神社で結婚の式を擧げ同夜仲町玉泉で披露宴を張つた

海城

線路工長異動

海城線路工長准職員齋藤官員氏は煙臺保線區に轉勤し後任には遼陽より鹽見寅吉氏が着任、他山線路工長永田幸造氏は遼陽へ、其後任として沙河から大橋千次氏が來任した

公主嶺

多田參謀長けふ來公挨拶

第十六師團多田參謀長は新任挨拶のため二十五日第十七列車にて來公丸福旅館に一泊二十六日步騎兩隊憲兵分遣隊、警察署、地方事務所農事試驗場等を訪ひ第二十二列車にて出發の豫定

小學校卒業式
幼稚園は廿二日

公主嶺小學校の第二十三回卒業式は二十四日午前十時より擧行、尚二十二日午前十時より幼稚園の修了式を擧行したが卒業園兒は五十名、入園幼童は六十名である

哈爾賓

居留民會評議員の選擧

居留民會評議員選擧は廿三日愈々其の最後の決定權を與へることになつたが、これまで沈默を守つてゐた小林九郎（滿鐵勸業）青木庸一（齒科醫）大河原哈通社長、栗栖圖書館長等が立候補しこれに對して舊評議員の軍司義男牛木寬三郎氏等の再出馬に內面的競爭は俄然猛烈となつたが、廿三日の開票は各方面に興味あるセンセーションを與へてゐる

瀨川氏離哈

日支文化事業の北平代表として駐在中の瀨川淺之進氏は老軀をひつさげて十九日來哈、八木總領事官邸に滯在中であつたが、廿二日午前九時十五分八木總領事其他多數の見送裡に北平へ歸任した、氏は日淸、日露時代に支那にあつて活動した營口領事として令名がある

鞍山

鞍小卒業式
けふ講堂で擧行

鞍山小學校では二十五日午前九時三十分より講堂に於て卒業式を行ふと

鞍小父兄會

鞍山小學校では二十三日講堂に於て本年度入學兒童の父兄會を開催し兒童に對する打合せをなした

菓子商組合例會

鞍山菓子商組合三月例會は二十三日午後七時より實業協會堂に於て開催し原料品仕入及び重要事項を協議、午後十時閉會した

開原

大和之丞の浪花節二十六日に延期
各地の好評で順延

奈良丸改め吉田大和之丞一行は二十五日開演の豫定なりしが各地好評の爲め長春に於て一日日延べせるにより開原に於ける開演豫定は順延二十六日開演の事となつた

兒童慰安巡回映畫
廿七日小學校で　昌圖は來月九日

第三十六回兒童慰安巡回映畫は來る二十七日開原小學校に於て開催し實寫「お祭の日光より」一卷、喜劇「お芝居騷ぎ」一卷、漫畫「太郎さんの冒險撮影」一卷、敎訓劇「毬の行方」六卷を上映すると尚昌圖にては四月九日上映開演の豫定なりと

鐵嶺

小學校の記念音樂會
今夜は高齡者と一般を招待

小學校卒業記念の音樂會は二十四日午後六時半より同校兒童の父兄を招待して開催、二十五日晩は六十五歲以上の高齡者及一般を招待すると

卒業式擧行
きのふ小學校で

鐵嶺小學校第十八回卒業式は二十四日午前十時より講堂に於て擧行、本年度の卒業生は高等十二名、尋常科六十一名、家政女學校九名、尋常進級兒童は高等科卅三名、尋常科四百六名、家政女學校十四名であると

景氣のいゝ日語卒業生
廿二名の就職は殆ど決定

鐵嶺日語學堂第十九回卒業式は二十二日午前十時より同校に於て行はれたが、本年の卒業生は二十二名で、日本側と違ひ就職口が廣いので何れも就職決定してゐると、因みに本年の卒業生の就職は左の如し

滿鐵四名、鮮銀鐵嶺支店一名、吉長鐵路一名、吉敦鐵路一名、洮昂鐵路五名、洮索鐵路三名、此外南滿中學一名、旅順中學一名遼陽商業實習所に三名入學した家業從事一名

慌てゝ飛乘り支人負傷
生命は無事

二十一日午後零時半營口驛發時急が南方四キロ八里庄附近を進行中、三等車から身を躍らせて飛降りた支那人乘客あり、全身數ヶ所に打撲傷を受け腦震盪を起して人事不省に陷り鐵嶺醫院に收容手當を加へたるも意識恢復せず二十二日朝に至るも昏睡狀態を續け危ふく冥土に行かんとしたが手當の效あつて一命は取止めるらしい、取調べの結果何處の何者とも判明せず所持品は開原發賣鐵嶺までの乘車券及開原人呂鳳桐といふ名刺のみである多分開原から鐵嶺に來る途中乘越しと氣づき慌てゝ飛び降りたものであらう

法庫縣敎育者が日本側視察
四月中旬旅大へ

法庫縣敎育局では管內敎育者を以て見學團を組織し旅順大連方面の日本側敎育機關の施設敎育法其他に就いて見學したいとの希望で、目下計畫を進めつゝあり、四月中旬出發の豫定で日本側領事館に對し目的地に於ける便宜斡旋方を照顧して來たと

保田氏夫人逝去

當地草分けの一人として在住二十餘年に及べる敷島町保田庄太郎氏の夫人千代さんは腹部の腫物を切開すべく去る十七日入院開腹手術を行つたが心臟麻痺を起して二十日午後十一時半死去した享年五十二葬儀は二十二日觀音寺で執行された同女は夫君と共に餘生を內地に樂むべく來月中旬に當地引揚の準備が整つてゐたが其希望も叶はず長逝したもので誠に氣の毒な人であつた

大和之丞浪曲大會
讀者優待割引券
特等　二圓　一等　一圓六十錢
二等　一圓
各地とも共通
滿洲日報販賣部

滿洲開發の鍵鑰 (二)

昭和製鋼所に關する私見

難波生

若し大膽に素人の臆斷を許されるならば、私は原料や、給水や、燃料といつた根本條件に大差ない限り、關税問題や、非常味の或る懸念などは、工場の位置を決定すべき重大因子でないと思ひます、否それよりも必要なのは、此事業に依つて興へらるべき全般への影響であつて、それには當該關係諸地に於ける殖民的基調の建設如何に留意すべきだと思ひます、私は總て消極的當面的に墮して居ると申しました、人々は不景氣や行詰りを云爲して、官憲及び滿鐵の援護を强要し、之に對して後者は在住者が適住の氣に乏しく、徒らに保護擁援の下に逸居せんとする事を非難します、いづれも一理ありますが究極する所は今まで生産者としての基礎を有たなかつた事と、この點に無關心の儘、外觀の衒耀のみが、市街建設や、各人生活の樣式や、產業奬勵に濫用された點にあります、今日沿線を

巡覽しますと、地につける農業者が礦物の採掘、若くは漁撈に從業といつた生産者のほか、確乎たる生活の基礎を存して居る在住者は幾人ありませうか、それにも關はらず、宏壯な家屋、廣濶な道路を建設して、純日本式でも、支那式でも、將又洋式でもない生活をして居るのであります、當然發達すべき政治的商業的都市を除き就中竟にそうした發展の見込ない中間驛に於てすら、外形的粉飾にのみ馳せた建設工事は、所謂砂上の樓閣に等しい感を催させて居ります、これは今日の行詰りに大なる素因となつて居ますが、其責任は指導者側にも、被指導者側にもあつて、要は生產者としての基調を有しない缺陷を暴露した者だといへます、年々好成績を擧げて居る滿鐵會社にしても、若し撫順炭坑その他の生產的經營を有つて居なかつたら、輸送業のみで果して今日の繁榮を繼續し得るでありませうか、如何に港灣設備が整頓しても、鐵道のサアヴイスが周到であつても、貨物の流れ行く自然の領域は決つてゐます、今まで此方面の全盛を極めて居るやうに見えたのは、他に競爭が無かつた爲めか、若くは

動亂が餘儀なくした一時的現象に過ぎなかつたのです、現に東支線や鳥鐵線との必然的爭奪があり、更に吉奉線開通後の双陽、磐石、海龍、東山方面の貨物出廻り變化や、打通線を通じて早晚實現さるべき洮山線への輸送系統などを豫想しますと、何時迄も桃源の夢を貪つて居た從來の態度を續け得られるでありませうか、斯した成行きを或論者は反日本的心理の現れのやうに申します、併しそれは國民精神を無視した偏見であつて、泛々たる外交手段では何うする事も出來ない必至的大勢であります、それは恰度支那が何時迄も動亂續きであるやうに、勝手な批評で通がつて居た人々が、グン〳〵統一氣運の高まる近狀に刮目して居るのと同樣、如何に自家滿足の辯解に安んじやうとしても、斯して徐々に擡起する鐵道戰の將來は、日本人が原料品の唯一生產者でない限り、決して安心すべき趨勢ではありません、それには何うしても

南滿に於ける工業的基礎を確立させねばならぬ、若し南阿に金剛石と金坑とが發見されなかつたら、十九世紀後半の英國人は、ボア人とホッテントット族の前に退却を餘儀なくされたかも知れませぬ、それほど同國當時の植民政治は行詰つて居たのであります、又若し印度に鐵鑛採掘やゴム栽培の生產業が起らなかつたら、特許權のみで緊いで居た在住英國人の事業は、海運の外誇るに足る者が扶植されて居なかつたかも知れませぬ、南滿に於ける工業樹立の必要も、實にこの意味の生產的位置を涵養するにあります、勿論斯うした議論は今までにも各人に依つて主張され、又此主張の下に芽ばへた事業もあります、併しそうした各種工業の根本には、更に之れを促進すべき基礎工業があるはずです、製鐵製鋼の如きは即ちそれで、この原動力を釀成することは滿洲に產業の中心を建設する爲の急務であり、この急務を了解すれば、自から工場に關する位置の是非も判る譯だと私は思ひます。

投書歡迎 中傷を目的とするものは採らず 新聞行數五十行以內のこと

へ組

映畫館の樂隊

協和會館ファン

昨年までは協和會館の映畫伴奏は斷然他の常設館のそれに優れて居たが近來は全く常設館に壓せられて三位四位におとされて了つた常設館の樂隊は昨年迄は左程の優劣もなく何れも騷々しいばかりであつたが大日活の出現と共に樂隊も他館のより優れて近來は其第一位を占むるに至つた只時々拍子が揃はず音が亂れがちなのはよい統率者がないためか實に惜しいことだ、大日活の後に更に立派な常設館常盤座が現はれた、上映フイルムも高級のもの揃て近頃は大分常盤座黨が多くなつたが、それだけに伴奏の惡いのが常に問題となつてゐる、殊に主要な樂器が頗る未熟の爲め他館のと比較して最下位にある、吾々ファンのためにも少し優れた樂隊を置いて常盤座の名を更に光輝あらしめんことを座主に御願ひする、映畫伴奏は何と云ふてもホテルのオーケストラが一番であつたが近來全く音をひそめたのは何故か吾々ファンの大損失だ殊に近來の協和會館の映畫伴奏には皆が呆れ果てゝ最早や問題にする人がない程になつた、よい樂隊を雇ふ費用がないのかトーキーに變る迄の一時の辛抱で間に合せて居るのか問題外だが近頃は協和會館における催しは質が落ちて來た「協和會館に催されるものなら心配はない」とは云はなくなつた要するに協和會館初め各館共に益々樂隊の改革向上を望みホテルのオーケストラの奮起を促がす次第だ

皇室の御稜威と國民の協力 (六)

日露戰爭を回顧して

關東軍參謀長 三宅光治

最後に私は戰爭全期間を通じ殊に直接敵との交戰間に於て實に深刻に感銘致しました一事を述べて此講演を終らうと思ひます、それは外ではありませぬ「我皇室の御稜威の有難き一事」であります御承知の通り彼我兩國の軍隊は何れも有名なる將帥によりて統率せられ我大山總司令官以下の各名將は云はずもがな敵の總司令官「クロパトキン」大將「リネウイツチ」大將、乃至は海軍の「マカロフ」提督等、皆何れも世界一流の有名なる兵學者であります、又露國の軍隊は實際戰つて見まするに流石は世界各國の畏敬したる如く中々强い軍隊であります、故に若し奉天の職爭に於て敵の總司令官が其强大なる總豫備隊を擧げて奉天西方の大平地より殺到致しましたならば、此戰ひの勝敗は或は彼我其所を異にしたかも知れませぬ、然るに「クロパトキン」大將は其總豫備隊を我鴨綠江軍方面の山地に最初に移動致しました爲め、いよ〳〵の時に間に合はなくなつてあの樣な大敗を來したのであります、これによつて見ましても敵の總帥としても用兵上立派な考へを有して居つたのでありますが、之をよく成し遂げ得なかつたのは何に原因するかと申しますれば、是れ一に「我皇室の稜威」の然らしむる處であると申すより外ないのであります。其他大小幾十回の戰鬪に於て濟んでから其跡をよく研究致しますると、どれもこれもあの調子でよくも日本軍が勝てたなあと思ふものばかりであります、素より我軍の大勝利は擧國一致極めて緊張せる精神と眞劍味とを以て敵に當つた結果である事は申す迄もありませぬが、不言の裡に敵の行動に掣肘を加へられた不思議の威力は何と申しても人力以上でありまして、是所謂天佑即ち我皇室の稜威の然らしむる處であります、されば此の有難き皇室を上に戴く我日本帝國に生を享けし臣民は、眞に幸福此上なく、從つて彌が上にも皇室の御繁榮を祈り奉ると共に、此光輝ある帝國の國威宣揚に渾身の努力を拂はねばならぬと存ずる次第であります之を以て講演を終ります(終)

往昔のユートピアが今はモダンな文化町

支那人が幅を利かす香坊

【ハルビン特信】國際都市、ハルビンがもつ新らしい文化村——「上號、香坊」と乘合自動車のロシア人の女車掌が頻りに客を呼ぶ、其の香坊とはどう云ふ町か? 傅家甸(ハルビンの市街は新市街と埠頭區から出來上つてゐるので支那人は埠頭區を道裡と稱しこれに對比して傅家甸を道外と呼ぶ)の純然たる支那街から埠頭區の一角を通り、新市街の驛前から中央寺院に出で、ヨーロッパ風の都市の繁華から馬家溝を過ぎスタールハルビン——(舊哈爾賓)に向ふと其の町に接續して伸び〳〵と平原のうちに生れてゐる新らしい村、これが香坊である

◇

軍閥の鬪爭と鴇的政治家の權謀術策に疲れた支那は興亡常なき走馬燈の場面を轉換し、新鮮なる生命を培ふために、「眞の革命は村落から」とのモットーでテンポの早い都市を靜かに睥睨して村民の教育に力瘤を入れだしたのは、各省到る處に新文化村が生れつゝあるのにても判るだらう

◇

スタール哈爾賓は數年前までは全くの一寒村であつた、居住者の全部は殆どロシヤ人でいづれも鐵道從業員の家族が牛馬、羊豚を飼育してゐた極めて自然的生活を營んでゐるユートピアとして知られてゐた、其の村の入口に邦人は製粉工場を建設し、北滿小麥の畜額と將來の食糧問題のために遠大なる抱負と經綸を以て、工場の發展を計畫し、黑い煙を太い煙突から「北滿邦人の意氣をみよ」とばかりに氣を吐いてゐたものだが、星うつり歲あらたまつて今は支那人の手に「天興福」と墨太々の看板のもとに經營され、附近も亦支那人の居住者が多く——第八中學校の新建築に、高等小學校、農事研究所が堂々と棟を並べてゐる、桑海の變どころの騷ぎではない

◇

特に人目を惹いたのは「平民工業分廠」の扁額に「女子手工教習所」の建札看板である、家は煉瓦平家建で廣いグラウンドに各家屋が散在してゐるが女子手工——職業婦人として自活の出來る女を釀成し、一般のものに對して新らしい職業を教育してゐるのである、村人は各地から集まつたものと土地のもの〻二種類になつてゐるが、村長張某は全村民を盲目から眼あきにして仕舞ふのだと努力してゐる、現在は極めて微々たる村ではあるが、教育機關だけは立派に整頓してゐる、だから若い支那婦人はモダニズムを發揮し短袴に斷髮をしてゐるではないか——

◇

十二日——孫中山五周年記念式には村は全部戸毎に青天白日旗を揭揚し黨國主義の意氣を示してゐるハルビン市內の支那人家屋には國旗を揭揚してをらぬが——この村だけは旗を立て記念祝賀をした、特に記念大會の籌備會を組織し張公學校、商務會、第三校が主催發起人となり十二日は公安局、保衞隊、農事試驗場、農會其の他附近の代表機關の首腦者を招待し午前十時から東首廟の空地廣場で盛大な式を擧行し名士の講演會を開き「革命未だ成らず」を高唱して虹のやうな氣焰をあげ文化村の意氣と力と熱を煽つた——ハルビン市內では觀られない現象である

家庭コドモ

中等學校英語教育改善私見……(2)

中學で學ぶ英語は裝飾品に過ぎぬ

先づ上級學校の入學試驗から改善せよ

玉置彌造

◇

中學校が高校及び高商に入學すべき豫備教育機關である以上、中學校の教育方針は高校及び高商の入學試驗法に支配せられるのは止むを得ないことである。だから高校及び高商の入學試驗法又は入學試驗問題が實用に遠ざかつたものであつたならば、中學校の教師らはそれが英語研究上無益の努力であることを知りつゝ、一人でも多くの合格者を自校から出したき希望にかられ、その入學試驗に及第するために最も適應した教授法を採るやうになるのは自然の勢である。故に中學校に於ける英語研究法を非難するよりも、高校及高商の入學試驗法が實用英語奬勵上適當のものであるか否かをディスカッスすべきが至當である。この見地から私は先づ現在の高校及高商の入學試驗が、受驗者の英語の活用力を試驗するに適當なるものであるか否かを批判して見たい。

◇

三十年前でも東京高商の入學試驗で、受驗生が英語を聽いて理解する力と、舌を用ゆる能力即ち發音と話す力を試驗することの必要は無視せられてゐなかつた。その當時故神田乃武氏が主席教授として同校の英語教授を主宰せられ、入學試驗にはアレキサンダー・ジヨウ・ヘヤーなる外國教師が或文章を受驗主に書取らして綴字と書法の試驗をなし、外に會話の試驗があつて聽くことにより理解する能力と話すことの技術が試驗せられたから、同校に入學志願の中學生は發音と會話を練習するため外人の出席する教會に行き、或者は課外の時間を利用し外人に就いて會話の練習を怠らなかつた。

◇

然るに私が調査して知り得たる所によれば、現時の高商入學試驗では受驗生の實力を試驗する上に於て最も重要なる之等の試驗は全廢せられ、筆答による英文和譯と和文英譯とを以て受驗生の英語の實力をテストする方法を採用してゐる。即ち耳に聽いて理解し口にて意思を表示することを主眼として研究されねばならぬ英語を、眼に見てこれを理解し、筆にて意志を表示することを主としてゐるから、中學校にては發音讀方會話等の重要課目が殆ど無視せられてゐる有樣である。其結果中學校五年級などでは可なりアドヴアンスした書物を教科用としてゐるが、これらの書物の內容が實用的英語研究の見地から言つて何等の價値なきものでも、高商又は高校の入學試驗に適當と思はれるものを標準として採用してゐるから、現在の如く高校及び高商の入學試驗が非常識な、實用に遠ざかつた方法である限り、中學生に實用的英語の力を與へることが不可能である。

◇

事實現時の中學生は一種の裝飾品として英語を研究し、高校及び高商の入學試驗は受驗生が如何に多くこの裝飾品を有するかをテストすることを主眼としてゐるのであるから、この試驗の成績は彼らが有する實用的英語の活用力を示す標準とはならぬ。故に中學校の英語教授法を改善するためには、先づ高校及び高商の入學試驗法を改善せねばならぬ

支那看板種々相 (5)

運命のハンドルを握る 八卦屋さん

箸のころんだことでも八卦で占つて貰はなければ氣の濟まぬ支那人である、やれ旅行、それ縁談、病氣などの時はもとよりのこと、一から十まですべてが占によつて決定される支那の軍隊なども進むとか退くとかもやはり八卦できめるらしい、こんな有樣だから大道易者先生の張店が至るところに見出されるのも不思議はない、易者もいゝのになると堂々と一戸を構へ相士として相當深い學問と見識とを具へてゐる、先づ見料は四五十錢見當、寫眞は西崗子の入口に軒を並べた八卦屋さんで「指南卦館」「問心命館」などの看板を軒にかゝげてゐる、卦館も命館も同じ八卦屋の意味である。

童話 雷のお家(一)

柄木田照茂

それは未だ三郎の小さい時の事でした。よく雷のなる頃の事です。或る日の午後三郎は佛樣にお供へするお花を摘みに裏山へ行きました。裏山といつてもそう高くはありません。小高い丘ぐらゐなものです。大きな木などは一本もなく禿山なのです。

それでも桔梗や女郎花や、すゝきが山一面に咲き誇つてまるで花園のやうにきれいでした。三郎は無中になつて、あちらこちらと探し廻つてをりましたが、いつしか長い夏の日が西に傾いて、あたりがうす暗くなるのも忘れて一生懸命摘んで歩いてをりました。

大きな花束が二つも三つも出來てさあ歸らうと氣がついた時はもうすつかり日は暮れて歩いて來た道さへ殆然わからないくらゐでした。

三郎は泣きじやくり乍ら歸りの道を探しましたけれども、さつぱりわかりません。あんなにおうちから近い筈だのに今日に限つて仲々遠いやうに思はれてなりません。

「お父さん」

「お母さん」

三郎はもう泣くのを止めて、こう大きな聲で呼んで見ました。けれど答へてくれるものは山彦より外には誰も答へてくれません。

大チヤン・モウジウガリ (61)　ハルミチ作　ジラウ畫

ドジンドモ ガ イヘ ノ ナカ ニ ニゲコンダ ヒマニ 大チヤント ヲヂサンハ ライオン ノ カハ ヲ テバヤク ヌギステ、ジドウシヤ ノ ナカ ニ トビコミマシタ、ソシテ ヲヂサン ガ ハンドル ヲ ニギルト、ジドウシヤハ イキホイヨク ハシリダシマシタ。

「ヲヂサン、ブルト チンパンヂー ハ ドウナツタデセウネ」大チヤンハ ソレバカリガ シンパイデシタ「マア イチド アンゼンナトコロニ ニゲテ、ソレカラ タスケル クフウヲ ユックリ カンガヘヤウ」ヲヂサン ハ ジドウシヤヲ ゼンソクリヨクデ ハシラセマシタ。

◇彌生高女母國見學團通信……(一)

あこがれと郷愁をのせて

堀谷紀美子

十時學校集合

十一時半上船、出港、只慌たゞしい。見送り人の渦、テープの綱、サヨーナラ、萬歲、萬歲、目も耳も心も混亂の渦巻である。うれしいやら、寂しいやら。テープを心のたづなとにぎりしめた私達は、一ツ〳〵切れて行く赤を、青を、紫を、唯ぼんやりと眺めてゐたのです。

落着いて船中の人となつたのは十二時半です。

二時頃でありませう、まづい食事を樂しき日の想ひ出と、誰もにこやかに食べて居る。美しい一ツのホームの樣です。午後の日は強く輝いて、デッキは人々の群で賑はふ、靜寂かなる朗かな海を背景に甲板を歩き、語り、眺め、かけり、をどり、はねて、餘りに靜かな、穩かな天候に感謝しました。

「もつと搖れるといゝわね」

「波がないと船に乘つた樣な氣がしないわ」

運動につかれた一行は、夕食を待ちかねた程今日の一日は樂しかつた。海の夕日は怖ろしい程紅く水平線に消へて行く。島影はもとより、動くもの一つない、水ばかりの黄昏。暮れ行く地平線のあなたは何處ぞ、見知らぬ國への想像は懷しい母を思はせます。

合理的な洗濯の仕方

むやみに石鹼ばかりよけい使つても決して洗濯物がきれいにはならない。石鹼液の作用する濃度は〇、二乃至〇、三パーセントであるから一般にやつてゐるやうに布面一ぱいに石鹼をベタ〳〵塗りつけるとは徒らに石鹼を浪費するのみである、それで先づ〇、二乃至〇、三パーセントの石鹼液をこしらへ其の中に洗濯物を數時間浸した後汚れの甚だしい部分を洗ふやうにすれば石鹼の節約は勿論勞力の節約も出來るわけである、それから使用水の硬軟は石鹼の使用量と密接な關係があつて硬水を使へば石鹼の損失は免れない、故に使用水は一旦煮沸かしたものか或は豫じめ苛性曹達なり炭酸曹達よりのアルカリ性藥品を投じて置けば石鹼の使用量は少くて濟むのである

テレビジヨソ

△公衆電話の料金を頻々として盜まれる大阪電話局では今度料金を盜まれぬ電話機を考案、金は地中に埋沒されたコンクリートの金庫中に落ちる裝置になつてゐるのださうだ

▽「御主人から御註文がありましたから蒲鉾を持つて參りました」と釣錢まで用意した新手な押賣り詐欺が神戸に現れた

▽醫學博士澁澤造に對する非難の聲いよく〳〵高まる

▽本日擧行される小學校の卒業式を最後として市內の各學校はいづれも學年末休業に入り本屋の店頭は教科書を買ふ學生兒童で押すな〳〵

けふの放送

實用支那語會話 第四十二

1 您這房子很好啊
2 不好、太窄了
3 一共幾間
4 六間、可惜沒有樓
5 有六間彀住了
6 屋子太髒
7 那兒的、很乾淨
8 老沒拾掇哪
9 這是您自己的麼
10 不是我的、是租的
11 房錢是多少
12 每月五十塊錢
13 五十塊錢不算貴
14 可還得自己修理
15 房東不管麼
16 都是自己拿錢
17 院子倒寬
18 寬是寬、太敞了
19 房東是誰
20 是一個相好的

譯文

1 貴方の此家作は大層結構ですね
2 好い事は有りません、狹過ぎます
3 全體で幾間です
4 六間です、惜いかな二階が有りません
5 六間有ればお住ひには充分です
6 部屋が隨分汚れて居ます
7 どう致しまして、大層きれいです
8 一向手を入れませんので
9 これは貴方の御自分ものですか
10 私のでは有りません、借りて居るのです
11 家賃は如何程ですか
12 月五十圓です
13 五十圓はお高い方では有りませんね
14 デモ自分で修繕しなければ成りません
15 家主は構ひませんか
16 皆自分が持出しです
17 庭は割合お廣いですね
13 廣い事は廣いが、餘りだだつ廣いです
19 家主は誰ですか
20 極く懇意な者です

新字 。窄 。髒 。租 。寬 。敞 。相。

探偵小說 **女妖**（43）

江戸川亂歩作 横溝正史 伊藤幾久造畫

富豪の秘密（四）

名越伯爵――實は成瀬子爵は、輕く花子の腕をとると、混子たちの側を拔けて、廣間を突つ切つた。花子は今自分の腕をあづけてゐる男が、嚴しい許婚者であらうなどとは夢にも氣がつかぬ。然し、相手の物柔かな態度なり、口吻なりが、初對面の人とも思へぬ氣易さを彼女に興へるのであつた。成瀬子爵は、その表面に見えてゐる程決して冷靜ではなかつた。自分は今、命にも變へ難い女と手と手をとつて、この華やかな夜會の席にゐるのだ。然し、おゝそれは何といふ慘めな、哀れな立場であらうか胸の中には溢れる程の愛の言葉の數々が秘められてゐる。然し、今、一言半句と雖も、さうした言葉を吐いてはならないのだ。いやいや口に出す事はおろか、素振りの端くれにさへ、戀人らしい様子を示す事は禁じられてゐるのだ。悲しい試練――本當に世にかくも悲しい試練があらうか。

「此方へは度々いらつしやいますか」

やがて、賑やかな廣間を突切つて、物靜かな部屋へ入つて、柔かな長椅子に腰を下した時、花子はふとこう口を切つた。棕櫚の葉影が、紫色の好もしい電燈の光の中に、多角的な陰影を作つてゐる。相手がこの伯爵の様な老人でなければ、決して若い女が男と差向いでゐるべき場所ではない。然し、花子は、イギリスの貴族といふにふさはしい相手の態度にすつかり安心し切つてゐた。

「あゝ、パリーでですか、いゝえ」

伯爵は何か他の事を考へてゐたと見えて、花子からさう聲をかけられると周章て返事をした。が直にその後へ言葉をつゞけて、

「七年振り――さうです。七年振りになりますかね。何しろ急がしい暇のない身體ですから……」

「何か政府の御用でも……」

「いや、さうはつきりした仕事でもないのです。でもまあそんなものでせうか」

「今度も矢張り御用の筋で……？」

「それとも只お遊びにいらしたのでございますか」

「まあどちらつかずといふのが本當でせうか。暫くスイスの方へ保養に出かけてゐたのですが、その歸途、このパリーにゐる舊友を訪ねようと思つて、久し振りに立寄つたのですが……」

「その方にお逢ひになりまして？」

花子は何の氣なしにさう言つた伯爵はその言葉に凝つと花子の顔を見てゐたが。

「それが殘念ながら逢へないのです。意外な災難から、その舊友が身を隱してゐるやうな始末でして……」

「まア」

花子は思はず伯爵の顔を振返つた、その途端、二人の視線ははしなくも宙でピツタリと會つた。伯爵は周章てゝ眼を反す。花子はさつと顔を紅めると激しい動悸を胸に感じた。よく似た話があるものだ。この人の舊友といふのも、災難から身を隱してゐるといふ、そして自分の戀人成瀬子爵……。

彼女は急に忘れやうとつとめて苦痛を感じ。

「ねえ花子嬢」

その様子を注意深く見守つてゐた伯爵は、急に思ひがせまつたやうに身體を前へ乘出すと。

「お驚きになつてはいけませんよ私が探してゐる友達といふのは今貴女が思つていらつしやる人物と同じ人間なのです。ね、お分りになりましたか、私の舊友と言ふのは成瀬子爵なのですよ」

伯爵は花子の耳許に口をよせると、そつとさう呟いた。花子は突然世界が覗きからくりの繪板のやうにバッタリ變るのを感じた。彼女は思はず低い叫びを上げると伯爵の手をしつかりと握りしめた。伯爵の燃えるやうな眼を顔に感じながら……。

A5-14

瀆職事件新に發覺して きのふ田中技手收容さる
白鳥俊雄とは全く別に多額の收賄をなす
民政署疑獄益々擴大の兆

大連民政署土地係に絡まる不正事件は益々擴大の兆があるので池內檢察官は、廿四日旅順高等法院に安岡檢察官長を訪ひ、今後の檢擧方法その他につき打合せるところあつたが、午後三時新たなる瀆職事件發覺したもの〻如く大連地方法院高井檢察官は赴旅中の池內檢察官と電話で打合せ、直ちに木梨書記を伴ひ市內錦町八十七番地、大連民政署官有土地係技手田中德松（三五）方に到り

家宅搜査 のうへ多數證據物件を押收し、一方司法係千葉警部は大連民政署土地係に到り、水谷署長代理の諒解を求め、執務中の田中を拘引一應取調の結果、罪狀明白となり、午後五時半遂に强制處分により嶺前屯刑務支所に收容した、田中の瀆職行爲はさきに收容された金州民政支署員白鳥俊雄とは

全く別個 のもので支那人方面の土地貸下に際し、某日本人ブローカーの手を介し多額の收賄を行つたものらしく、取調べの進展につれ、なほ多數連類者の收容を見る模樣である

旅順に飛火 看守を檢擧す
土地に絡む詐欺發覺
きのふ赴旅した池內檢察官

廿四日朝來旅した池內檢察官は安岡檢察官長と高等法院檢察局の奧深き室において何事か密議を重ねたうへ、旅順警察署赤坂高等刑事を伴ひ爾靈山麓に居住の某支那人を檢擧取調べを終ると共に關東廳旅順刑務所に到り看守村川安造（三）を引致取調べたうへ、家宅搜査を行ひ多數の證據物件を押收高等法院に引揚げたが、午後は右證據物件の調査を進めると同時に參考人について午後十時まで嚴重取調べるところあつた、仄聞するに右は村川が昭和三年夏から冬にかけて某地の土地に絡み詐欺を働いたことで白鳥俊雄の取調によつて發覺したもので、事件は益々擴大するものと見られてゐる、なほ村川は午後四時發列車にて島貫刑事部長附添ひにて某支那人諸共大連へ押送された

緊張仕事を勵め
水谷民政署長代理の訓示

大連民政署土地係の不正事件は各方面に大なるセンセーションを與へ、就中民政署內はこの噂で持ち切り土地係の如きはロク〱仕事に手もつかぬ狼狽振りを示してゐるが、水谷民政署長事務取扱は前任署長時代に行はれたものとしても新任匆々斯くの如き

醜態を 暴露した事實を遺憾として二十四日午後四時から同署三階廣間に全署員を集め左の如き悲痛な訓示を與へた

自分は公平嚴格に事務の刷新を圖つて來たが、來任日淺きに拘らず今や世間注目の焦點となつてゐる不正事件をこの署內から出した事は誠に遺憾であり且つ慚愧に堪へない次第である。事件の正邪黑白は現在發動してゐる

司法權 の總結に俟たねば判明しないが、諸君は右事件にか〻はる事なくこの際大いに緊張して事務に善處しその進捗を圖つて貰ひたい

渡りどり　續々齎連の山東苦力

撤水に支障の 老朽自動車
新に三臺購入

大連市が撒水その他に使用してゐる自動車は現在十四臺であるが、その中昭和三年六月に購入したフオード一噸半積三臺と、一噸積一臺、大正十四年六月購入したレパブリツク二噸積一臺計五臺は何れも車體が破損して廢車になり、昨年七月購入のダツト所謂軍用自動車一臺も部分品の總てが

破損し 目下分解修理中であり、右軍用自動車一臺が例令使用可能としても五年度に使用出來るのは僅か九臺しかなく、しかもこの九臺も六年度には何れも廢車となる運命にある、殊に軍用自動車の成績は著るしく不良で中には二夏、走行哩數にして五千哩程度で廢車になつて了ふので、過般の豫算時別委員會でも問題になり結局は取扱の

亂暴に 依るのとし五年度豫算に技術者一名、助手一名を雇傭する事になつたが、ソレにしても六年度は全部廢車になり夏期撒水に支障を來すので新自動車三臺を購入すべく豫算に九千圓を計上した、なほ從來使用して來た自動車で最も成績のよかつたのは大正十年七月一萬圓を投じて購入したグラーム二噸半積で、走行哩數四年度まで四萬九千六百三十五哩に達し六年度廢車になつてゐるが、最も成績の

不良な のは昭和四年度七月九百五十圓で購入した軍用自動車一噸積で四年度一夏に二千四百五十六哩を走つたのみで既に車輪各辨の調制軸、制動機等に故障を起し不合格の烙印を押されてゐる

春にふさはしい ゆふべの雨
ドウ間違つたか 「早鳴りの雷さま」

シト〱と春雨が降る……二十四日午後五時四十五分から降り出した大連の雨は同六時半から急にパラ〱とやつて來て稻妻が光り雷まで鳴り出した。今年の初雷である。初雷は四月の半から五月の初めにかけて鳴るのが每年の例であるが三月中に鳴り出したのは過去二十五年間のうち、昭和三年三月十九日に鳴つたのが始めてゞ、今年が二度目である、若草山觀測所では

シベリヤ東部から日本海にかけて高氣壓が流動してゐた爲め、二十二日から支那黃河下流に滯留してゐた七百六十ミリ內外の小低氣壓が漸次東方から流動し始めた結果で、この雷雨は遼東半島から奉天附近まで影響を及ぼしてゐる模樣である

と語つてゐた。

安奉線釣魚臺附近に トンネルをつくる
愈よ工費約三十萬圓を投じて 本年一ぱいに完成

滿鐵では昭和四年度の追加豫算を以て安奉線釣魚臺附近に六百米突餘の隧道を掘鑿することゝなり近く工事に取懸る筈だが、これについて嵜水工務課長は語る

安奉線 釣魚臺附近は滿鐵線隨一の景勝の地であるが岩石が脆いため往々その岩石が線路上にころげ込み殊に解氷期にそれが多いため列車の運行上危險視されて非常に支障を生ずる場合が少くないから從來鐵道部でもこの點については相當研究されてゐた、今度いよ〱追加豫算を計上して隧道を作ることに決定、その設計を急いでゐたが漸くその完成を見るに至つたので近く

工事に 着手する筈である工費は約三十萬圓だが隧道掘鑿のため釣魚臺の風光を損ずることは勿論列車內から眺望する風光も從來より惡くなることはなく寧ろよくなるだらうと思つてゐる、工事の完成は本年一杯と見れば間違ひなからう

本社主催 フル・マラソンの 競技規程決定す
優秀な選手は極東大會豫選へ 滿洲體協から派遣

恒例による本社主催の本社前―蔡大嶺間往復フル・マラソンはいよ〱來る四月十三日午後一時より擧行されるが、二十四日正午より本社會議室に滿鐵運動會の岡部平太、高橋俊夫兩氏、滿洲體育協會主事林田學氏及び大連アスレチツク倶樂部幹事福元義德氏らの參集を煩はし本社員出席協議の結果左記の如く競技規定を決定した、なほ當大會に於て優秀なる記錄を殘したる勝者には銓衡の上來るべき極東オリムピツク第二次豫選に滿洲體協より派遣されることゝなつた

期日 四月十三日（日曜日）午後一時

發着點 滿洲日報社正門前

コース ▲往路―本社前山縣通（大廣場左廻り一周半）西廣場（左廻り半周）常盤橋、伏見臺、旅大道路、蔡大嶺切通しにて引返し

歸路 蔡大嶺、星ケ浦、伏見臺常盤橋、西廣場（左廻り半周）大廣場（左廻り半周）山縣通り本社前に至る

競技規定 一等より二十等まで入賞として締切り完全に競走を續け到着點に達したる參加者に參加記念賞を贈る（なほ切返し點に於ける一着より三着迄の順位者にも賞品を授與す）

申込方法 住所氏名職業年齡を明記して四月十日正午迄に到着する樣本社運動部宛參加料五十錢を添へ申込みのこと

大船傾いて クレーンを損傷

目下甲埠頭八番九番バースに繫留中の英國ブリウフアンネル會社所有サーペトン號（一萬一千三百廿一噸船長シヤウ）は去る廿一日上海より入港したが、入港と共に寺兒溝棧橋でオイルを降ろしそれの代りに廿三日水を張つたところ、張り樣が惡かつた故か、船が餘りに巨大な故か同船は約十五六度岸壁側に傾き、あはやと思ふ間もなく新設のクレイン三個の上にメリ〱と倒れか〻り一時は大騷ぎ、漸く船を原狀に戾し滿鐵埠頭及び船側で立會ひのうへ被害程度を調査したが幸ひ損害は輕微だとなほ原因は全く船側にある

商工學校募生

市立大連商工學校では過般商業本科の入學試驗を施行したが、受驗者日本人三十名、支那人八名の中合格者は日本人二十五名、支那人三名、計二十八名である、なほ若干名を募集するから入學希望者はこの際至急學校まで申出て貰ひたいと

船の見物で 飛んだお灸
ガス挿話一つ

「一度だけで好いから海の上の船が見たい」といふので折柄大連港沖待中の第六大星丸のボーイがかねてよりの馴染であるのを幸ひに廿三日午前十時すぎ手を携へて沖に乘り出したのが、市內逢坂町二番地松竹樓抱酌婦丸々事大西初江（二〇）といふ女、船の中を隈なく見せて貰つたお禮も適當にしていざ歸らうと甲板に出て見ると西も東も分たぬ濃いガスに船の中で一夜を明かし、廿四日午前十時ごろ上陸した所を水上署員に發見され一應取調べの上罰金十圓の即決

艦隊歡迎打合

廿四日午後二時より埠頭ビル二階會議室において來る四月三日來港の第一艦隊拜觀及び便乘に關し滿鐵埠頭、水上署、海務協會、滿日事業部員等參集これが打合せを行つた

北極飛行家 ア氏の遺骸歸る

【シヤートル二十三日發電】昨年十一月氷山に包まれた汽船ナヌーク號救助中暴風雨のためシベリヤ沿岸に墜落慘死した北極飛行家アイエルソンおよび機關士ボーランド氏の遺骸は二十二日夕、遺族及び死體發見に努めた各國飛行家に守られシヤートルに入港した、ア氏の遺骸はノースダコタ州の鄕里に、ボ氏の遺骸は當市に埋葬される

石川代議士 選擧違反で取調

【名古屋廿四日發電】名古屋選出民政黨代議士石川久助氏は選擧違反の嫌疑で二十四日午前九時すぎ任意出頭の形式にて檢事局に召喚、餅原檢事の取調べを受けた

預金引出しの 店員捕はる

市內浪速町二二九番地、土井內商店員前川元一（二〇）は數日前に雇はれたものであるが、二十三日午後十一時ごろ家人の隙を窺ひ店主土井內豐吉の小切手三枚を窃取、うち一枚に二百八十五圓を記入、さらに印鑑を盜用し廿四日午前十一時ごろ滿洲銀行に赴き預金を引出さんとしたところを張込み中の大連署員に檢擧された

性病豫防注射 公費支辨に
いよ〱滿鐵で實施に內定
沿線の藝酌婦へ福音

滿鐵沿線附屬地における藝妓、酌婦の總數は約千五百名であるが、從來これ等の特殊婦人が疾病に罹りサルバルサン等の注射を行ふ場合、その代價の支辨は一部形式的に樓主の負擔となつてゐるものもあるが、實際に於ては殆ど全部患者自身の負擔する有樣でこの點一個の社會問題として將又公衆衞生の見地からも改善の餘地あるものとして滿鐵地方部でも從來から研究中であり、關東廳警察官會議でも問題となると共に先般開かれた地方委員聯合會でもサルバルサン注射料の全額公費支辨を要望する旨決議を行つた結果、滿鐵ではいよ〱五年度においてこれを實施することに內定してゐる、實現の曉はか弱い特殊婦人の負擔を從來より輕減する一方附屬地における性病豫防施設の徹底を見るものとして期待されてゐる

內地行小包增加

三月上半期中大連郵便局取扱の內地行き小包は總數五千百八十二個で前月同期に比し八百七十四個の増加、前年同期に比し一千九個の増加であつたが、通關檢査の結果三百十九個課稅された

大ボイラー 無事哈市につく

チユーリン商會託送の大ボイラー一は廿一日夜途中無事寬城子驛着、廿二日チヤツキで東支線貨車に積換へ廿三日朝寬城子發赴哈したが廿四日夜哈爾賓に到着したと

酒肴料を下賜
戰公傷資格者は急ぎ屆出よ

日露戰役二十五周年に際し思召しを以て陸軍々人中戰（公）傷により現に増加恩給受給中の者に對し酒肴料を下賜さる旨御沙汰あつたのでその屆出方に關し陸軍省では告示を以つて布達したが、大連民政署管內に在留する該當者は本月三十一日までに

一、戰（公）傷を受けたる戰役名
二、恩給證書記號番號
三、恩給支給郵便局名
四、現住所
五、退職當時の官等級並に氏名

を記載し民政署まで急ぎ屆け出て貰ひたいと、尚酒肴料は各戰役關係の者のみに限らず一般軍人として増加恩給受給者にも下賜さるべき宮內省の意嚮に付き右戰（公）傷を受けたる戰役名は廣く原因と解釋し差支へないと

鄕軍遺族狀態調査

大連民政署では陸軍省人事局長よりの依賴により目下管內在留者中の増加恩給、傷病賜金（賑恤金）受給者並に戰（公）傷病死者遺族（現に扶助料を受け居る者に限る）の狀態を調查中

米國産業界 振はず
コ、暫く持續か

【ニユーヨーク二十二日發電】アメリカにては目下銀行方面のクレヂツト狀態頗る容易なるにか〻はらず産業界は一般にコ、暫く見送り狀態を取るものと思はれる、本日産業統計者會議の發表した三月の報告によれば

アメリカ産業界は一月にては稍好調を呈したが、二月に入つて緩慢となりそのま〻三月中旬まで緩慢狀態を持續して變化を見せなかつた、又産業界の新規事業手控へは産業界の萎縮と失業問題を原因とするものである

又アノヴイングトラストの月刊評論は次の如く記載してゐる

各國に於ける一般物價の漸落と最近の銀相場暴落、農産物價格下落とが關聯し財政經濟に一の難問題を提供してゐる、失業問題に關しては若し勞働者に關する總ての實情が判れば目下の失業問題も千九百二十一年と同樣な重大狀態たるべし

明政軟化事件 關係者取調べ

【東京二十四日發電】明政會抱き込み事件搜査のため上京中の大阪檢事局の末次檢事は二十三日午前中辻川を召喚して明政會當時の事情聽取正午歸宅を許し、更に午後三時ごろ長野縣選出元代議士大澤辰次郎氏を召喚し夜九時過ぎまで同樣取調べをなし歸宅を許した、右取調により明政會當時の政局に對する關係ほゞ明瞭となつたもの〻如くである、なほ當日吉植といふ四十年輩の人物が召喚されたが右は傳へらる〻如き吉植庄一郎氏とは全く別人である

鎭海事件の 弔慰感謝狀

去る十四日鎭海事件犧牲者送葬の日に當り本社は同地要塞司令部宛弔電を發したが、これに對し廿四日左記の如き感謝狀を寄せて來た

謹啓　三月十日當部內不祥事件突發に際しては早速御鄭重なる御見舞を辱ふし奉萬謝候善後の處置に就ては一同誠心誠意微衷を披瀝して萬全を期し殉難者の靈を慰め且つ各位の御芳情に酬い度と心掛け居候、先は不取敢御禮迄申述度如斯に御座候　敬具

昭和五年三月十六日
鎭海灣要塞司令官陸軍少將櫻井源之助、同參謀陸軍步兵少佐北島卓美、同副官陸軍砲兵大尉高崎季夫、同工兵部員陸軍工兵大尉佐々木隆綱、同砲兵部員陸軍砲兵大尉田島和市、同部附陸軍工兵中尉秋山源三郎、同部附陸軍二等主計小野英樹

苦力墜落即死

目下繫留中の第廿六共同丸において乘客苦力曹鳳（二二）はあやまつて船艙に墜落頭蓋骨を粉碎して即死を遂げた

霞町のボヤ

廿四日午前十一時ごろ沙河口霞町滿鐵技術研究所本館裏倉庫にて同所苦力が湯を沸かさんと火をつけたところ傍らにあつた薪に延燒しあはや大事に至らんとしたが急報により消防署員急行し直ちに消し止めた損害輕少の見込

阿片屋襲ひか

山東省生れ市內富久街九五番地居住の高悅臣（三）は最近一定の職業もなく常に阿片を吸煙し遊里に出入するので沙河口署では擧動不審者としてかねて內偵中のところ、高は去る十二月中旬小崗子露天市場阿片屋强盜事件の際、强奪されたる阿片煙槍を寺兒溝福昌華工會社內苦力頭張桂明方に所持隱匿しあるのを探知し同署の鳥飼刑事が廿三日午前五時ごろ同人の寢込みを襲つて逮捕した、前記强盜事件も彼等一味の所爲ではないかと引續き嚴重取調中

就職口なく縊死す

沙河口管內三春柳煉瓦工場附近樹木に廿三日午前六時ごろ縊死體あるを同所通行人が發見、沙河口署に屆出でたが檢視の結果、同人は河北省生れ當時住所不定姜環玉（二三）といひ去る十五日實兄と共に出稼ぎのため來連したもの〻就職口がなきため悲觀のすゑ右の始末に及んだものであると

宗教迫害座談會

市內敷島町基督教青年會にては二十五日午後七時半より宗教迫害に關する座談會を開催、一般の來會を希望すと

ばいかる丸乘客

二十六日大連入港のばいかる丸主なる船客左の如し

小谷晴亮、原田光次郎、加藤金次郎、宇多龜吉、山田洋、土谷英次郎、谷口英次、井田高次、佐伯宗夫、馬上左平の諸氏

訂正

二十三日附朝刊三面所載の「大連民政署土地係醜事又新に暴露さる」と題する記事中福昌華工に關する記事は福昌公司の誤りにつき訂正

戀と地獄 (80)

三上於菟吉作
鶴田吾郎畫

狂夢 (一)

「送つてくれないでもいいわ――すこし遲くなりすぎたけど、わたし、車を呼んで貰つてひとりで歸ることよ」

と、綾子が囁いた。

さまぐな、眩ぐるしい出來事があつた後で、どんな强い戀の衝動を求めつくしても、どこまでも飽きたりることの出來ないやうな綾子から、甘く、ねちぐした、魂の根に手でふらみつくやうな、手の、目の、言葉の、唇の愛撫を受けた諒三は、もう大分夜が更けて戀人が家路につかなければならぬ頃には、ぐつたりと部屋隅の籐椅子に倒れたまゝ、蒼ざめた額に冷たい汗をうかべて默り込んでゐる外はなかつた。

「でも、ひとりになつてから又つまらないことを考へては駄よ――

ねえ、諒さん、あなたを私から盜んで行かうとした人だつて言つてゐるではないこと?あなたはもう要らない人だつて、それなのに私にはあなたといふものがなければ生きてゐられないのだもの……それほどあなたが必要なんですもの……もう私を裏切るやうな氣持なんか起しては駄目よ、よくつて?わたし、もうあなたのためには何でもかでも捨てゐるぢやないこと?わたし、もうとうに女性としてはこれ以上貴いものはないと言はれるものまで、あなたに差上げてしまつてゐるのぢやないこと?……あなたは、わたしが、どんなに未來を樂しんでゐるか知り切つてゐるくせに、そのわたしから未來を奪つてしまふやうなことを平氣でなさるのだもの……かうしてゐてもまだあなたは物足りないの――不平なの?外のものがほしいの?……よ、諒さん?」

綾子は汗ばんだ白い手で、籐椅子の外へぐつたり垂れてゐる青ざめた男の手を取つて唇に當てた。

諒三は香料と汗と體臭との入りまじつた匂ひが、少しはだかつた脚元から漂つて來るのを嗅いで殆と眩暈を感じるのだつた――。

「ね、諒さん――わたしとの世界だけでは滿足が出來ないの?…わたしはこんなに二人だけの世界で滿足してゐるのに……」

綾子は握つた手をぎゆつと緊めつけて、むつちりと盛り上つた乳房の上に押しあてた。

諒三は、その瞬間、彼女の全身がある感激の戰ひに輕く戰慄するのを感じた……。

けれども、彼に取つては、彼女が今言つてゐることも、してゐることも、みんなあまりに重苦すぎた。息詰るやうな氣持を與へすぎた。

彼は何とか返事をするのさへ物憂かつた。默つたまゝ疲れた目でつい鼻の先に――燈光に背いたために大さう眞白に――白堊を塗りこくでもしたやうに不氣味に眞白に見える綾子の顏と、眞黑にきらめかして輝やいてゐる瞳とを眺めてゐた。

「諒さん、どうして默つてゐるの返事をして下さらないの?」

と、綾子はその白い顏と眞黑な目とをつい側に持つて來てせがんだ。

滿日文藝

滿日川柳 『春雜吟』

大連 句浪人
芽生えする頃から家出急に殖え

大連 佛心
家計簿の石炭代は子の貯金

四平街 良博
萬物の目覺めやうに春の雨

大連 木の葉
どん底に住んでも長閑な春の夢
賓麗の中から馬車のきしる音

沙河口 水母
動題の綴がかんでる春の海
草花の上で辨當晝を待ち
ウインドーへ吳服屋だけは春を告げ
去年見たダリヤの色で買ひに來

大連 黑眉
賀札へちと利子足らぬ春が來る

旅順 滿子
春の宵無駄な話の種つきず

奉天 子草
打水にまだ冷たい春の水

大連 子禾
摘草も迷れて滿足のやゝ疲れ

大阪 朋邦
蜜豆のやうな新婚の春の夢

大連 笠原
辨當が二列に歩く星ケ浦

普蘭店 火呂志
受驗前うらゝか過ぎて罪な春

○

沙河口 啞佛
春の陽へぽつかりと浮いた儘

旅順 欒臺
先生の留に摘草みんな捨て

沙河口 水母
地下室へもう春が來た野菜籠

旅順 欒丸
爪彈で春雨に暮れる四疊半

月南
春雨の音へ宵寢のゐつかれず

新刊紹介

▲犬ものがたり (中根榮著) 著者は日本電通の編輯長として盟筆の所有者亦日本シエパード倶樂部の創立者の一人として愛犬家としても名を知られてゐる、全篇はは行脚、犬小品、シエパード篇、雜の四つから成り、全世界から材料を集めて紀元當初から一九三〇年までの犬物語を載せてゐる「忠犬デルタ」はポンペイを埋めたヴエスビアス噴火の際に主人の子供に殉じた「忠犬」の物語「伯林の盲導犬」は盲人の手引をするシエパード犬の活躍を敍したものである、アルプスの山路で雪に惱む四十人の巡禮者を助けた有名な義犬バレーの物語、ビクトリヤ女王の御愛情を一身に受けた忠犬チム、歐洲戰亂に活躍した軍用犬の偉勳など、感激の深い物語りが約百餘篇、それに著者の犬を中心とした隨筆數十篇を收めてゐる、最後にシエパード編を附し、最近世界的に流行してきた一九三〇年度の犬として日本では軍用犬に、警察犬に、番犬に盛んに愛育されてゐるシエパードについての著者の薀蓄を傾けてゐる、ユーモアに富んだ隨筆として近來にない快著であるといふことが出來る裝幀及び序文は共に櫻井肉彈大佐が筆をとつてゐる(定價一圓八十錢、東京麴町區麴町丁未社出版)

島谷汽船勅出帆

●南鮮、裏日本 各港行 長成丸 三月 大成丸 四月四日 鮮海丸 四月十一日
(寄港地)鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、萩、境、宮津、舞鶴新舞鶴、敦賀、伏木、函館、小樽、各等客室設備あり
●裏日本 北海道行 須磨丸 四月十日 寄港地 宮津、舞鶴、敦賀、伏木、新潟、函館、小樽
●伏木、新潟、青森、小樽行 明石丸 三月卅日
●各等客室設備あり
島谷汽船株式會社大連出張所 大連山縣通一五三
代理店 大三商會 電話四七一一・三四八二番

高橋汽船大連出帆

大連芝罘間命令定期船
●芝罘行 福壽丸 三月廿七日後六時
●登州府龍口行 海壽丸 三月廿七日後七時
大連加賀町三〇
代理店 松浦汽船株式會社 電六一一七・三八五一番

阿波共同汽船

●威海衞 靑島行 共同丸第十六 三月廿九日前十時
●芝罘、威海衞 仁川行 共同丸第廿六 三月廿一日後七時
●芝罘、威海衞 靑島行 共同丸第廿一 三月廿六日後七時
●天津行 長山丸 三月廿七日後七時
●芝罘・靑島行 共同丸第卅六 三月廿日前十時
滿鐵とは貨物連絡取扱致候
大連市山縣通二〇〇番地
阿波國共同汽船會社 大連支店 電長六八九一・五〇〇一

政記輪船出帆

成利號 三月廿七日 鎭江
得利號 三月廿七日 芝罘
豐利號 三月廿七日 香港
有利號 三月廿六日 登州府龍口
永利號 三月廿六日 芝罘
滿利號 三月廿六日 厦門、香港
廻安號 三月廿六日 靑島
福利號 三月廿六日 威、港、廣
安利號 三月廿六日 厦門、香港
政記輪船股份有限公司 電話四一四一番

大阪商船出帆

●門司、神戶、大阪行(前十時出帆) 香港丸 三月廿五日 ばいかる丸 三月廿八日 はるびん丸 三月卅一日 うらる丸 四月三日
●上海福州基隆高雄行 長沙丸 四月十八日 福建丸 三月廿八日 盛京丸 四月九日
●朝鮮經由長崎鹿兒島行 關東丸 三月廿五日 (後三時出帆)
●北米シヤトル、タコマ行 ろんどん丸 三月卅一日
●紐育行(神戶、四日市、橫濱經由)(上海、神戶、四日市、橫濱經由) はあぶる丸 四月十四日 船客御斷り
●歐洲行(上海、香港、新嘉坡經由) あらすか丸 四月十三日 船客御斷り
●天津行 天津迄溯江 武昌丸 三月廿七日 佛租界埠頭繫留 先島丸 三月廿七日 貴州丸 三月三十日 船客御斷り
●橫濱直行 午後二時出帆 貴州丸 四月三日 先島丸 三月廿七日 船客御斷 武昌丸 四月一日
大阪商船株式會社 大連支店 電話四一三七番
●專屬船客案内所 滿洲旅館協會 信濃町遼東ホテル內電七五七四番
●乘船切符發賣所 大連市伊勢町 ジヤパン、ツーリスト ビユーロー

國際運輸株式會社 大連支店 電話三一五一番
專屬荷扱所大連市山縣通 大連案內所(電話五五五四番) 大山通出張所(電話七〇三四番) 沙河口出張所東萊洋行內(電話九五〇六番)

日清汽船出帆

●靑島 上海行 唐山丸 三月三十日前九時 華山丸 四月 八日前九時
大阪商船株式會社 代理店 大連支店 電話四一三七番
專屬荷取扱店、大連市山縣通 國際運輸株式會社 電話三一五一番
ニホーム荷扱所(電話四八〇一番)

大連汽船出帆

●靑島上海行(前十一時) 榊丸 三月廿七日 大連丸 三月廿九日 奉天丸 四月一日
●天津行 天津迄溯航 濟通丸 三月廿七日後三時 天潮丸 三月廿五日後三時 濟通丸 四月二日後六時
●登州府龍口行 龍平丸 三月廿五日
●香港廣東行 臺南丸 三月廿五日 鳳鳳丸 三月廿六日
●新潟行 嵩山丸 三月卅一日
大連汽船株式會社 電話番號代表四一八五番
專屬荷取扱店(大連敷島町) 永和公司 電話七三七五・七八六八番
阪神航路專屬荷扱店(大連須磨町) 澤山兄弟商會 電話長五二六五・四六八一
乘船切符發賣所(大連伊勢町)ジヤパンツーリスト・ビユーロー 大連案內所 電五五五四番

日本郵船出帆

●歐洲行 りま丸 三月卅日 李浦行
●對馬丸 四月廿七日 漢堡行
●北米行 加古丸 四月九日 紐育行
●鳥羽丸 四月廿日 紐育行

近海郵船大連出帆

●橫濱行 勝浦丸 四月四日 淡路丸 四月十日
●長崎神戶大阪橫濱行 相模丸 三月廿七日
●天津 牛莊行 勝浦丸 三月廿九日 淡路丸 四月三日 玄武丸 四月十日 相模丸 四月十九日
●基隆高雄行 第二蓬萊丸 四月二日

朝鮮郵船大連出帆

●靑島仁川行 會寧丸 四月七日
●仁川、長崎、鹿兒島行 羅南丸 四月二日
朝鮮鐵道各主要驛及本社各寄港地貨物受證發行
右汽車汽船出帆日時は天候其他の關係に依り變更すること有之候
水路圖誌、海圖販賣所 キユーナード汽船會社
近海郵船株式會社大連代理店
朝鮮郵船株式會社大連代理店 船客業務代理店
日本郵船株式會社 大連出張所 大連市山縣通電話三七三九・七八四六番
專屬客荷取扱店 大連市監部通吾妻橋 丸二商會 電話(四)六四・五八八八 五二八五番

夕刊 滿洲日報
三月廿四日
發行所 大連市東公園町 株式會社滿洲日報社

ロンドン會議の收穫
五國協定可能の範圍
幾多の難關が橫はる三國協定

【ロンドン二十三日發電】軍縮會議フランス側全權は目下首腦部全部パリーに歸還中であるがその內デュメニール海軍長官は二十四日、ブリアン外務長官は二十五日頃ロンドンへ來ることゝなつたがこれは會議に新らしい

希望を認 めたゝめでなくフランスとして此まゝ長く會議地を離れ居ることは會議不成功の責をフランスに負はせらるゝ結果となるを虞るに因るもので最早英佛關係、佛伊關係は共に殆ど解決の見込みなく、斯くてロンドン會議は今や少くとも一部的失敗を暴露したと稱するも過言でない事情となつた、只從來の經過に鑑み左の諸點は或は纏まるべく結局

五國條約 が若し出來るとしても左の範圍を出ないものとなるであらう

一、一九三六年までの各國の軍艦建造量を決定すること（主力艦の建造休止を含む）
一、將來更に軍縮會議を招集する件につき準備をなすこと
一、フランスの提案にかゝる艦船間の融通を認むる制限方式を決定すること
一、潛水艦使用制限規定を決定すること
一、特殊艦及び制限外艦船に關する規定を決定すること

右五項目であるが、就中第一項は佛伊均勢の主義主張の爭ひに觸れず實質的に制限の目的を達せんとする唯一の方法として今後の交渉に屬するところであるが

建造能力 には各國自づから限度あり例へイタリーがフランスと同樣の建造量を得んとしてもフランスは必らずしも之に反對せざるべく、只フランスの建造量に對しイギリスの態度如何がなほ疑問とさるゝも既にマクドナルド氏はブリアン外務長官に對し此方式に據らんことを提議せる事實あり或は纏まるに至るやも知れぬ、只今日いづれの方面においても確信はついてゐないやうである、若しそれ日英米

三國協定 が三國とも滿足なるところで成立せば本會議最大の收穫なるも、たゞ幾多の難關が橫はつてゐる

蔣、閻、馮三氏協力 和平に努力せよ
張學良氏が近く通電

【奉天特電二十四日發】張學良氏は踵を接して來奉する各方面の代表に對する應酬の煩に堪へず近く時局に對する自主的意見を發表すべく準備中であると傳へられてゐるがその骨子は大體次の如きものであると

一、全國の軍隊を平均に編遣すること
二、蔣介石氏の立場を尊重して現政府を擁護すること
三、閻錫山氏の意見を尊重して國民大會を召集し國是を解決すること
四、蔣閻馮三氏とも當分下野せず時局を整理して編遣を實施すること

北平市中の反蔣ビラ

北平市黨部の宣傳部が、一九二八年の夏以來、南京政府中心一點張りの躍起の宣傳もけふこの頃の北平は「閻中心」の宣傳と早變りして、街々には「禍國的蔣逆中正」等と云ふビラが貼られ、北方政府今や生る！の感じが濃ひはじめてゐる。

奉天派の內部監視

【間島廿四日發電】張學良氏は管下各軍隊內に便衣隊を密派して居るが最近蔣閻間の反目濃厚となるにつれ東北陸軍部內も多少動搖を免れぬと見て此際各隊長の動靜を監視せしむる爲め便衣隊の充實を期しこの程便衣隊長及び腹心の隊長を招致し、現在の組織を改め、最高を旅とし旅內に二個團を置き各旅より要員を選拔せしむべく內訓し極秘裡に編成に着手したと

米駐屯軍增員

【天津廿四日發電】米國の北支那駐屯軍では今回の駐屯兵更代に際して米本國より百五十名の下士卒を增員した、時局の不安が傳へられてゐる昨今のことゝて注目されてゐる

莫全權等二十九名 來月二日赴露決定
會議の前途は多難

【ハルビン二十四日發電】露支正式會議支那全權莫德惠氏以下隨員は會議の下準備に寧日なき有樣であるが、莫全權以下二十九名はいよいよ四月二日モスクワへ向ふことに決定した、依つてハルビンロシア總領事メリニコフ氏は外務人民委員會に東鐵管理局長ルーデー氏は交通人民委員會にそれぞれその旨を打電した、なほ支那側では會議の前途を樂觀して居ないが結局露支關係に新生面を開くに至るべしと見られてゐる

特別議會における 貴院論戰の中心
補償法、失業對策、敎育費問題

【東京廿四日發電】貴族院各派間には政府の糸價補償法の運用決定以來中、小商工業者に對する保護政策を中心に緊縮政策の緩和は積極政策への轉換が相當有力に唱道され來るべき特別議會には義務教育費問題と共に野黨系議員の痛烈な質問戰が行はれる形勢であるが財界不況問題と關連し益々重大性を帶び來つた、失業問題に對しても貴族院は相當政府の態度を難詰せん空氣濃厚で現に研究會が過日吉田社會局長官を招致して本問題の現狀並びに當局の對策如何を聽取したが火曜會でも四月八日華族會館に例會を召集し安達內相の出席を求め懇談的に選擧革正問題に對する當局の意嚮を確むると共に失業問題に就いても當局の對策方針につき詳細なる說明を要求する筈で公正會亦本問題の基礎的調査を急ぎつゝあるから不日內務當局に對し責任ある說明を求むることとなるべく現內閣の金看板とする產業合理化政策と關聯し貴族院における失業問題對策は緊張を呈するものと見られてゐる

心理學界の新しい學說發表
世界青年大會に出席した 鈴木梅吉氏の歸朝談

日本に於けるYMCA代表として米國の世界青年大會に出席した心靈學大家鈴木梅吉氏は廿二日の歐亞聯絡列車にて來哈し語る

昨年九月一日から一週間米國エール大學にて心理學大會が開催され日本からは今田、寺澤、太田三氏と私が出席した、會議の題目のうち最近の

發見とし ては英のスペヤーニン氏の智能發表とドイツのケーラー・コフカー氏の形態心理學は新學說であつて米國の心理學界における研究と全然反對の立場にあることが說明された、ロシヤからは世界的大家であるタブロフ博士が出席し生物學（レフレックス、コンデーション）——これは犬に電氣を感流せしめその兆候によつて唾液を出さしめその心理狀態を人間の場合の參考として研究せんとする學說であつて心理學界においては

新學說で ある、それからフランスのジャネー博士は精神分析學を發表しドイツのフロイド、アドラー氏は心理學は外面の意識を研究してゐるが、內面的にも流れてゐる心的作用の反應を研究する必要があると云ふ、假令へば歐洲大戰當時出征した軍人が戰場に出て互彈に見舞はれた際ハツとした瞬間に眼をつぶつた爲めに盲目となつたのを精神分析學によるとその過程に行くまでの狀態に引戾し、再び眼を開くやうに

誘致する 學說であつて最も新らしい研究方法であつた又米國では行動心理學即ち人間の外面的行動によりその心的作用を研究する學說でドイツの形態心理學と全然反對の學說であつたが、要するに心理學は局面の轉換をせねばならぬ行詰りの狀態で各國の心學者も一樣にその缺陷を認めてゐた【ハルビン特信】

走馬燈
荻川

氣運（其四）

これを我國に觀ると、昔は民衆を士農工商に差別したが、士は文武なり、然るに今や武は農工商の間に分たれ、擧國皆兵といふことになつた、文に於いても內治では民衆の參政權が擴げられ、外交でも民衆の輿論を待つようになり、絕對に侵すべからざる司法の權內に、民衆の陪審を許す時世となつて、文もまた武に等しく、之が漸く農工商の肩に移らんとして、所謂士の領域は次第に狹まる。

◇

人智が高まると、誰でも互に闘せられたる民衆差別の內に入り易くなる、從ふて亦其の差別を設くるを欲せなくなる、そうして此事理を明に證するは、露國革命にあらざるか、露國革命は勞農を以て民衆を差別し、勞は乃ち工業者側にして、農は乃ち生產者側を代表す、革命露國には此民衆二差別の外に、士はなし、商もない、士商のことは國民全體が之に當るといつた調子で、こゝに此制度を直に我國ものと對比せんとするのでないが、それで世界の氣運を示さんとするのみ。

◇

我國には我異議がある、我國には我が歷史がある、敢て他を眞似るに及ばぬが、そもそも我國の世界列國に負けないで、これと競ひ立ち行き得るは、世界の氣運を察し、此氣運から生ずる事態を取入れて、それを消化するからで、人は我國がよく外國に眞似ると云ふが、眞似ると見ゆるは、消化せんとして之を取入れる間際なのである、斯うしたことを考えて、さて商なるものに及ぶと、氣運は我國の所謂商に革命を促して居る、差あたり消費組合の發達、百貨店の出現から、連鎖商街の提唱なぞがそれ。

◇

要するに士の差別が、農工商の上に配當さるゝに至りし如く、此次は商の差別が、農工の上に配當さるゝに至るまいか、斯くて國內では、特殊にして消費者に便利なる商機關が殘つて、一般小賣商なぞ衰え、之を大にせば、海外貿易の如き、露國の國營とまでに至らずとも、工業生產兩者聯合機關によつて、之が營まるゝようになるかも知れないが、先づ以て一般小賣商などは、前途に光明の極めて乏しきが察せらる。

電政權問題
勞農側承認せず

【ハルビン廿四日發電】東鐵電信課の權利が勞農側に掌握されたのを憤慨した支那側は電信管理權を要求し莫德惠の渡哈により愈々露支正式細目會議を開催し支那側は六ケ條の要求を提案し國境滿洲里ポグラの兩地に電報支局を開設し沿海州及モスクワへの打電を檢閲すべく主張したが勞農側は極力反對し交渉は外面傳へられるが如く圓滿に進捗してをらないと、勞農側としては支那の主權は承認するが別にそれが爲め抑制される斷はないと云ふのが根本的主張で哈府協定の際に斯かる問題は提議し解決すべきものであると何處までも突ッ張つてゐる、然し料金問題は兩國において妥協する一縷の望みある由

阿片取締に關する 意見申出を希望す
目下滯連中の國際聯盟委員が ステートメント發表

國際聯盟極東阿片吸食取締問題調査委員の一行は二十二日來連以來各方面に亘り實情調査をなしつゝあるが二十二日附左のステートメントを發表した

關東州に於ける大連並びに旅順に於ける關東廳の關係官と會談し實狀を聽取す、本委員會は阿片吸食取締問題に關し關係私的諸團體並びに個人の意見を聽かんことを欲す、されば是等の團體並びに個人にして同委員に陳述せんとする向は星ヶ浦ヤマトホテル氣付秘書レンボルグ氏宛申出あらんことを希望す

本委員會の關東州に於ける調査に就ては時日に制限あり凡ての諸國體の代表者並に凡ての關係個人と親しく面談することは困難とする事情あるを以て其の所見を書面にて提出せられんことを希望す（寫眞は委員長エクストランド氏）

沿岸航路の管理
拓務省に移管交涉

【東京二十四日發電】拓務省では外國に於ける沿岸航路就航船例へば日清汽船の宜昌、重慶線、上海漢口線、漢口、宜昌線、南方線等に對する航路、補助に關する事項が目下遞信省において掌理せられつゝあるも右は海外拓殖事業なるを以て拓務省所管となすべきであるとし近く移管に關する交涉を開始するはずであるが、それと共に更に現在遞信省の命令航路中內地と各植民地又は拓殖事業と密接なる關係を有する地方を連絡するもの例へば南米航路東岸線（大阪商船）大連線（同）日本海航路樺太線、朝鮮西岸線（朝鮮郵船）等は拓殖省側と密接な關係があるので該事項については豫じめ遞信省から拓務省に合議するやう交涉することゝなつた

仙石總裁の日程變更
卅日夜大連着

歸任の途にある仙石滿鐵總裁は二十四日八幡製鐵所を視察中であるが二十四日京城以後の日程を左の如く變更した旨滿鐵本社に入電があつた

△二十四日 八幡製鐵所視察同日午後六時三十分下關發
△二十五日 午前十時三十分釜山上陸同夜東萊溫泉一泊
△二十六日 釜山發、同日京城着
△二十七日 京城滯在
△二十八日 京城發、同日午後九時二十五分安東着一泊
△二十九日 安東滯在、同夜五龍背溫泉一泊
△三十日 五龍背發、同日二十時三十分大連歸着

滿洲商工業發展の二大重要方策審議
近く招集の關東廳經濟調査會
けふ新任職員を發表

第五回關東廳經濟調査會は左記の通り四月一日午前九時三十分より同廳會議室において開會に決定、神田會長は二十四日各委員に對し會議招集の通知を發した、而して今期會議の附議事項は既報の如き今般太田長官より諮問されたる左記二重要案件にして、會議の結果如何は直に現在乃至將來の滿洲商工界に多大の影響をもたらすべく一面又第一號案に關しては當然目下問題となれる滿鐵消費組合問題又第二號案に關しては昭和製鋼所問題等その審議を見る筈で今回の會議は相當緊張するであらうと思はるゝが、これより先き同會ではその機構に鑑みて左記の如く委員及び臨時委員を增員し從來の名士或は官吏主義を脫して實際商工業關係者或は學識者に選任して大いに實質的に會の內容を改善した

諮問事項

第一號 滿洲に於ける中小商工業振興に關する方策如何
滿洲に於ける各種事業は最近種々なる財界の變動に遭遇し極度の不況に沈淪せり就中中小商工業に在りては一層之が深刻化せるものある實相に鑑み此際之が振興を圖る爲適切なる方策を講究するの要ありと認む而して本件に付ては詳に現在中小商工業經營の缺陷を檢覈して改善の策を審議し更に之が振興に關する根本的方策の樹立に關し諮詢せむとするものなり

第二號 滿洲に於て特に發達せしむべき重要工業の種類並之が助成の方策如何
輓近滿蒙資源の開發は甚だ顯著なるものありと雖仍ほ充分ならざるものあり依つて其の資源開發利用に關する重要なる工業の種類を討究し且之が樹立發達の爲官民に於て採るべき助成方法に付諮議せむとするものなり

經濟調査會職員
△會長 神田純一
△副會長 西山左內 小日山直登
△委員 井上禧之助（新）田中喜介、山崎平吉、今井俊彥、津久井誠一郎（補新）高田友吉、永田善三郎、村井啓太郎、古澤丈作、佐藤至誠、宮田仁吉、小田信治（補新）高崎弓彥、寺田虎次郎、安田柾、武安福男、西山勉、高橋勇、宇佐美寬爾（新）田村羊三（新）櫃太親吉（新）庵谷忱（新）加藤明（新）加賀植二（新）荒川六平（新）山中繁雄（新）張本政、龐志順、劉仙洲、野田清一郎（新）長谷川熊彥（新）船田要之助（新）世良正一（新）佐藤正典（新）井上輝夫、角野久造、橫田多喜助、藤田臣直、石川鐵雄、佐田弘治郎、武部治右衛門、槐當藏、神成季吉（新）向井龍造（新）勝弘貞次郎（新）上島慶篤（新）今津十郎（新）美川多三郎（新）天滿善次郎（新）福田熊治郎（新）今中良（新）日下長太、安藤朋道、源田松三

滿鐵社員會幹事
廿四日開票の結果

滿鐵社員會で先般行つた評議員選擧當選者の互選による第二次幹事選擧は廿三日午後締切り廿四日午前中に開票を終つたが各部、箇所より二名宛選出せる二十名の幹事當選者左の如し

△總裁室 松尾盛男、中山晴夫 △庶務部 島一郎、篠原吉郎 △鐵道部 岡田虎二郎、佐藤達三 △地方部 神守源一郎、河村牧男 △興業部 中根信愛、岩下敬次 △經理部 富永能雄、廣崎浩一 △東京支社 平山敬三、橋本戊子郎 △撫順 渡邊寬一、廣吉辰雄 △鞍山 石原金次、石橋米一 △哈事 石原重高、軍司義男 △消組 今井巳代吉、齋藤茂

用度事務所分掌

滿鐵用度事務所では今回事務分掌規定を變更し左記十三係をおき廿五日より實施する筈

庶務、第一調度、第二同、第三同、第四同、第五同、審査、調査、計算、檢收、整理、發送、

印度不服從運動 重大化せん
漸やく深刻味を加ふ

【ボンベイ二十二日發電】インドの不服從運動はその後頗る深刻味を加へたが全土に亘る不服從運動が開始されゝば何時迄も無抵抗主義に執着しない事とならう、或方面では今度の運動は堂々たる叛亂の性質を有するに至るだらうとの意見である、全土に亘る不服從運動はガンジー氏が鹽專賣法を無視し製鹽を開始するか又はガンジー氏が逮捕せらるゝや直ちに開始されることになつてゐる、ガンジー氏は四月五日ダンヂー、サラート地方に赴くことゝなつて居りその後鹽專賣法を破ることになつてゐる、尙ガンジー氏の股肱ネール氏も亦明かに新運動遂行の爲めには不服從主義に拘束されないだらうと述べてゐる

人事

▲坂本満氏（沙河口署員）東京警察講習所入所のため二十五日出帆の香港丸にて上京
▲池田敬一氏（小崗子署員）同上

北大戰跡見學團

東北帝大滿鮮北支戰跡見學團廿一名は來る廿七日下關發、釜山、龍山、平壤を經て卅日安東着、奉天、撫順、長春、哈爾賓を見學し北平天津へ赴き四月十二日大連着、旅大を見學の上十五日うらる丸にて內地へ歸る豫定

廣島高師生天津へ

廣島文理科大學附屬廣島高等師範學校生徒一行十名は同校教官竹村直臣中佐及び浦廉一教授に引率され廿四日午前十時出帆の天潮丸にて天津へ赴いた

卒業式

大連沙河口小學校では二十五日午前十時から第十九回卒業證書授與式を、また朝日校では同十時半から第十二回卒業式を擧行

大觀小觀

聖駕本日復興の帝都を御巡幸。輝かしき哉。
◇
殿樣連が失業問題で政府を難詰するとやら。成程殿樣にも失業者が殖えて來た。
◇
軍縮會議も少しは收穫があるらしい。
◇
無抵抗主義で獨立が出來たら崩豆に花、果然雲行が變りさう。
◇
戰ひは勝と見ていよいよ露支會議。
◇
支那が自分で初めて軍艦を造つた。えらいぞ。
◇
謹しんでデンマーク皇儲殿下御歸途の御安泰を祈る。

天氣豫報

廿五日（南西の風）曇勝雨模樣後天氣良くなる

各地の溫度

	十一時	昨日最低
大連	一一、二	五、〇
旅順	一一、八	五、〇
奉天	一六、〇	三、八
營口	一五、八	三、〇
長春	一四、三	二、〇

復興の大業成り けふ親しく御巡幸

市民の雄々しき努力報いられ 春光に輝く大東京

【東京廿四日發電】聖上陛下には帝都が大正十二年未曾有の大震災の厄に遭つて以來、焦土に雄々しい復興を續けて來た東京市民努力の跡、復興完成の樣を具さに御巡覽あらせらるべく二十四日親くその街衢に玉歩を運ばせられた、大江戸三百年の文化と明治、大正六十年の建設を一朝にして灰燼に歸せしめ、そして八萬四千の死傷者を出し卅七億の富を破壞せしめた災厄の中から奮ひ起つた市民が以來七億圓の巨費と六年半の永い日子を費した努力は遂に報いられて、今日輝く巡幸の榮を賜ふたのである、攝政殿下として焦土の慘狀を御覽遊ばされた陛下けふの御感慨、また殊の外と拜され市民もこの光榮の日を永く記念するであらう、復興完成して記念するであらう、復興完成して光輝ある甦生を迎へた大東京……希望と歡喜と光榮との錯綜したこの日二十四日は朝來快晴潑剌たる春の姿である、陛下御巡幸あらせらるゝ事とて御巡路は素より市の內外は日章旗を掲揚し撒の提灯を軒々に吊るし、表現派、分離派、ライト式、ロマネスクさては正統派、反動派等各樣の設計に成る洋館、日本建に復興した街上は華やかに極彩色せられて未だ見ぬ和やかな姿だ、未明から御巡幸沿道兩側には早くも龍顏奉拜の市民や小市民が堵をなし陛下の御巡幸を迎へ奉つた

略式自動車鹵簿にお召 卅哩餘の御里程を御機嫌麗しく みそなはせ給ふ

この日聖上陛下には陸軍樣式大元帥の通常御禮裝を召され大勳位章を御佩用の颯爽たる御風姿にて鈴木侍從長陪乘、略式自動車鹵簿で午前九時四十分、宮城御出門、一木宮相、奈良侍從武官長其他侍從侍醫、武官、行幸主務官等三臺の自動車で供奉、列外には安達內相中川復興局長官、手塚府知事、堀切市長その他關係官數臺の自動車にて扈從申し上げた

鹵簿は 先づ馬場先門から日比谷公園前通りを當時の燒失區域なる櫻田本鄉町に進み、芝御成門宇田川町より大東京が誇りとする復興第一幹線を芝口に出づ、市民歡喜して光榮に面を輝かして奉送迎する中を更に銀座の東側新通路から三原橋へと進んだが三原橋際にて「黎明の東京」「花咲爺」「光輝」「復活」等七臺の華やかな花電車が叡覽に供せられてゐるのが御目をひいた、白魚橋、下槇町、江戸橋を過ぎさせられ坦々と展べられたアスファルトの鋪道を平永、佐柄木、神保の各町を通御六哩餘を

九段坂 に向はせられ近衛步兵第一聯隊田安門に入御あらせられ牛ケ淵の營庭より神田本鄉方面の復興狀況を始めて御展望遊ばされた陛下はいつまでも双眼鏡を放させ給はず安達內相、中川長官、手塚知事、堀切市長等交々御說明申し上げた、そこには當時の戒嚴司令官福田雅太郎大將が特に召されて拜謁仰付られたが、陛下には親く同大將に對し當時の模樣を種々御下問あらせられたと承る、斯くて約十五分間

御眺望 の後、更に水道橋を通御午前十一時府立工藝學校に着御あらせられた、同校は東京府の代表的復興建築で陛下には便殿に入御、直ちに手塚知事より復興事業の奏上を御聽取あらせられ次で震災の最中に生れた地震內閣の首班山本權兵衞伯を始め平沼・井上、岡野等當時の閣僚及び復興關係者一同に列立拜謁を賜つた、府執行復興事業資料及平常の儘なる校內をいと御熱心に御覽の後再び鹵簿を整へさせられ壹岐殿坂、末廣町、湯島天神町から風致全く回復した不忍池畔を通御

陛下が 大震災直後一面燒野ケ原と化した下町一帶を御展望遊ばされた御記憶の上野公園西鄉銅像前に御到着あらせられた、永田元市長、湯淺元警視總監、宇佐美元知事、森元近衛師團長等當時の人々に一々賜謁あり終つて見事にも雄々しき下谷、淺草、本鄉方面の復興振りを御感深げに御眺望あらせられた、かくて陛下には復興事業中魁して架設された言問橋に蒞らせらると自動車を降りさせて

御徒步 にて渡御、折柄日本漕艇協會二十餘隻のボートは一齊にオールを揃へて奉迎の後吾妻橋を言問橋に向ふや、陛下には御鹵簿を約五分間橋上に止めさせられ都下各大學の若人の一段と洗練された妙技を御覽あらせられ隅田公園に着御、園順公夫妻に賜謁の後、今回建立の臨幸記念碑前にたゝづませられた「花くはし櫻もあれどこのやどの世々にこゝろを我はとひけり」の碑面の御製は畏くも明治八年四月明治大帝が先々代昭武公邸に行幸のみぎり咲きはこる庭內の櫻のさまを御詠、公爵に賜はつたもので由緒あり今回の

臨幸と あはせて因緣深いものだ、それより元被服廠跡なる橫網町の震災記念堂に御立寄遊ばされた、こゝこそ數萬の市民最後の地である、いと御感深く御追懷の御有樣拜すだに畏き限りであつた、それより更に自動車鹵簿は藏前橋より淺草橋、松村町、矢の倉町を御巡幸遊ばされつゝ正午近く千代田小學校に御到着遊ばされた中川長官、堀切市長よりそれ〴〵國と市關係復興事業奏上を聽こし召され市關係議員に賜謁――

御晝餐 を濟られた後屋上に出御、本所、深川、淺草、下谷日本橋方面の復興市街を御展望、陳列の國、市執行の復興事業關係資料を御覽次で築地河岸なる市立築地病院に行幸あらせられた、陛下には御着後直ちに便殿にて復興衞生施設及び社會事業關係の資料を御覽、屋上にては芝浦の築港をはじめ芝方面の復興狀況を御展望院內ではレントゲン室、手術室、各診察室など前院長小川中將が海外より得たる

新知識 を注いで施したる設備を約二十分に亘り詳細御覽遊ばされ午後二時同病院御出門、四時間の御巡幸と三十哩餘の御里程を恙なく終へさせられて市民奉送裡を同二時十五分御機嫌麗しく宮城に還幸遊ばされた

寫眞說明

けふ畏くも復興帝都を巡幸あらせられた聖上陛下、下は行幸を辱うした復興記念堂

學び舍を出る 喜びに滿つ

けふ市內各小學校公學堂で 卒業證書授與式を

市內各小學校、公學堂の卒業式は二十四、五、六日の三日間にわたつて行はれるが、伏見臺、春日、松林、南山麓、大正、聖德の各小學校及び沙河口、西崗子兩公學堂西崗子商業學堂の各校卒業式は廿四日午前十時半よりそれ〴〵行はれた、

螢の光 の歌に送られて六年間の學び舍を出る少年、少女等の嬉々とした顏、子供の卒業證書を見ながら晴れやかな親達の面持ちに陽炎立つ春日にのんびりした空氣を漂はしたが、同時に行はれた修業式に各一年、級の上つた子供等も證書を貰つて喜び勇んで今日から一週間の春休みを樂しみながら校門を出て行つた、殘部の各校は二十五日午前十時半より、また二十六日より擧行されるが、本年度における大連民政署管內の十四小學校の

卒業生 は尋常科千四百三十九名、高等科二百六十名及び四公學堂普通科五百六十二名、高等科三百四十九名である

帆の天潮丸で天津へ赴いた

松林見學團 京都を見物

【京都二十四日發電】松林小學校母國見學旅行團一行は二十三日は東山一帶に亘る名所舊蹟を訪ね春光麗かな舊都を心ゆくまで見學、各時代の歷史の說明を聞き得る處多く午後四時半一同無事宿所錢太旅館に歸つた

投石機關手 判明收容さる

去る十九日午前十時半ごろ金福線登沙河驛上で驀進して來た列車の通過を待つため線路外にあつた石曹屯五三番地居住徑支亭（六〇）の頭部に列車の機關室より石炭を投げつけ致死せしめた事件は、高井檢察官現場檢證の結果加害者の探査を行つたところ、第五〇一號列車機關車乘込員大浦機關區木村四郎（二〇）の行爲と判明、廿三日傷害致死罪で嶺前屯洲務所に收容された

濃霧に阻まれ 衝突・坐洲

奉天丸救助に急航す

ガス、ガス、乳白色の濃霧がこの二三日來きまつた樣に大連の港の上に覆ひかぶさつてゐる、そしてそのガスが昨日から今朝にかけて幾つかの事件を生みだした、その一つは廿三日午後十一時半ごろ小喜多氏所有高松丸（四百三十二噸船長西原市太郎）が龍口より百廿六名の乘客を積み來連の途、濃霧のために

難航を 續けてゐたが、黄白嘴西南十哩の地點で帽島と覺しき島に衝突し左舷船首を吃水より五尺位上方に若干の損害を被つたが、そのまゝ船體は航行をつゞけ今朝三時廿分大連入港、また廿三日午後八時當地無電局の入報によると國際汽船漢口丸に西口角南一浬の地點で同じくガスのため進路を誤り帽蓋島と覺しき島の南西に坐洲し頻りに救助を求めてゐたがその

被害の 程度は強力なる曳船により離洲の見込がつくから至急曳船を派遣されたしとあつたので、大連埠頭よりは滿鐵曳船奉天丸を即時出港せしめんとして手配を進めたが何分濃霧のためやむなく奉天丸は今朝六時現場に急航、目下引揚作業中であると

訓導の異動 愈よあす發表

今回は罷免や任命はないが 頗る廣汎にわたる

大連民政署管內小學校教員の異動に就いては民政署學務係に於て慎重審議中であつたが、適材適所主義で大體の成案も得たのでいよ〳〵二十五日發表されることになつた、今回の異動は管內各小學校、公學堂に波及し校長、堂長始め頗る廣汎にわたるものでその轉出配置は頗る注目されてゐるが、何れも異動のみで女教員十名の罷免を始め新教員の任命その他の任免は學期始めに行はれる模樣である

神明高女團 けさ下關上陸

【下關廿四日發電】神明高女旅行團一行は朝鮮經由今朝七時下關に到着、團員一同憧れの母國の土を踏んだが、一行元氣益旺盛宮島に向つた

大連第二中學 北支那見學團 けさ出發す

大連第二中學校生徒一行百二十四名は平津方面見學のため長瀨藤次郎ほか三教諭に引率され廿四日出

青聯講演延期

山城町青年聯盟本部に於て今廿四日午後五時より開催の筈だつた藤山一夫氏の講演は同氏病氣のため延期

キネマ座談會

本社主催

觀客訓練のため 非常口の利用

平素閉場の時にも開くとよい 映畫館の防火設備（二）

工藤　非常口は大てい赤色電燈で表示するやうになつてゐますが全部さうなつてゐますか

原田　なつてゐます

工藤　換氣についてはどうなつてゐますか

原田　出來るだけ完全にするやうに注意はしてゐるのですが、まだ〳〵完全とまでは言へません今日は幸ひ各館の主腦者の方がお集まりですから是非規定通りに換氣裝置を完全にするやう御勵行願ひたいものです、私はフイルムについての知識を持ちませんが、フイルムの燃燒防止方法としてはサックのやうなものでフイルムを覆ふやうにしたらどんなものでせう

芥川　お話の樣なものは出來てゐます、つまりフイルムマガジーンの完全なものです

原田　應急の處置をするにしてもそんなものがあれば大變結構ですね

今井　卷取室と映寫室とを別にした方がよいでせうね、上海などではすべて別になつて居ります

芥川　折角非常口があるのだから解散の時に非常口から出るやうな習慣にすれば混雜を避けることも出來又さういふ訓練が平素から出來て居れば、いざといふ時にも容易に場外に逃げ出すことが出來るでせう、ある汽船ではライフボートの設備がありながら危難に遭つた場合さつぱり役立たなかつたといふ例もあり又ある建築ではホースの設備がありながら非常時に水が出なかつたといふやうな話もありますから、やはり平素から訓練して置くことが肝要で、之も非常時に處する一方法であらうと思ひます

原田　どこと場所は言へませんがある病院でホースをしらべて見たらすつかり腐つてゐたといふ實例もありますからね……解散の時に非常口から觀客を出すことは前に浪速館でやつて居たが暗いところで盛んにホースを擲へるのでどうも不潔でいけないといふやうな聲を聞いたことがありました

芥川　夏などは非常口をあけることは換氣の上から見ても大いによいことです

眞殿　解散の時に非常口を開けるといふことは理想としてはまことに結構なことですが、自動車や車などの待つて居るのは表口で非常口は大てい裏口にあるためどうしても觀客は表口の方に出やうとしますから、非常口から出すといふことは實行が困難ではないでせうか

芥川　非常口からすぐ表通りに出られるやうになつてゐると便利なんだがナ

小泉　人間の心理は入つて來た方に出る傾向を持つてゐますからいざといふ場合にはたとへ非常口があつても、やはり入口の方に殺到することになりはしませんか

工藤　だから芥川さんのいふやうに平素から訓練をして置くことが必要でせう

能登　協和會館では常に係員が非常口のところに居るから便利です、いざといふ場合にそれらの係員が出口に立つて「こちらにおいでなさい」と觀衆を導くやうにすれば更によいでせうね、何しろ全體が場外に出てしまふのは僅か二分か三分であるが、火が見えると驚怖するのがよくない、そんな場合には係員がステージに驅上つて相當の指揮をするやうにしたいものです。機械も高級のものは防火の裝置が出來てゐるからなるだけよいものを使用するやうにしたい、技師の訓練を平素からして置くことはもとより必要です、又係員が先づ落ちつくことが大切ですあとは館そのものゝ設備如何です

時日　廿二日午後六時
場所　滿鐵社員倶樂部
出席者（順序不同）

役職	氏名
大連署保安係主任	原田貞一
映畫檢閱官	內田愛吉
消防署長	今井民造
大連二中校長	丸山英一
朝日小學校長	櫻井勤四郎
滿鐵社會課	能登博
滿鐵社會課	花井隆一
滿鐵情報課	芥川光藏
滿鐵社員倶樂部	眞殿星麿
帝國館主	南信二
大日活館主	長次郎吉
常盤座主	小泉友男
演藝館主	小田孝澄
寶館代表者	姬路紘二郎
滿洲日報記者	靑山捨夫
同	長谷部貫一
同	工藤與吉

艶色生膽祕譚 (64)

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

異人館(五)

ヴランギーラに重ねて訊かれた蘭川の行方、それこそ二人が神奈川宿まで、態々出向いて來た用件ではなかつたか？

「その蘭川の行方を訊ねてまゐつたのでござる」

から云ひ放つと左近は油斷なくヴランギーラの態度に眼をつけた。

「私知りません。私不思議に思つてゐました。御承知の取引、この處一向にありません。私も當惑してゐました」

その言葉には僞りがなかつた。

で、左近は三藏が蘭川屋敷へ赴く途中、懷中物を掠めとられた事件を述べたてた。

と、ヴランギーラもぎよつとしたらしかつたが、それも女賊お仙の仕業であること、やがてお仙が蘭川屋敷へ乘りこんで以來、二人伴れ立つて旅に出たまでを、臆測まじへて語り終つた時ホツとしたらしく唇を開いた。

「さうですか、では案ずることもないでせう。旅なら戻つて來ませう。併し血卍組ではその後收穫ありましたか？」

ヴランギーラは平然と商談を始めた。

「へい、何アにたいしたことも御座んせんが」

三藏は用意の一物を卓上に擱げ

「よろしい、量目を計つてさしあげませう」

卓の側へ手を伸ばすと、忽ち奧の方で鈴の音が鳴りわたつた。

と、先刻の女がツと入つて來て心得顏に卓上の一物をとつて去る。

左近は卓上の不思議な飲物や菓卷に魂をうばはれた如く見入つてゐたが、やおら膝を進めると要件に入つた。

「ヴランギーラ殿、たつてのお願ひでござる。煙硝火藥の御取次願へまいか、序にと申しては恐れいるが銃砲もな」

「ほう、血卍組の御申し出ですか？」

「火藥はそれがし必要でござるが銃砲はさる屋敷方よりの願ひでござる」

「佛人フヒゲ氏が小栗上野介殿にチヤツポ銃五千打の商談を進めつゝありますが」

「や、それは幕府方へでござらうそれがし仲介に立ち申すは……」

ここで左近ヒヨイと唇をつぐんだ。

と云ふのは、うかつに薩摩屋敷の名を出すことが考へられたからである。

「あ、仰有らなくとも解つて居ります。その屋敷は薩摩でございませう？」

左近は眼を見張つた。

「この異人奴、何もかも心得てゐる。薄氣味のわるい男だな」

さう思ふと、あまり長座も出來なかつた。

「お祭しに任せませう。で、如何でござらう、御返事は？」

「さやう。商談取引はおうけしてもよろしいが、先づ金額なり銃砲數、乃至は火藥の斤量等具體的に承らねばなりませぬな」

「いかにも」

そこで左近、かるく眼を瞑つて暗算をはじめた。

途端に、女が慌たゞしく部屋に入つて來た。

「何です、何事です」

ヴランギーラの問ひには答へず女は、いきなり左近と三藏とによびかけた。

「はやくお逃げ下さい、裏口が開けてあります、役人衆の宿調べがはじまりました」

「え？」

左近は腑におちなかつた。

と、ヴランギーラは椅子から宙腰になつて言葉を添へる。

「今日に限つたことではございません。併し、時折の宿調べですが見慣れぬ人、殊にお武家は禁物です、さ早くお立退き下さいまし」

裏口であらう。奧の方を指し乍らせきたてるのであつた。

左近はつきだされた已が帶刀を腰にたばさむや、三藏うながして

「御免！」

挨拶もそこ／＼に部屋をとびだした。

新劇團の惱み (三)

實際と經驗から割り出して

五斗計器

之は素人女優に多いが女優とメンバーの戀愛問題。之が又相當に考慮されねばならぬ問題だ、二人は稽古を早く切り上げて散歩したがる癖れて來る。勿論他の仕事は疎略にしない、他のメンバーは嫉き初める、厭な空氣が醸つたらもうお終ひで芝居は出來ない。確か仲木貞一先生から聞いたと思ふ、「劇團の親方は稀代の人格者であると同時に一面稀代の色魔でなければならない。淨正を見ると一番いゝ、どの女優も自分の身體の二寸位近くに引き付けて操るのだ親方のする事なら座員は嫉く樣な事がなく從つて不和を醸さない」と云ふのである、成程とうなづかれる事である。

次は役不足の問題である、劇團創立當初は演出者の役の振り當に默從して文句がない、それが二三回上演後となると誰もがいゝ役を望むお天狗になり切つて出るなら出榮えのある受けそうな役を取りたがる、甚だしいのになると全然役所でない豚の樣な太ツチヨが二枚目を望んだり老人役なら出ないと駄々をこねたり一度位主役をやらせてもいゝとか五月蠅い限りである。而しこの振り當難合は主宰者が充分承知してゐて善處しなければならない事だ。

新劇團には兎角理窟屋が多い理論は新劇團に取つて重要だ、然し議論倒れになつては仕方がない。脚本の新古善惡人物の性格如何、新劇團の使命方向、態度演出方法思想、アクテイング、上演方法、役員、ポスター、切符の圖案、等々々々皆議論の材料となる樣だ。事實理窟や議論じや芝居は出來ない、若し出來るとしたら辯護士なんか名優だ、だから寧ろ理窟拔きにした方がいゝ。歌舞伎や新派の連中の芝居が可成りよく纒まつて行くのはあの絶對的な階級制度。殆ど軍隊の樣な服從の爲だと云ふ事が出來ると思ふ。

中村吉藏先生が云つて居た「演劇にはヴアツカスの香りが高いが之は避けねばならぬ事だ」と全くその通りだ。「芝居をする」と云ふと直ちにそれが酒と女が付き物の樣な淫蕩的な響きがする。觀客の立場にある者も又心得違ひのメンバー夫自身がそう思つて居る不屆者がある。之は歌舞伎俳優連中の傳統的精神及び行動が爲した大害毒である。誤解である。新劇はそんな生やさしい腐つたものではなく本當の藝術に生きる人達の精進でなければならない。其處で新劇團員たるもの常に眞面目で氣取らず決してヴアツカスの香りを追つて周圍の誤解を招く樣ではならない。私の東京時代のメンバーに芝居を終ると必ず玉の井邊へしけ込んで遊ぶ人があつた結局私は團體の威嚴の爲めに辭めて貰ふより外仕方がなかつた事を記憶して居る。

漏電から燃に移る

入口では感電　吉林事件

【長春】去る十八日夜發火して多數の死者を出した吉林永吉電影園の火災原因及び被害程度に關して調査せられた所に依れば永吉電影園は二月一日に創設されたもので財政廳東側市場の北半部を借り入れ使用し居たるもので元來活動寫眞館として建られたものでなかつたから建物に非常設備が無かつた爲めにこの慘事を惹き起したもので最初漏電したのを技師の手落ちから火は遂にフヰルムに燃え移り忽ち燃え廣がつたので電線の全部が發火した、當夜の觀衆は普通入場者約二百名に軍人に子供等の無料入場者が多かつた、觀衆中二三十名は先を爭つて屋外に逃げ出したがその他のものが逃げ出さんとした時は入口の上部の電線が燒け落ち先づ若干名が感電して倒れ後から後からと詰め掛けたものはこと／＼く感電し遂に入口は塞がれ内部は阿鼻叫喚の巷と化したものである

喋話

本社主催の映畫座談會で映畫技師の問題が大分喧しくなつたといふので▲有志の人達が近く會合して映畫界をづり廻してやらうと物凄い意氣込みを示してゐる▲帝國館の遠藤松竹事務員は今回岐阜へ轉勤することゝなり明日の香港丸で出發▲後任には豐橋から中野隆成氏が昨日香港丸で來連▲この頃映畫人が寄ると觸るとライターの自慢話に花が咲く▲餘り五月蠅いので今井消防署長「失火の虞があるから全部沒收しやうかなア」▲關屋敏子の獨唱會からリリツク・コロラチユラ・ソプラノとひと口で流暢に發音出來るのが尖端人だとは飛んだモダン振りである

ラヂオ

大連 JQAK

三月廿五日午後五時五十分

▲支那語講座(第四十二課) 滿鐵學務課 秩父固太郎

▲午後六時二十三分(內地中繼)

▲講演(産兒制限論理學博士) 暉峻義等

▲雅樂(蘭陵王) 林信嚴、篳篥福田八郎、笙飯田壽吉、太皷福田勇、笙皷芳村房太郎

▲三曲(梱枕) 箏青木敏夫、三絃藤井折惠、尺八紙谷白山

▲地方俚謠(一)月の輪神事囃子 松本庄三、外六名(二)田樂 多田軍次郎、外七名(三)伊豫萬歳「豐年踊」友近湛、外三名(四)よさこい節 唄松本長江、唄、三味線佐竹政吉(五)御船謠 馬場彦一、外七名(六)ドツサリ節 唄吉田勝代、三味線吉田菊太、太皷吉田小太郎(七)關の五本松 安來節 大野あさの、外四名 以下大連放送局より

▲料理獻立

▲天氣豫報

滿洲日報

改造

四月特輯 此偉容を見よ (特價壹円)

改造社 東京市芝區愛宕下町 振替東京八四〇二三番

選擧鬪争初陣記 …… 河上肇

■レコード市場争奪戰 …… 星野辰男

■スペイン・ポルトガル (鬪牛と美人と宗教のイベリヤ半島! 好漢木村氏の陶酔的旅行記) …… 木村毅

■ハウプトマンの『熱情の書』 …… 成瀬無極

大學工場から社會工場へ …… 青野季吉

司法官論 …… 田中耕太郎

(疑獄事件、選擧違反等で今や單なる司法官も、不過で悩多い階級的立場にある)

辯證法と現象學 …… 山内得立

臨時議會を前に

松谷與二郎・片山哲・淺原健三

無産黨の戰績を顧みて …… 山川均

麻雀を語る …… 南部修太郎

總選擧批判 …… 馬場恒吾

完全なる夫婦 …… 丸木砂土

耽羅漫筆 …… 安倍能成

小説 昭和初年のインテリ作家 …… 廣津和郎

戲曲 蒼ざめた大統領 …… 金子洋文

小説 熊 …… 室生犀星

小説 卍(まんじ) …… 谷崎潤一郎

小説 ブルジョア(當選) …… 芹澤光治良

小説 一人の女 …… 片岡鐵兵

小説 ダイヤとおたよ …… 徳田秋聲

小説 身の末 …… 久保田万太郎

戲曲 大阪城 …… 吉田絃二郎

小説 工場細胞 …… 小林多喜二

新版淺草案内記 …… 川端康成

心靈現象の奇術性 …… 阿部徳藏

日本に跳躍する米國資本 …… 鈴木茂三郎

神戸元町風景 …… 宇野千代

銀座心齋橋街頭經濟學 …… 小汀利得・下田將美

摩天樓の話 …… 葛岡常治

懸賞創作當選發表

指導者としての科學 …… 石井重美

無産政黨合同問題の進展

加藤勘十・宮崎龍介・龜井貫一郎・堺利彦・細迫兼光

植民地國民運動と英帝國の將來 …… 矢内原忠雄

ドレフュス事件 …… 大佛次郎

經濟不安と其克服

金解禁後の我財界不況 …… 杉山幹

舊平價金解禁政策に矛盾する蠶絲業救濟と其影響 …… 石橋湛山

中小商工業の苦境と其打開策 …… 前田繁一

不當所得の擁護と産業合理化 …… 高橋龜吉

■政・民の新陣容と政局の將來 …… 阿部眞之助

■(印度小説)まじなひ …… サバルワル

帝都復興問答 …… 鈴木文史朗

■春まづ六大學の野球を語る …… 春日俊吉

■春の味覺 前田夕暮 歌と詩 吉井勇・北川冬彦・近藤東 新刊批評

■ソウエートのラヂオ …… 明野啓三

■新興演劇の左翼的傾向 …… 高田保

經濟受難と濱口内閣の責任 …… 卷頭言

黒松白鹿 酒界ノ權威 灘辰馬本家釀 大辰馬商會連

西南學院 生徒・學生募集

◎中學部 ▲人物考査、身體檢査の外學科考査なし ▲第一學年約百廿名 ▲願書締切四月七日 人物考査、身體檢査四月八日 ▲卒業後高等學部に連絡あり

◎高等學部 ▲英文學科約四十名 ▲高等商業科約四十名 ▲願書締切四月五日 入學試驗四月六日 ▲特典其他詳細規則書郵券貳錢を要す

福岡市西新町 電三七

先進社 大衆文庫

豫約ニ非ズ

五三〇頁で七十戔 從來の二円三円の内容

大佛先生(かげろふ噺の著者) 吉川先生(女來也の著者)

皆さん 皆さん
本屋の前で
チラ〳〵するのは
何じやいな
あれは先進社
大衆文庫じやないかいな
トコトン、ヤレトンヤレハ

三上先生(淸川八郎の著者) 佐々木先生(双影走馬燈の著者)

大衆文壇の總帥みな出陣!!

その名も大衆文庫なれば、家庭に學校に、會社銀行御役所から、汽車でも電車でも、大臣から女給さんまで、皆さん讀んで下さい。

新作と名作揃ひ!! 日本一の大作家の方々が心血を絞った傑作ばかりですから、芝居や活動より、もっともっと面白く、この大衆文庫があれば一生涯退屈しません。

先進社でなくて誰れに出來る!! 五三〇頁で七十錢ですから日本一安い本です。そして錦絵ばりの目のさめるやうな奇麗な本です。然も内容の豊富、形の輕快さ。實際買はない人は馬鹿を見ますよ。

目下發賣中

(1) 大佛次郎 かげろふ噺
(2) 吉川英治 女來也
(3) 三上於菟吉 淸川八郎
(4) 佐々木味津三 双影走馬燈

近刊及約束濟み

(5) 大佛次郎 地雷火組
(6) 行友李風 獄門首土經
(7) 江戸川亂歩 明智小五郎
(8) 甲賀三郎 神木の窟洞
(9) 國枝史郎 生死卍巴
(10) 吉川英治 春秋隠れ笠
(11) 林不忘 巷説享保圖繪
(12) 佐々木味津三 風雲天満草紙
(13) 長谷川伸 人斬伊太郎
(14) 直木三十五 相馬大作
(15) 行友李風 白粉物語
(16) 岡本綺堂 半七捕物帳
(17) 國枝史郎 神州纐纈城

毎月續々刊行 五〇〇頁七十錢 百頁につき十錢増

東京市本郷區駒込上富士前町 振替東京六五一八 電話小石川 二〇四四・二二四四

先進社

婦人畫報

四月特大號 昭和花形令嬢號

大附録 一九三〇年令嬢鑑

青春を讃美せよ! 麗人を禮讃せよ! 本誌はこゝに昭和日本の花と咲く花形令嬢二百余名の寫眞を蒐め、更にその略歴、趣味等を紹介し別刷の大附録として本號に添付しました。

新探偵長篇 黄昏の怪人 …… 大下宇陀兒

◇江木欣々女史自殺の眞相

◇家庭に反逆した女性列傳

◇異國の人を夫に持つ女性

令嬢・大學生座談會

處女より男性への抗議

●當世看板娘評判記

●令嬢界珍風景

●問題の令嬢今昔譚

令嬢寫眞六百数十葉

本號に限り定價一圓 送料二錢 各書店にあり

東京麹町 振替東京四九〇〇 東京社

高藪良二先生著

實用鐵筋コンクリート家屋構造

菊判四百頁上製本函入 挿入圖百數十個入 定價金貳圓八拾錢 送料拾貳錢

本書は鐵筋コンクリート家屋構造の一般知識を平易に説明し、尚ほ多數の計算大圖表を掲げて理解に便ならしめた絶好の良參考書である。

最新刊

高藪良二先生著(新刊) 建築工事實費見積

佐藤巳之吉先生著(新刊) 明るい理想の小住宅設計圖

佐藤巳之吉先生著(五版) 最新和洋建築設計及製圖法

佐藤巳之吉先生著(八版) 良くわかる和洋規矩術(大工サンガネ使)

發兌 東京小石川區表町百九番地 電話小石川三八六三番 振替東京六六一〇四番

圖書目錄進呈

中央工學會

吉屋信子女史著作選集

▽▽女流作家中の第一人者として名實ともに嘖々たる著者が若き日のこれら傑出せる作の普及版がいよいよ發賣されました。

長篇 屋根裏の二處女 (十版) ¥1.30 送0.12

創作 返へらぬ日 (七版) ¥0.95 送0.10

短篇 美しき哀愁 (八版) ¥0.95 送0.10

發行所 東京小石川區江戸川町十八 振替口座東京四〇二七九番 交蘭社 電話小石川三一五一

社説

奉露協定の精神を復活せよ

露支の正式交渉、開くが如く開かざるが如く、有耶無耶裡に今日に至つた。最近、莫德惠代表は四月六日出發し、モスクワに赴くべしと傳へる。併し、莫代表が、果して眞に、モスクワに赴き、正式交渉に臨まんとするの意圖ありや、否や。また、支那の時局が如何なる變轉を來さぬとも限らず、明日のことは、すくなくとも支那に關しては、容易に語るを許さぬものがある、が併し、奉天側としては、露支會議に關する限りにおいては、必ずしも支那關內の政局に顧慮する必要なく、場合によつては、奉天側、獨自の打算に立脚し、對露關係を整理することが、最も急務であり、得策ではあるまいか。

◇

今日のロシヤとしては、すでに回復するだけのものは回復し、形式上のことなどは問題にしては居らぬのである。全く實利主義に立脚し、政治よりも經濟的に、對支政策を行はんとしつゝあることは露支の紛糾を惹起して以來の、急角度の方向轉換を認めることが出來やうと思ふ。この勞農ロシヤに對して、すくなくとも國際關係を有耶無耶にして置くといふことは結局、地元國たる支那側の不利となることは、明白なる事理であらうと思はれる。現に、勞農側が、正式會議を開催するのやら、またせぬのやら、全く不明の裡にあるにも拘らず、默々として顧みるところなきものの如きは、そこに何らか得るところがあるか、すくなくとも期するところがあるにあらずやとも察せられる。

◇

それは兎もかくとして、ロシヤにしても、また支那にしても、昨今のやうな事件を惹起するといふことは、決して賢明なることではないといふことは、充分、體驗せられたことゝ思ふ。果して然らば、ロシヤ側も、支那側も、双方、些の無理をやつてはならぬと思ふ。そこで結局、兩國は、北滿の經濟的開發といふことに協心戮力すべきであらうと思はれる。ロシヤが例の政治的野心として、北滿の赤化宣傳を立脚點として、それを支那に漸及せんとするが如きは、徒らに支那の反露態度を硬化せしむるのみである。須らく經濟的に北滿を開發し、その開發の結果たる餘澤に浴するの覺悟がなくてはならぬ。また支那側としても、徒らに抽象的の野望に驅られ、對外關係を、自國のみの一方的行動によつて解決し得るもの〻如くに考ふるは、暴もまた極まれりといはねばならぬ。眞實の事相に立脚せば、道理の存するところ、公正無私、宜しく正々堂々と、世界の輿論に訴へ、正當の手續を踏んで、國際關係を解決すべきである。何ぞ一方的の非常手段に訴ふるが如き暴を敢てする必要があらうか。

◇

要するに吾人の望むところは、必ずしも敢て遠き將來のことを云爲せんとするものではないが、とにかく當面の問題として、支那側はロシヤ側に對し、全權代表を派し、一日も早く、ハバロフスク假協約を、有耶無耶の裡に葬らず、正式會議を開催し、公正妥當なる國際關係を締結すべきではあるまいか。勿論、その交渉においては相當、根本的なる、また[illegible]なる事項にまで論究し、兩國[illegible]係を確立すると共に、すくなくとも東洋の和平を脅威せざるやう、最善の努力を望まざるを得ない。而して兩國は、經濟機關としての東支鐵道に對し、全能力を發揮せしめ、以て北滿の經濟的開發に努力すべきではあるまいか。これを要するに支那は、北滿の開發を眼目とすべく、ロシヤは支那の眼目たる北滿の開發に均霑すべく、條約上の權利を、正當に主張するより外なく、この兩國の國際關係は一日も早く、これをモスクワにおける正式會議によつて整理すべきものではあるまいか。かくて初めて、露支協定、奉露協定の精神は復活するといふものである。

愈よ露支正式會議は四月中旬露都で開催か

南京政府の權限擴張の命令で莫氏がメ氏に提議

【ハルビン特電二十三日發】幾度か正式會議開催を傳へられたる露支兩國の會議範圍に關する主張の相違から行惱みを生じ最近にはモスコー政府の莫全權局にはデッドロックに乘り上げたかに觀られてゐた露支正式會議は其後南京政府が莫全權に對し東鐵問題以外の廣汎な範圍に亘る商議の權限を附與する旨命令を發したので勞農側でも漸く莫氏の入露を承認する迄に態度を改めるに至つたもの〻如くで廿二日莫全權は南京の命令に基きハルビン勞農總領事メリニコフ氏を訪問し四月中旬モスコーに於て正式會議の開催方を希望すると共に、露支兩國協議に亘る露支兩國協議を行はんことを提議したるに對し、メリニコフ氏はモスコー政府に對して正式に通告回訓を仰いだ、斯くて永らく露支兩國間に低迷してゐた暗雲も漸く一掃されんとするに至つたが支那側の同會議に對する腹案はハバロフスク協定を基礎として東鐵問題を協議し、政治、外交、通商條約問題の協定は二ケ月後モスコーに於て又はハルビンに於て第二次正式會議を開催し愈々多年の懸案たる國交回復、通商條約問題を協議せんとするもので當地駐在各國外交界に於ては今回の露支關係の俄然好轉せんとするに對し非常なセンセーションを捲き起してゐる

た商人と僞名乘船してゐる南京政府代表呉鐵城氏の赴奉等から押して蔣介石氏と張學良氏との間には一脈の連絡がありはせぬかと見られ、閻兩氏の討蔣宣傳の流布されゝ今日呉氏赴奉は相當興味あるものとして觀測されてゐる

政府の回訓軟化は對內外的にも困難

政府部內の一部で唱へてゐる七割拋棄は不可能

【東京廿三日發電】若槻全權に對する回訓內容につき政府部內一部にては外交技術的立場より七割主張を拋棄して去る十三日アメリカの提示せる案に折り合ふべしとの軟論を唱ふるものが現はれたが、元來八吋巡洋艦絕對七割、潛水艦現有勢力保持の二大原則を含む補助艦總括七割主張は既に一度閣議の決定を經、更に上奏の手續を執つた上全權に對する訓令に明記したものであるのみならず若槻全權は渡英の途次屢次之れを聲明し去る二月十七日の日英米三國主席全權會議に於ても飽くまで强硬に主張してゐるので今之れを變更する時は政府自身對內的に苦境に陷るは勿論若槻全權の面目は地に墜ち更に軍令部にては强硬に之れに反對を表明すべく斯て政府の回訓に對する態度如何に依つて對內的にも對外的にも事態愈々重大となるものと見られてゐる

日米の妥協可能ならば三國の協定成立か

會議は四月中了らん

【東京二十四日發電】英米兩國は今回の會議において飽く迄五國協定を成立せしめ度き意向を有し少くも主力艦休日延長、海軍縮小方式問題、潛水艦使用制限問題については五國協定を得んと苦心して來たがフランスが政治的協定の代償なき限りフランスの所要量は一噸たりとも低減しないと主張してゐるのに對しイギリス側は政治的協定を體よく拒絕した爲め英佛間の空氣は惡化した儘で今日に至るも好轉の模樣なく他方イタリーの對佛均勢要求は佛伊に關する限り差當り局面打開の途なくロンドン會議の形勢は漸く三國會議に移つたと見られる、既にイギリス、アメリカ間には協定成立し日本とアメリカとの交渉は又歩み寄りが明白になつてゐるので日米の妥協可能とせば一週間內には相對的に會議の危機を脫し得べくその後の交渉は相當動搖を免れずとするも互讓的精神に依つて繼續され案外早く三國協定の實現を見るべく從つて在ロンドン全權團の觀測の如く會議は四月一杯で片づくものと見られてゐる

海軍當局の回訓案

補助艦總括七割を要求

【東京二十四日發至急報】海軍省が二十二日外務省に廻附した回訓原案內容は確聞するに左の如くである

一、日本は補助艦總括七割を要求す

二、その內容はアメリカが八吋砲一萬噸巡洋艦十五隻十五萬を噸保有する場合、日本は十二隻十萬八千四百噸を要求し若し又アメリカが十八隻を保有せば日本は小型巡洋艦割當噸數を融通して十四隻十二萬六千噸を要求す

三、潛水艦は現有勢力七萬八千噸保有となる樣これ亦驅逐艦割當量より融通し得る事を求む

出掛けることゝならうと

南京代表赴奉す

宋諮議と共に

遼寧省諮議宋宸公氏は過般來張學良氏の密命を帶び南京政府を訪問したが、二十三日入港の榊丸で南京政府代表呉鐵城氏と相携え來連、二十一時三十分列車にて赴奉したが船中宋氏は口を緘して語らざるも現下中華民國のため和平統一のため努力すると洩らした點からま

ブリアン全權が來週中頃ロンドンへ

【ロンドン廿二日發電】佛主席全權タルデュ氏のロンドン行は[illegible]會議の形勢が氏の出席に依り有望となる見極めが付かぬ限り之を見合せるに決し其の代りブリアン氏が來週火曜又は水曜頃ロンドンへ

蔣・閻開戰の場合奉軍は平津を占領

中央側との諒解成立

【奉天特電二十四日發】東北側の蔣閻兩派が開戰となり北平、天津地方が戰亂の巷となる時は直に同方面一帶を占領して治安維持に任ずる事に中央側との間に諒解成立し何時にても出動し得るやう着々準備を進めつゝある

近く隴海線で戰端を開く

韓復渠軍を挾擊して既に前哨戰開始さる

【北平二十三日發電】馮玉祥氏は韓復渠氏の中央加擔明白となるや先ず河南東部の孫殿英と連絡隴海線の障害たる韓軍の攻擊を爲さしめ一方石友三軍にも連絡し鹿鍾麟軍は鄭州より、孫楚軍は大名方面より韓軍を挾擊するに決した斯くて十九日以來開封東部で孫、韓兩軍の前哨戰が開始されて居り之を機に愈々隴海線にて中央對反蔣軍の戰端が開始される模樣である

朝鮮の重要政務

―大體政府の承認を得た―

齋藤總督の歸來談

【釜山特電二十四日發】政務打合はせのため月餘に亘り東上中の齋藤總督は二十四日朝八時着釜、多數官民の出迎へを受けホテルに入り休憩中記者に語る

總ての政務については政府との折衝は大體承認し得た、失業救濟に關する諸案(豫算千三百萬圓)は林財務局長が持參して東上した、自治制の問題は既に閣議で決定したから樞府に關係はない、制令を制定し發布の後實施される、產業部の設置は現在の豫算範圍內でやれる積りだ、勅任參與官のことは拓務省に任せてある、昭和製鋼所の問題で隨分やかましいが、朝鮮としては新義州を希望するが、滿鐵でやられることゝ國策上政府の方針もあるので何れとも決定してをらぬやうだ、仙石總裁はかねてより朝鮮を視察したいと言はれてゐたのである、時節柄重要視されるのももつともだ

なほ總督は十時四十分で鎭海に赴き要港部司令官邸に小總の後悲慘事の精靈に對し新に弔意を表し、遺族を慰問し二十四日夜鎭海發二十五日朝七時歸城の筈

滿鐵昭和四年度の收入が相當減收を見る

歐洲向け大豆の不振と銀の暴落と內外の財界不況とに禍されて滿鐵昭和四年度の收入が相當減收を見ることは或は免かれぬかも知れぬ、然し其減收が一千萬圓とかの巨額に上るとはない一千萬圓の減收などゝ傳へられるのは昨年十二月に豫想した收入所謂更正豫算一億三千二百萬圓に對しての減收であつて一億二千五百萬圓の收入豫算に對しては三百萬圓內外の減收に過ぎない四年度は北滿貨物が相當南下したにも拘はらず減收してゐる狀態だから察するに若し露支係爭問題がなかつたならば或は大なる豫算を來すに至つたかも知れぬ、これは豫算編成に當つて多少樂觀的に仕組んだためではないかと、思はれぬでもないから目下その原因について愼重研究中である、また來年度の收入豫算についても石炭の減產等相當收入を減ずることゝ思はるゝにつき勇々研究を進めてゐるが此際一層緊張して行かないと安全確實とはいへないだらう、差當り株主への

減配、整理などまだ何等考へぬ

總て總裁の歸任後に決定

大平滿鐵副總裁談

內地方面の新聞紙には滿鐵四年度の收入約一千萬圓の違算から減配を免れないであらうなどゝ報ぜられてゐるが之につき大平滿鐵副總裁を訪ひその眞否を問へば「そんなことが傳へられてゐるとすれば何等かの間違ひであらう」と冒頭して大要左の如く語る

減配とか社內の整理とか何等考へてゐないことは自分として何等考へてゐない總裁も近く歸任されることであるからその上で研究されることにならうと思ふ

震手問題は進展の模樣なし

遂ひに確證が纒らず隅田麥酒重役を釋放

【東京二十三日發電】二十二日遂に釋放された帝國ビール取締役隅田伊賀彦氏に就ては同日右に先立ち元同會社經理部長福井甚吉氏を東京檢事局にて取調べ又數日前には同會社の親會社たる鈴木商店の支配人金子直吉氏の調書をも取つて全力を擧げ隅田氏の證據固めに努めたが、遂に確證纒まらず隅田氏の釋放となつたもので斯て例の震災手形問題も今後新たな材料を握らぬ限り今の處急速に進展の模樣はない

鎭江要塞檢閱

【寧波二十三日發電】蔣介石氏は二十二日午前八時軍艦楚泰にて鎭江に到着要塞を檢閱後午後十時汽車にて夫人宋美齡、陳海軍次長、副官等十數名を伴ひ鄕里奉化に向つた、奉化には二、三日滯在展墓を爲し當地より海路上海に歸り上海にて軍費調達につき財界と折衝の豫定である

建設時代回顧【三】

社員會編纂『滿鐵側面史』打合せ

竹中　先づ一着手として、こゝで出來るだけ材料を集め、諸々と云ふことの見當をつける、こゝで大分出るだらうと思ふから當分差當つてそれをやつて、次の段取りとしては、こゝでは突差のことでもあるし漏れも多いから、後からけふ集つた人に書いて貰つて、その人に斯ういふ趣旨で斯う云ふものを集めたいと思ふが、貴下の方に何か材料はありませぬかと云ふ手紙を出す、それにもう一項加へて、斯う云ふ種類の話を有つて居られさうな人を何名か御紹介願へまいか、その人自身に書いて頂くか速記者を差し向けても宜い、尙斯う云ふトピックについては何う云ふ所に行つたら宜いか知らして頂きたいと云ふことを書いて、最後にリストを付けて置く、是々の人は頼んであるから是以外の人を推薦して呉れ、その地位の高下時の新舊を問はず、面白い側面史を知つて居る人ならば結構だと云ふ依頼狀を出す、今直ぐでなくとも第一の材料が盡きさうになつてからでも宜い、發表の仕方は偏すると云ふ嫌があるかも知れぬが「協和」が一番當適ではないかと思ふ

保々　「協和」は一號々々なんだから一應出して始めに載つたものでも本にする時は最後に廻しても差支へない

竹中　「協和」に一度出たものでも後で餘り面白くないと云ふやうなものは本にする時に除いても宜い譯だから、創業苦心談も出れば滑稽物或は教科書見たやうなものも出るだらうから

保々　手紙を出すにしても先づ其の範圍を極めないと具合が惡い、同じやうな種類のもので二人あると云ふやうなものは何方か都合の宜い人に頼めば宜いが……

竹中　差當りトピックを誰に頼むかと云ふことを極めなければならぬ、決して滿鐵許りから求める必要はないので、例へば佐藤さんの熊岳城の話のやうに、ロシヤ兵が退却した直ぐ後に行つて湯に入つて居つた所が向ふから鐵砲を打たれたと云ふやうな話があつたが、隨分面白いと思ふ

藤根　滿洲全體のことにするか、或は滿鐵を中心にするか問題ですね、人をやるにしても唯々漠然と戰爭の時に何か變つたことがありませぬかと聞くよりは、滿鐵に關係のもので新民屯の斯う云ふことは何うなつたでせうと云ふやうに行くと始めて面白味が出て來るやうに思ひますが

保々　滿鐵に全然關係のない話でも何うかと思ひます、勿論大連の話とか埠頭のこと等は絕對必要がありますが

藤根　何かさう云ふ狙ひ所でも極めないと書く人は迷ふかも知れない

保々　一番始めは樣の下の力持ちとか自慢話、例へば加藤氏の「命懸けの工事」と云ふやうなものゝ許りと云ふ話もあつたが、それでは少し鼻に付きはせぬかと思はれるので……

田邊　自慢話でなければ面白味はありませんよ、自慢話を集めると云ふことで始めて特殊の面白味があるんです

藤根　色々織込んでやるんですナア、要するに滿洲に關係のあるものとするか、或は滿鐵を中心にしたものと云ふことにするかと云ふことが

上村　矢張り滿鐵中心でないと具合が惡いと思ひます

藤根　さうすることが社員會としてやるのに相應しいことでもあるやうに思ひますね

保々　それはさうしたいと思ひます

田村　必ずしもそれに拘泥する必要はないと思ふ、現に發展しつゝあることに關聯するやうなこと、或る一つの寫眞と云ふよりは伸びて行くことに或る觀念を有つものでないと面白味がない

田邊　自分の自慢話でなくても人のやつたことで自分が非常に感心して居ることを紹介すると云ふやうなものも集めたら宜いです ね、餘り研究的なものになると面白味が拔けて了ふから

保々　何うしても輕い氣持のものでないと困ります、固い理窟は云はれても切る積りで居ります編輯者としては……

高柳　私の考へでは滿鐵中心主義と云ふのは少し面白くないと思ふ殊に今三十七、八年以後と云ふお話でしたが、寧ろ滿洲の發展はその以前にある二十七、八年戰役が濟んで營口旅順に日本人が苦心をして三十七、八年戰役を待ち堪へた邊り苦心は滿鐵の經營史の前史として記憶しなければならぬことが非常に多いと思ふ、さう云ふやうな苦心談が寧ろ非常に興味を與へると思ふ、さう云ふ點も御考慮願ひたいと思ひます

中學校卒業生の志望傾向が變る

實業專門校入學が全盛

殊に工專が激增

知識階級の失業は益々深刻化し先般內務省に於いて調査せるところに據ると、調査人口の五・五パーセントを示し而も近來大學專門學校の卒業生の就職する者は平均して僅々二割弱といふ有樣でその給料も四十圓そこ〳〵なのでこの實狀が漸く一般青年學生の胸裡にも沁み込んで來たものか當地中學卒業生の上級學校志望傾向の上にも著るしく表はれて來た、即ち大連第二中學校大正十五年の卒業者の內高等學校大學豫科を志望せる者全體の五割あつたに比し本年卒業生の同上志望者は三割といふ減少で一中も略之と變りないが、大部分は實業專門學校を望み尙且學校を選ぶにも卒業後の就職成績を第一の考慮に入れて志望を決定する有樣で昔に比べて青年學生の頭も隨分變つて來たが、之も學校卒業者の就職難が彼等の頭に深く反映した結果であらうと云はれてゐる、尙又四、五年前迄は當地中學卒業生から比較的志望者の少かつた南滿工專が斷然增加したのは學費の關係から負擔の少くて濟む土地の學校を選ぶ樣になつたものである、試みに大正十五年及び本年の二中卒業生の志望上級學校數を比較例示せば左の如くである

學校	大正十五年	本年
高等學校	一五	一八
奉天醫大豫科	一	四
旅順工大豫科	[illegible]	[illegible]
京都府立醫大豫科	[illegible]	[illegible]
北海道大學豫科	[illegible]	[illegible]
私立大學豫科	[illegible]	[illegible]
高等商業學校	[illegible]	[illegible]
高等工業學校	[illegible]	[illegible]
高等農林學校	[illegible]	[illegible]
教育專門學校	[illegible]	[illegible]
南滿洲工業專門學校	二[illegible]	[illegible]
醫學專門學校	[illegible]	[illegible]
鐵道教習所	[illegible]	[illegible]
其他專門學校	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

貨物規程の改正

滿鐵メートル制實施による日滿當業者の影響

四月一日より實施さるゝ滿鐵のメートル制採用に伴ひ滿洲以外の省線、鮮鐵、船會社等との間の從來の貨物連絡運送規程も改正を見る事となつたが一般荷主、日滿取引業者等に關係ある主要な點は大體左の如くである

一、要償額表示制度を採用すべく日本郵船、近海郵船、朝郵、澤山の四社と協定中にて近く制定せられる遞信、鐵道兩省間の鐵道船舶を通じ運送規程により各船會社共異議なく豫定通り來月一日より實施の筈

二、從來荷主に對し連絡貨物は一車扱に限り一米噸につき二十五錢を拂戾してゐたが今回の改正により一キロ噸につき二十五錢となり從來より約二錢五厘の低減となつた

三、從來は船會社を通じて省線、鮮鐵との間に貨物引渡期間に關する何等の規定なく商取引に不便であつたが今回の改正により荷主の利益を圖ることゝなつた

四、朝鮮鐵道局との連絡貨物の滿鐵發朝鮮着の小口扱貨物に限り配達制度を施行することゝなつた

五、大連埠頭及營口接續費として從來特產物一米噸三十五錢、普通品五十五錢を徵收してゐたのを前者は一キロ噸四十錢、後者は同じく五十五錢に改正された

なほ鐵道部では原田汽船と契約して四月一日より瀨戶內海航路、門司、宇品、今治諸港との連絡貨物を取扱ふことゝなつた

實業の安藤選手オートバイで狩獵に出かけるのは名高い話だが最近滿鐵運動會の高橋俊夫氏は自動車……この自動車たるや旅順往復にガソリンを二罐も食ふといふ、昔パリーで流行つた大型な代物……で出かけ安藤氏の向ふをはつて居る▲二十三日の日曜日に大天狗が鴨打ちに行つて鴨になるので有名な大連運動場の中川哲藏氏同行で金州くんだり迄鴨打ちにシャレ込んだところ鳥どころか足を棒にして歸途自動車に故障臨急修理をやつて見たが埒あかず中川氏は一先づ大連に歸り、高橋氏は附近の支那人の家で夜を明かさうと入り込んだ所南京虫に攻められてゐる夜中の十時ごろ戶を盛んに叩くものあり、スハ馬賊來と思ひきや中川氏と小安氏が出迎へに、やつと生きた氣持で自動車を金州街道におつぽり出して歸つて來たと云ふ話

商品

後場

綿糸(保合)

銘柄	約定期	値段	梱數
扇面	延買十吉	[illegible]	五
同	延五月末	[illegible]	[illegible]

出來高 三十五梱

麻袋(出來不申)

神戸特產(廿四日)

大豆現物、大豆先物、豆粕現物、豆粕先物、滿洲小麥、豆油現物 [illegible]

大阪株式

銘柄(株新、紡新、鐘新、大新、東糖、日郵)後場寄・後場引 [illegible]

東京株式(長もの)

銘柄(株新、東新、東五、中先、豆先、中先、豆中、先) [illegible]

東京株式(短期)

[illegible]

大阪綿糸

限月(三月~九月) 後場寄・後場引 [illegible]

特產

定期後場(銀建)

▲大豆(保合)單位厘、▲豆粕(强保合)單位厘、▲豆油(堅調)單位錢、▲高粱(反撥)單位厘 [illegible]

現物後場(銀建)

混保(袋込)、大豆(裸物)、普通大豆、豆粕、豆油、高粱、包米(出來不申) [illegible]

錢鈔

定期後場(單位錢)

[illegible]

現物後場(單位錢)

[illegible]

滿日地方版

奉天

上に重くして下に輕くす
五年度の公費豫算 賦課の方針を決定

廿三日午前十時から地方事務所會議室に於て地方委員會を開催し昭和五年度公費査定に關する打合せをなす處あつたが、財界不況に鑑み總括的に引下げるか、上に厚く下に薄くするか、個人々々の現狀に從つて引上げ又は引下げるか等意見百出し容易に決定しなかつたが、結局採決することになりその結果個人々々によつて審議し上に厚く下に薄くする方針で進むことになり正午晝食をなす、午後零時五十分から個人關係百八件の審議に移つたがその中引上げられた主なるものは伊豫組の五等を三等にヤマトホテルの九等を五等に鴻業公司の九等を一等二等に引上げ又引下げられた主なるものは電車公司七等を八等に滿蒙證券は現狀に鑑み免除となつた、綏靜賣店の公費滯納については嚴重に督促し納附せしめることになつて五時頃閉會した

千代田通りに又も四人組强盜
支那煙草屋を襲ふ

廿一日末廣町支那人宅に四人組强盜が押入り主人を射殺して逃走し市民に多大の脅威を與へて間もなく、廿三日夜今度は千代田通りの目拔きの場所に又も四人連の强盜が侵入し金を强奪して悠々逃走した事件があつた、廿三日午後八時半頃千代田通支那煙草商東興號事張寶珍(三七)方に折柄の降雨に乘じて四人組の强盜現はれ二名は表入口に張り番をなし二名は客を裝ふて內に入り込み、突然隱し持つた拳銃をつきつけ同店支配人張篠泉は金庫にあつた現大洋百卅元、金票七十八圓、現大洋票十元を提供した處、賊はこれに滿足したものか帳場にあつた、現大洋一千元その他金票奉票等には手も觸れず城內方面に向け逃走した、急報により奉天署では非常線を張り犯人の大搜査を行つたが遂に發見するに至らなかつた

區長會議

五年度公費査定に關する區長會議は廿二日午前十時から地方事務所會議室に於て開催、各區長出席の外滿鐵側から小倉所長、大岩係長松本公費主任等列席、査定につき協議の結果財界不況に鑑み製麻會社の特等を廿等に引下げ、以下卅五件を引下げ廿五件を引上げに決定し廿三日開かれた地方委員會議に提出され更に別記の如く協議された

法院と監獄の視察記（上）
司法會議室に革命未完成の額

奉天支社　一記者

東北法學研究會は治外法權撤廢を目標とする司法制度改善の指導研究機關であつて會長は日人に馴染の深い趙欣伯博士である支那の治外法權撤廢は既に宣傳時代より實行時期に入らんとし殊に日本は過般成立した日支關税協定に次で近く法權問題の交渉に移らんとしてゐるので、趙氏は此機會に「支那の司法制度が如何に改善されてゐるか?」を見て貰ひ度いといふ趣旨で、廿二日日支新聞記者に招請して裁判所と監獄を參觀することになつたのである

法學研究會の主催に依つて廿二日午後より東北法學研究會、遼寧高等法院及び模範監獄と稱せられる小南門裡の遼寧第一監獄の參觀に赴いた、法學研究會は瀋陽皇城の一隅、古色蒼然たる建物の中にあり、法學博士趙欣伯氏が主となつて法學の研究改善、法律智識の普及に努めて居るもので多數の法律に關する中外の書籍を藏した圖書館を有し、毎週一回法學新報を發行して全國の各機關へ配布して居る、法學研究會なるものは支那全國に於て只一つ東北省にあるのみである、法律智識に缺けて居る支那民衆に對しては、唯一の法律智識を會得するに便利な機關である

高等法院 吾々は趙博士の案內に依つて遼寧高等法院に向つた、先づ門前には二名の巡警が立つて居て門を潜れば支那式の古い黑煉瓦造りの二階建が幾棟にも廻らされて居る、罪人の裁き場所として陰鬱な感が湧く、奧まつた司法會議室に案內された、正面には故孫文氏の額が掛けられて革命未完成、同志仍須努力等の字が書かれて居た趙博士より一同に對し史高等法院長、朱檢事長を紹介された、史法院長は二十年以上法律事務にたづさわり東北に於ける法學界の權威者と云はれて居る、それより第一法廷に於て民事公判を傍聽した、法廷の構造は日本と同樣である、公判開廷と共に裁判長一名、判事二名、書記一名の係りで原告と被告が法廷に呼ばれ型の如く住所姓名年齡の訊問から審理が進められたが日本の如く辯護士が法廷代理人として裁判長の審理訊問に應ずる事なくして直接原被告に付き訊問をなし、双方の申立を書記が細大漏らさず記錄し公判の最後に其れを讀み上げて、原告被告に申立の正誤を正してそれに依つて判決を言ひ渡す事となつて居る、更に

第二法廷 で開廷中であつたロシア人に關する民事公判を觀いて見たが外人に關するもので多數の學生の傍聽者があつた、更に第四法廷に於いて刑事公判を傍聽したが民事公判と同樣で檢事が列席して居た、地方法院は格式が異るだけで他は大同小異である、遼寧高等法院は東北省の最高法院にして各地の地方法院より廻附された事件を處理する事となつて居るも、矢張り民國政府立法院の管轄下に置かれて居るので高等法院で上訴した裁判は東北政務委員會の手を經て一件書類を國民政府立法院に屬する高等法院に送り、其の書類に依つて審査し判決を下すか或は棄却をなすのである、之は東北省に於ける各地方法院に於て判決された事件に付き上訴された場合は右と同樣遼寧高等法院に書類が送られて判決又は却下されるものである、若し支那側の要望通りに領事裁判權が撤廢される曉には遼寧最高法院は國民政府より獨立して東北省に於ける裁判上の終審法院となるものと觀られて居る、當局者は不備の點は今後漸次改善を加へて行くと語つて居た

土地家屋の賃貸嚴禁
奉天政府の密令

奉天政府は今回外人に對する土地家屋の賃貸契約を一切嚴禁し舊契約の更改延期を許さずとの密令を發し、專ら外人の土地家屋賃貸を拒絶してゐるので打撃を被つてゐるものが多いと

南支現狀
野原局長視察談

南支視察を終へ歸奉せる野原奉天郵便局長は語る

當地を二月十日に出發し青島、上海、香港等を經て廣東に赴いたが二月廿日香港に着いた時八十度といふ夏の熱さで夏服と着換へさゝれた事には驚いた、南支は各地に排外思想の宣傳ビラ或は國民を刺戟する樣な排外宣傳を頻に行つてゐる、自働式電話については着々進められ青島は二月一日から開始し、上海は半數自働式となつてゐる、香港は電信電話の柱なく全部地下線で市街美をそこなはず非常に氣持がよかつた、南支には日本郵便局がないので勘らず不便を感じてゐる、貿易は銀安のため取引が困難となり減少してゐる樣である

人事

▲二宮憲兵隊長　廿二日安東より過奉旅順へ
▲八並武次氏(衆議院議員)　二十三日同上大連へ
▲秋川大佐(醫大配屬敎官)　二十二日着任
▲立川奉天署警視　廿二日歸奉
▲田邊前滿鐵理事　廿二日來奉
▲太田第卅八聯隊長　廿二日長春より過奉遼陽へ
▲平野滿鐵學務課長　廿二日歸連
▲大賀博士　廿三日歸奉
▲石原哈市運輸課長　廿三日長春へ
▲桒島哈爾賓事務所長　廿二日過奉長春へ
▲牧島警視(江原道警務課長)　廿二日大連より過奉長春へ
▲チゲス氏(駐奉獨逸領事)　廿二日歸奉
▲高紀毅氏　廿二日熊岳城へ
▲馮庸大學陸上競技選手一行二十四名　二十二日夜出發大連經由上海へ
▲青島高女生徒十四名　二十三日朝來奉

水ぬるむ　大連鏡ケ池にて

安東

天長節をトして結團式擧行
安東ボーイスカウト

安東ボーイスカウトの設立は久しい間の問題であつたが、愈々實現する事となり二十一日各關係者集合し意見交換の結果設立を促進せしむる事となり、團長には井上所長、副團長としては大津大尉を推戴する事に略內定し、指導員として大和校より田中氏他一人、朝日校より橋本氏を推し以上三氏は此の休暇を利用して大連、奉天のスカウトを視察後直に健兒の募集に着手し一應訓練を經ると同時に四月二十九日の天長の佳節をトし莊嚴なる結團式を擧行する事となつた

道評議員の選擧
横江氏當選

新義州府に於ける道評議員の候補者選擧は二十二日午後一時より三時迄の間に公會堂に於て執行された、今回は當初より無風狀態で加藤鐵次郎氏の再選さるゝものと一般から觀測されてゐたが、突如二十日に至り横江重助氏が立候補を聲明し疾風迅雷的に運動を開始したので、加藤氏一派は大に狼狽をなし之が防禦線を張りたるも立遲れの爲めか遂に榮冠は横江氏に歸した、因に選擧人は府協議員十六名中多田榮吉氏不在のため十五名であつたが開票の結果は左の如し

九票　横江重助
六票　加藤鐵次郎
一票　中込精一、多田榮吉、卓昌河

春季競馬大に賑はん

安東競馬倶樂部では來る五月春季大競馬を開催の筈であるが、同競馬場が安東陸上競技場となつてゐる爲め理想の競馬場として手入れをするのをひかへてゐたが、今回同倶樂部の幹事横畑幾久氏が陸上競技部役員と折衝の結果陸上競技上移轉其他の雜費として金八百圓を出し今後は一切該地は競馬のみとして使用する事となつた、同倶樂部では交渉の纒まりたる結果早速に手入れをなす筈との事であるから、今回の春季大競馬には理想の馬場も出來る事と見られ競馬ファンは非常に期待を持つてゐる

ゴム風船が幼兒の命を奪ふ
一人は手術で漸く助る

護謨風船が咽喉に引掛り幼い子供が生命を奪はれた事件があつた、滿鐵貨物係勤務の上野某氏長女泰子(六つ)が二十日午後一時頃ボンタン飴の中にあるゴム風船を玩具にしてゐる內空氣の出るのと同時に吸ひ込み咽喉につまらせあつと言ふ間に齒を喰ひしばつたので、直に滿鐵醫院につれ込んだが十分間位で絶命し一時間以上も人口呼吸を施したが駄目で兩親は悲嘆の涙に暮れてゐる、尚醫院の話に依ると數日前にも十一歳になる子供が同じ狀態で連れ込まれて來て咽喉に穴をあけ風船を取り出して命拾ひだけしたそうであるが、幼兒を持つ親達は大なる注意を要すべき事である

一般的に大に努力
滿鐵社會事業

滿鐵社會主事會議に列席し此程歸安した地方事務所山本社會主事は語る

從來の社會係は滿鐵社員並に家庭の慰問其他滿鐵を主體として來たが、今後は一般的に總ての仕事をする樣にと謂ふ事になつた、もつとも安東は栗野前所長時代から井上現所長に至る迄滿鐵以外の事業をなして來たが、今後は一層一般的に努力するつもりである、特に在住民の體育即ち運動方面には大いに力を注ぐ事にする

校旗推戴式

安東中學校では二十二日午前九時から新調の校旗推戴式並に終業式を擧行したが、校旗の旗手及び保衛手は左の通り校長が任命した

旗手＝花房一秋、福原忠雄
保衛手＝崎田正壽、高田憲男、長野憲、堀詩興、大村尚治、前橋清三郎、澤部直次、濱田正實、武藤善一、張南哲、白俊煥

尚擧式に際しては伊東校長より一場の訓示があつた

太い齒入屋

平南平原生れ現在新義州府老松町一四金思福(三〇)と言ふ下駄の齒入職は豫て仕事材料買入れの爲め同本町五永田下駄店に出入する內主人の信用を得金貸の斡旋やその取立等を依賴されたるを奇貨として昨年四月頃より最近までの間に百數回に亘り僞造借用證書を作製し金を騙取したり或は取立てた金を着服する等總額六千六百八十餘圓をセシめて知らぬ顔をしてゐた所此程惡事露見し新義州署に逮捕され取調べを受けてゐたが、二十二日詐欺及横領罪として檢事局に送致された

關東州內農事視察旅行記（終）
旅順市內の諸農園

熊岳城農業實習所　佐藤政雄

普蘭店へ午前八時三十分着下車民政署當局者と先輩塚本、松岡兩氏(松崎農園)が着車を待つてゐて歡迎してくれる、今が果樹の剪定期、渤海の潮風に吹かれながら太陽直射の農園に立働く兩先輩の顔は、見違ふ程眞黑になつてゐる「太陽と農民」それは何處までも離れ得ない、眞に健康のシンボルである。

平藥寺農園で再び剪定の指導を受け、土と果樹と手入の三拍子揃つた好農園を觀察し、果樹と蔬菜と緜農と水田の複雜な土の仕事の松崎農園で近代的手腕を有つた園主を偲びながら午後六時の列車で歸途に就いた。×

汽車は暮色蒼然たる靜かな滿洲の野の夕を一路ひた走り北行を續ける、熊岳城も目近に迫つた、農園開拓は何と言つても經營者の運命を左右する「土地の選擇」を第一條件とする、そして滿洲苹果はもう自給自足の殼を脱し、將來は販路を遠く關外の市場に求めねばならぬ昨今であるから、今後はアメリカの苹果に對抗出來得る「品種の選擇」が第二の條件である、日本內地の農業にしろ、米國にしろ、デンマークにしろ相當な收益を擧げ其の資金に對して好利廻りを示してゐる、比較的環境に惠まれたこの滿洲の農業は決して採算がとれぬ筈はない、唯今後は一層集約的に營んでゆくことが必要であると思ふ。

僕はこれを機會としてもう一歩進んで、根本的に理想的な候補地や、土の分析試驗の結果の意見も發表したいと思つたが、時間の都合で紀行中の見聞の事實のみに止め、全然主觀を沒却して骨子のみを記述した、今回の旅行で吾々の最も愉快であつたのは邦人農業家が、將來恐るべしと云はれた支人を「好敵手ではあるが決して恐るゝに足らず」と口を揃へて云はれたことである「頭と機械と技術」の三拍子を揃へて寧ろ巧に彼等の長所を捉へて利用してゐることである、吾々は既に北滿旅行をして原始的農法を見た經驗があるだけに思ひ半に過ぎるものがあつた。

僕は一識者から、吾々實習生の將來には大した期待を持てぬといふ懷疑的なお言葉を間接に聞いたが然し吾々の滿蒙開發に對する確信は決して薄弱でないことを此處に斷言して置く、唯一つ吾等の惱みは若輩なるが故の資金難である、だがそれも滿鐵と農事會社が、時に吾等の立場に同情と理解とを有つてくれるからそれを唯一の綱みとして今後の計畫を進めてゆく。

旅行中特に御厄介になつた民政署當局、各農園主、先輩諸兄其の他の方々に厚く御禮を申し上げて擱筆する。

金州

問題の白鳥俊雄
二十二日附で解職

大連民政署官有財産係土地不正拂下げに絡まる問題の中心人物白鳥俊雄は二十二日大連民政署庶務係主任が來金平井當民政支署總務課長と打合せの上直ちに解職の手續を取つた

建築界賑ふ
城內の改築も著しく增加す

解氷せる當地の建築界では目下非常な賑はひを呈し到る處に新建築を見るに至つたが、此の模樣では建築數は昨年に倍加するものと豫想されて居る、城內の改築も近時著るしく增加しつゝあるが不體裁な支那町の面目一新も近き將來であらう

卒業式擧行
廿三日小學校で

小學校の第二十三回卒業式及び修業式は二十三日午前十時半より平井民政支署長代理外多數の來賓保護者出席の上兒童作品展覽會を兼ね盛大に擧行された

遼陽

廿五年の昔を偲ぶ從軍記者招待會
殘櫻會を組織して永久的に　廿一日公會堂の清會

遼陽在住者中日露役に從軍した百餘名が二十一日在鄉軍人分會から公會堂に招待され二十五周年の祝賀會があつた、當日定刻午後一時先づ記念撮影の後着席當時の從軍者 片山武一郎、栗原八郎、長濱和一郎、地家精の諸氏實戰談をなし、來賓代表多田第十六師團參謀長の祝辭あり終つて開宴、折詰を開いて往時を偲ぶ懷舊談に卓を賑はし宴半にして有志の動議で殘櫻會を組織して今後毎年一回會合することに滿場一致を以て決定、會長に赤十字診療所長多田三等軍正、副會長に西在鄉軍人分會長地家精の兩氏外に十名の評議員を置くことになり極めて盛會裡に午後五時頃散會した

消組總代會

遼陽消費組合支部では二十日午後三時から社員クラブに於て支部總代會開催、魚菜部擴張、必需品配給價格其の他の問題に付協議する處あり見坊理事は二十一日夜行で理事會議出席の爲め赴連した

金組役員會

遼陽金融組合では廿日午後七時から評議員會を開き新加入者の資格審査其の他に付協議した

本社支局移轉

我社遼陽支局は廿三日仲町三番地に(電話三四八番)移轉した

宮村氏結婚

遼陽朝鮮銀行支店員宮村新太郎氏は西田爲次郎氏夫妻の媒酌で鞍山木下竹次郎氏息女貴美子(廿二)と二十一日遼陽神社で結婚の式を擧げ同夜仲町玉泉で披露宴を張つた

海城

線路工長異動

海城線路工長准職員齋藤宣信氏は燻蒸保線區に轉勤し後任には遼陽より臨見寅吉氏が着任、他山線路工長永田幸造氏は遼陽へ、其後任として沙河から大橋千次氏が來任した

公主嶺

多田參謀長
けふ來公挨拶

第十六師團多田參謀長は新任挨拶のため二十五日第十七列車にて來公丸福旅館に一泊二十六日歩騎兩隊憲兵分遣隊、警察署、地方事務所農事試驗場等を訪ひ第三十二列車にて出發の豫定

小學校卒業式
幼稚園は廿二日

公主嶺小學校の第二十三回卒業式は二十四日午前十時より擧行、尚幼稚園の修了式を二十二日午前十時より擧行したが卒業園幼童は五十名、入園幼童は六十名である

哈爾賓

居留民會評議員の選擧

居留民會評議員選擧は廿三日愈々其の最後の決定權を興へることになつたが、これまで沈默を守つてゐた小林九郎(滿鐵勤業)青木厝一(齒科醫)大河原哈通社長、栗栖圖書館長等が立候補しこれに對して邁評議員の軍司義男牛木寛三郎氏等の再出馬に內面的競爭は俄然猛烈となつたが、廿三日の開票は各方面に興味あるセンセーションを興へてゐる

瀨川氏離哈

日支文化事業の北平代表として駐在中の瀨川淺之進氏は老軀をひつさげて十九日來哈、八木總領事其他多數の見送裡に北平へ歸任した、氏は日清、日露時代に支那にあつて活動した營口領事として令名がある

鞍山

鞍小卒業式
けふ講堂で擧行

鞍山小學校では二十五日午前九時三十分より講堂に於て卒業式を行ふと

鞍小父兄會

鞍山小學校では二十三日講堂に於て本年度入學兒童の父兄會を開催し兒童に對する打合せをなした

菓子商組合例會

鞍山菓子商組合三月例會は二十三日午後七時より實業協會堂に於て開催し原料品仕入及び重要事項を協議、午後十時閉會した

開原

大和之丞の浪花節二十六日に延期
各地の好評で順延

奈良丸改め吉田大和之丞一行は二十五日開演の豫定なりしが各地好評の爲め長春に於て一日日延べせるにより開原に於ける開演豫定は順延二十六日開演の事となつた

兒童慰安巡回映畫
廿七日小學校で　昌圖は來月九日

第三十六回兒童慰安巡回映畫は來る二十七日開原小學校に於て開催し實寫「お祭の日光より」一卷、喜劇「お芝居騷ぎ」一卷、漫畫「太郎さんの冒險撮影」一卷、教訓劇「毬の行方」六卷を上映すると尚昌圖にては四月九日上映開演の豫定なりと

鐵嶺

小學校の記念音樂會
今夜は高齢者と一般を招待

小學校卒業記念の音樂會は二十四日午後六時半より同校兒童の父兄を招待して開催、二十五日晩は六十五歳以上の高齢者及一般を招待すると

卒業式擧行
きのふ小學校で

鐵嶺小學校第十八回卒業式は二十四日午前十時より講堂に於て擧行本年度の卒業生は高等十二名、尋常科六十一名、家政女學校九名、進級兒童は高等科卅三名、尋常科四百六名、家政女學校十四名であると

景氣のいゝ日語卒業生
廿二名の就職は殆ど決定

鐵嶺日語學堂第十九回卒業式は二十二日午前十時より同校に於て行はれたが、本年の卒業生は二十二名で、日本側と違ひ就職口が多いので何れも就職決定してゐると、因みに本年の卒業生の就職は左の如し

滿鐵四名、鮮銀鐵嶺支店一名、吉長鐵路一名、吉敦鐵路一名、洮昂鐵路五名、洮索鐵路三名、家業從事一名

此外南滿中學一名、旅順中學二名遼陽商業實習所に三名入學した

慌てゝ飛乘り友人負傷
生命は無事

二十一日午後零時半當驛發特急が南方四キロ八里庄附近を進行中、三等車から身を躍らせて飛降りた支那人乘客あり、全身數ケ所に打撲傷を受け腦震盪を起して人事不省に陷り鐵嶺醫院に收容手當を加へたるも意識恢復せず二十二日朝に至るも昏睡狀態を續け危ぶく冥土に行かんとしたが手當の効あつて一命は取止めるらしい、取調べの結果何處の何者とも判明せず所持品は開原發鐵嶺までの乘車券及開原人呂鳳桐といふ名刺のみである多分開原から鐵嶺に來る途中乘越しと氣づき慌てゝ飛び降りたものであらう

法庫縣教育者が日本側視察
四月中旬旅大へ

法庫縣教育局では管內教育者を以て見學團を組織し旅順大連方面の日本側教育機關の施設教育法其他に就いて見學したいとの希望で、目下計畫を進めつゝあり、四月中旬出發の豫定で日本側領事館に對し目的地に於ける便宜斡旋方を願出して來たと

保田氏夫人逝去

當地草分けの一人として在住二十餘年に及べる敷島町保田庄次郎氏の夫人千代さんは腹部の腫物を切開すべく去る十七日入院開腹手術を行つたが心臓痲痺を起して二十日午後十一時半死去した享年五十二葬儀は二十二日觀音寺で執行された同女は夫君と共に餘生を內地に樂むべく來月中旬に當地引揚の準備が整つてゐたが其希望も叶はず長逝したもので誠に氣の毒な人であつた

大和之丞浪曲大會
讀者優待割引券
特等二圓　一等一圓六十錢
二等一圓
各地とも共通
滿洲日報販賣部

滿洲開發の鍵鑰（二）
昭和製鋼所に關する私見
難波生

若し大膽に素人の臆斷を許されるならば、私は原料や、給水や、燃料といつた根本條件に大差ない限り、關稅問題や、非常味の或る難點などは、工場の位置を決定すべき重大因子でないと思ひます、否それよりも必要なのは、此事業に依つて與へらるべき全般への影響であつて、それには當該關係諸地に於ける植民的基調の建設如何に留意すべきだと思ひます、私は總て消極的當面的に隨して居ると申しました、人々は不景氣や行詰りを云爲して、官憲及び滿鐵の援護を強要し、之に對して後者は在住者が邁往の氣に乏しく、徒らに保護擁護の下に逸居せんとする事を非難します、いづれも一理ありますが究極する所は今まで生産者としての基礎を有たなかつた事と、この點に無關心の儘、外觀の衒耀のみが、市街建設や、各人生活の樣式や、産業獎勵に濫用された點にあります、今日沿線を

巡覽 しますと、地につける農業者が鑛物の採掘、若くは漁撈業といつた生産者のほか、確乎たる生活の基礎を存して居る在住者は幾人ありませうか、それにも關はらず、宏壯な家屋、廣濶な道路を建設して、純日本式でも、支那式でも、將又洋式でもない生活をして居るのであります、當然發達すべき政治的商業的都市を除き就中竟にそうした發展の見込ない中間驛に於てすら、外形的粉飾にのみ馳せた建設工事は、所謂砂上の樓閣に等しい感を催させて居ります、これは今日の行詰りに大なる素因となつて居ますが、其責任は指導者側にも、被指導者側にもあつて、要は生産者としての基調を有しない缺陷を暴露した者だといへます、年々好成績を擧げて居る滿鐵會社にしても、若し撫順炭坑その他の生産的經營を有つて居なかつたら、輸送業のみで果して今日の繁榮を繼續し得るでありませうか、如何に港灣設備が整頓しても、鐵道のサアヴイスが周到であつても、貨物の流れ行く自然の領域は決つてゐます、今まで此方面の全盛を極めて居るやうに見えたのは、他に競爭が無かつた爲めか、若くは

動亂 が餘儀なくした一時的現象に過ぎなかつたのです、現に東支線や鳥鐵線との必然的爭奪があり、更に吉奉線開通後の双陽、磐石、海龍、東山方面の貨物出廻り變化や、打通線を通じて早晩實現さるべき通山線への輸送系統などを豫想しますと、何時迄も桃源の夢を貪つて居た從來の態度を續け得られるでありませうか、斯した成行きを或論者は反日本的心理の現れのやうに申します、併しそれは國民精神を無視した偏見であつて、泛々たる外交手段では何うする事も出來ない必至的大勢であります、それは恰度支那が何時迄も動亂續きであるやうに、勝手な批評で通がつて居た人々が、グン／＼統一氣運の高まる近狀に刮目して居るのと同樣、如何に自家滿足の辯解に安んじやうとしても、斯して徐々に簇起する鐵道戰の將來は、日本人が原料品の唯一生産者でない限り、決して安心すべき趨勢ではありません、それには何うしても

南滿 に於ける工業的基礎を確立させねばならぬ、若し南阿に金剛石と金坑とが發見されなかつたら、十九世紀後半の英國人は、ボア人とホツテントツト族の前に退却を餘儀なくされたかも知れませぬ、それほど同國當時の植民政治は行詰つて居たのであります、又若し印度に鐵鑛探掘やゴム栽培の生産業が起らなかつたら、特許權のみで繋いで居た在住英國人の事業は、海運の外誇るに足る者が扶植されて居なかつたかも知れませぬ、南滿に於ける工業樹立の必要も、實にこの意味の生産的位置を涵養するにあります、勿論斯うした議論は今までにも各人に依つて主張され、又此主張の下に芽ばへた事業もあります、併しそうした各種工業の根本には、更に之れを促進すべき基礎工業があるはずです、製鐵製鋼の如きは即ちそれで、この原動力を養成することは滿洲に産業の中心を建設する爲の急務であり、この急務を了解すれば、自から工場に關する位置の是非も判る譯だと私は思ひます。

皇室の御稜威と國民の協力（六）
日露戰爭を回顧して
關東軍參謀長　三宅光治

最後に私は戰爭全期間を通じ殊に直接敵との交戰間に於て實に深刻に感銘致しました一事を述べて此講演を終らうと思ひます、それは外ではありませぬ「我皇室の御稜威の有難き一事」であります御承知の通り彼我兩國の軍隊は何れも有名なる將帥によりて統率せられ我大山總司令官以下の各名將は云はずもがな敵の總司令官「クロパトキン」大將「リネウイツチ」大將、乃至は海軍の「マカロフ」提督等、皆何れも世界一流の有名なる兵學者であります、又露國の軍隊は實際戰つて見まするど流石は世界各國の畏敬したる如く中々強い軍隊であります、故に若し奉天の戰爭に於て敵の總司令官が其強大なる總豫備隊を擧げて奉天西方の大平地より殺到致しましたならば、此戰ひの勝敗は或は彼我其所を異にしたかも知れませぬ、然るに「クロパトキン」大將は其總豫備隊を我鴨綠江軍方面の山地に最初に移動致しました爲め、いよ／＼の時に間に合はなくなつてあの樣な大敗を來したのであります、これによつて見ましても敵の總帥としても用兵上立派な考へを有して居つたのでありますが、之をよく成し遂げ得なかつたのは何に原因するかと申しますれば、是れ一に「我皇室の稜威」の然らしむる處であると申すより外ないのであります、其他大小幾十回の戰鬪に於て濟んでから其跡をよく研究致しますると、どれもこれもあの調子でよくも日本軍が勝てたなあと思ふものばかりであります、素より我軍の大勝利は擧國一致極めて緊張せる精神と眞劍味とを以て敵に當つた結果である事は申す迄もありませぬが、不言の裡に敵の行動に掣肘を加へられた不思議の威力は何と申しても人力以上でありまして、是所謂天佑即ち我皇室の稜威の然らしむる處であります、されば此の有難き皇室を上に戴く我日本帝國に生を享けし臣民は、眞に幸福此上なく、從つて彌が上にも皇室の御繁榮を祈り奉ると共に、此光輝ある帝國の國威宣揚には渾身の努力を拂はねばならぬと存ずる次第であります之を以て講演を終ります（終）

往昔のユートピアが今はモダンな文化町
支那人が幅を利かす香坊

【ハルビン特信】國際都市、ハルビンがもつ新らしい文化村——「上號、香坊」と乘合自動車のロシア人の女車掌が頻りに客を呼ぶ、其の香坊とはどう云ふ町か？傅家甸（ハルビンの市街は新市街と埠頭區から出來上つてゐるので支那人は埠頭區を道裡と稱しこれに對比して傅家甸を道外と呼ぶ）の純然たる支那街から埠頭區の一角を通り、新市街の驛前から中央寺院に出で、ヨーロツパー風の都市の繁華から馬家溝を過ぎスタールハルビン——（舊哈爾賓）に向ふと其の町に接續して伸び／＼と平原のうちに生れてゐる新らしい村、これが香坊である

◇

軍閥の鬪爭と觴的政治家の權謀術策に疲れた支那は興亡常なき走馬燈の場面を轉換し、新鮮なる生命を培ふために、「眞の革命は村落から」とのモツトーでテンポの早い都市を靜かに睥睨して村民の教育に力瘤を入れだしたのは、各省到る處に新文化村が生れつゝあるのにても判るだらう

◇

スタール哈爾賓は數年前までは全くの一寒村であつた、居住者の全部は殆どロシヤ人でいづれも鐵道從業員の家族が牛馬、羊豚を飼育してゐた極めて自然的生活を營んでゐるユートピアとして知られてゐた、其の村の入口に邦人は製粉工場を建設し、北滿小麥の產額と將來の食糧問題のために遠大なる抱負と經綸を以て、工場の發展を計畫し、黑い煙を太い煙突から「北滿邦人の意氣をみよ」とばかりに氣を吐いてゐたものだが、星うつり歲あらたまつて今は支那人の手に「天興福」と黑太々の看板のもとに經營され、附近も亦支那人の居住者が多く——第八中學校の新建築に、高等小學校、農事研究所が堂々と棟を並べてゐる、桑海の變どころの騷ぎではない

◇

特に人目を惹いたのは「平民工業分廠」の扁額に「女子手工業」の建札看板である、家は煉瓦平家建で廣いグラウンドに各家屋が散在してゐるが女子手工——職業婦人として自活の出來る女を養成し、一般のものに對して新らしい職業を教育してゐるのである、村人は各地から集まつたものと土地のもの、二種類になつてゐるが、村長[illegible]果は全村民を眞から眼あきにして仕舞ふのだと努力してゐる、現在は極めて微々たる村ではあるが、教育機關だけは立派に整頓してゐる、だから若い支那婦人はモダニズムを發揮し短袴に斷髮をしてゐるではないか——

◇

十二日——孫中山五周年記念式には村は全部戸毎に青天白日旗を掲揚し黨國主義の意氣を示してゐるハルビン市内の支那人家屋には國旗を掲揚してをらぬが——この村だけは旗を立て記念祝賀をした、特に記念大會の講演會を組織し張公學校、商務會、第三校が主催發起人となり十二日は公安局、保衞隊、農事試驗場、農會其の他附近の代表機關の首腦者を招待し午前十時から東首廟の空地廣場で盛大な式を擧行し名士の講演會を開き「革命未だ成らず」を高唱して虹のやうな氣焰をあげ文化村の意氣と力と熱を煽つた——ハルビン市内では觀られない現象である

八つ相
投書歡迎
中傷を目的とするものは採らず　新聞行數五十行以内のこと

映畫館の樂隊
協和會館ファン

昨年までは協和會館の映畫伴奏は斷然他の常設館のそれに優れて居たが近來は全く常設館に壓せられて三位四位におとされて了つた常設館の樂隊は昨年迄は左程の優劣もなく何れも騷々しいばかりであつたが大日活の出現と共に樂隊も他館のより優れて近來は其第一位を占むるに至つた只時々拍子が揃はず音が亂れがちなのはよい統率者がないためか實に惜しいことだ、大日活の後に更に立派な常設館常盤座が現はれた、上映フイルムも高級のもの揃て近頃は大分常盤座黨が多くなつたが、それだけに伴奏の惡いのが常に問題となつてゐる、殊に主要な樂器が頗る未熟の爲め他館のと比較して最下位にある、吾々ファンのためにも少し優れた樂隊を置いて常盤座の名を更に光輝あらしめんことを座主に御願ひする、映畫伴奏は何と云ふてもホテルのオーケストラが一番であつたが近來全く音をひそめたのは何故か吾々ファンの大損失だ殊に近來の協和會館の映畫伴奏には皆が呆れ果てゝ最早や問題にする人がない程になつた、よい樂隊を雇ふ費用がないのかトーキーに變る迄の一時の辛抱で間に合せて居るのか問題外だが近頃は協和會館における催しは質が落ちて來た「協和會館に催されるものなら心配はない」とは云はなくなつた要するに協和會館初め各館共に益々樂隊の改革向上を望みホテルのオーケストラの奮起を促がす次第だ

中等學校英語教育改善私見……（2）

中學で學ぶ英語は装飾品に過ぎぬ

先づ上級學校の入學試驗から改善せよ

玉置彌造

◇中學校が高校及び高商に入學すべき準備教育機關である以上、中學校の教育方針は高校及び高商の入學試驗法に支配せられるのは止むを得ないことである。だから高校及び高商の入學試驗法又は入學試驗問題が實用に遠ざかつたものであつたならば、中學校の教師らはそれが英語研究上無益の努力であることを知りつゝ、一人でも多くの合格者を自校から出したき希望にかられ、その入學試驗に及第するために最も適應した教授法を採るやうになるのは自然の勢であらう。故に中學校に於ける英語研究法が非難するよりも、高校及高商の入學試驗法が實用英語奬勵上適當のものであるか否かをディスカッスすべきが至當である。この見地から私は先づ現在の高校及高商の入學試驗が、受驗者の英語の活用力を試驗するに適當なるものであるか否かを批判して見たい。

◇三十年前でも東京高商の入學試驗で、受驗生が英語を聽いて理解する力と、舌を用ゆる能力即ち發音と話す力を試驗することの必要は無視せられてゐなかつた。その當時故神田乃武氏が主席教授として同校の英語教授を主宰せられ、入學試驗にはアレキサンダー・ジヨウ・ヘヤーなる外國教師が或文章を受驗生に書取らして綴字と書法の試驗をなし、外に會話の試驗があつて聽くことにより理解する能方と話すことの技倆が試驗せられたから、同校に入學志願の中學生は發音と會話を練習するため外人の出席する教會に行き、或者は課外の時間を利用し外人に就いて會話の練習を怠らなかつた。

◇然るに私が調査して知り得たる所によれば、現時の高商入學試驗では受驗生の實力を試驗する上に於て最も重要なる之等の試驗は全廢せられ、筆答による英文和譯と和文英譯とを以て受驗生の英語の實力をテストする方法を採用してゐる。即ち耳に聽いて理解し口にて意思を表示することを主眼として研究されねばならぬ英語を、眼に見てこれを理解し、筆にて意志を表示することを主としてゐるから、中學校にては發音讀方會話等の重要課目が殆ど無視せられてゐる有樣である。其結果中學校五年級などでは可なりアドヴアンスした書物を教科用としてゐるが、これらの書物の內容が實用的英語研究の見地から言つて何等の價値なきものでも、高商又は高校の入學試驗に適當と思はれるものを標準として採用してゐるから、現在の如く高校及び高商の入學試驗が非常識な、實用に遠ざかつた方法である限り、中學生に實用的英語の力を與へることが不可能である。

◇事實現時の中學生は一種の裝飾品として英語を研究し、高校及び高商の入學試驗は受驗生が如何に多くこの裝飾品を有するかをテストすることを主眼としてゐるのであるから、この試驗の成績は彼らが有する實用的英語の活用力を示す標準とはならぬ。故に中學校の英語教授法を改善するためには、先づ高校及び高商の入學試驗法を改善せねばならぬ

大チヤンノ モウジウガリ（61）

ハルミチ作　ジラウ畫

ドジンドモ ガ イヘ ノ ナカ ニ ニゲコン「ヲヂサン、ブルト チンパンヂー ハ ドウナダ ヒマニ 大チヤンヲ ヲヂサンハ ライオン ツタデセウネ」大チヤンハ ソレバカリガ シンノ カハ ヲ テバヤク ヌギステ、ジドウシヤ パイデシタ「マア イチド アンゼンナトコロニノ ナカ ニ トビコミマシタ、ソシテ ヲヂサ ニゲテ、ソレカラ タスケル クフウヲ ユツクン ガ ハンドル ヲ ニギルト、ジドウシヤハ リ カンガヘヤウ」ヲヂサン ハ ジドウシヤヲイキホイヨク ハシリダシマシタ。ゼンソクリヨクデ ハシラセマシタ。

支那看板種々相（5）

運命のハンドルを握る八卦屋さん

箸のころんだことでも八卦で占つて貰はなければ氣の濟まぬ支那人である、やれ旅行、それ緣談、病氣などの時はもとよりのこと、一から十まですべてが占によつて決定されるらしい、こんな有樣だから大道易者先生の支那の軍隊なども進むとか退くとかもやはり八卦できめるらしい、こんな有樣だから大道易者先生の張店が至るところに見出されるのも不思議はない、易者もいゝのになると堂々と一戸を構へ相士として相當深い學問と見識とを具へてゐる、先づ見料は四五十錢見當、寫眞は西崗子の入口に軒を並べた八卦屋さんで「指南卦館」「問心命館」などの看板を軒にかゝげてゐる、卦館も命館も同じ八卦屋の意味である。

◇彌生高女母國見學團通信……（一）

あこがれと郷愁をのせて

堀谷紀美子

十時學校集合十一時半上船、出港、只慌たゞしい。見送り人の渦、テープの網、目も耳も心も混亂の渦卷である。うれしいやら、寂しいやら。テープを心のたづなとにぎりしめた私達は、一ツ〳〵切れて行く赤を、靑を、紫を、唯ぼんやりと眺めてゐたのです。

落着いて船中の人となつたのは十二時半です。

二時頃でありませう、まづい食事を樂しき日の想ひ出と、誰もにこやかに食べて居る。美しい一ツのホームの樣です。午後の日は强い。デッキは人々の群で賑ふ、浪靜かなる朗かな海を背景に甲板を歩き、語り、眺め、かけをどり、はねて、餘りに靜かな穩かな天候に感謝しました。

「もつと搖れるといゝね」

「波がないと船に乘つた樣な氣がしないわ」

運動につかれた一行は、夕食をちかねた程今日の一日は樂しかつた。海の夕日は怖ろしい程紅く水平線に消へて行く。島影はもとより、動くもの一つない、水ばかりの黃昏。暮れ行く地平線のあなたは何處ぞ、見知らぬ國への想像は懷しい母を思はせます。

合理的な洗濯の仕方

むやみに石鹼ばかりよけい使つても決して洗濯物がきれいにはならない石鹼液の作用する濃度は〇、二乃至〇、三パーセントであるから一般にやつてゐるやうに布面一ぱいに石鹼をベタ〳〵塗りつけるとは徒らに石鹼を浪費するのみである、それで先づ〇、二乃至〇、三パーセントの石鹼液をこしらへ其の中に洗濯物を數時間浸した後汚れの甚だしい部分を洗ふやうにすれば石鹼の節約は勿論勞力の節約も出來るわけである、それから使用水の硬軟は石鹼の使用量と密接な關係があつて硬水を使へば石鹼の損失は免れない、故に使用水は一旦煮沸かしたものか或は豫じめ苛性曹達なり炭酸曹達よりのアルカリ性藥品を投じて置けば石鹼の使用量は少くて濟むのである

▽醫學博士濫造に對する非難の聲いよ〳〵高まる

▽本日擧行される小學校の卒業式を最後として市內の各學校はいづれも學年末休業に入り本屋の店頭は教科書を買ふ學生兒童で押すなく

けふの放送

實用支那語會話　第四十二

1 您這房子很好啊
2 不好、太窄了
3 一共幾間
4 六間、可惜沒有樓
5 有六間彀住了
6 屋子太髒
7 那兒的、很乾淨
8 老沒拾掇哪
9 這是您自己的麼
10 不是我的、是租的
11 房錢是多少
12 每月五十塊錢
13 五十塊錢不算貴
14 可還得自己修理
15 房東不管麼
16 都是自己拿錢
17 院子倒寬
18 寬是寬、太敞了
19 房東是誰
20 是一個相好的

譯文

1 貴方の此家作は大層結構ですね
2 好い事は有りません、狹過ぎます
3 全體で幾間です
4 六間です、惜いかな二階が有りません
5 六間有ればお住ひには充分です
6 部屋が隨分汚れて居ます
7 どう致しまして、大層きれいです
8 一向手を入れませんので
9 これは貴方の御自分ものですか
10 私のでは有りません、借りて居るのです
11 家賃は如何程ですか
12 月五十圓です
13 五十圓はお高い方では有りませんね
14 デモ自分で修繕しなければ成りません
15 家主は構ひませんか
16 皆自分が持出しです
17 庭は割合お廣いですね
18 廣い事は廣いが、餘りだだつ廣いです
19 家主は誰ですか
20 極く懇意な者です

新字　窄。賦。租。寬。敞。相。

童話

雷のお家（一）

柄木田照茂

それは未だ三郎の小さい時の事でした。よく雷のなる頃の事です。或る日の午後三郎は佛樣にお供へするお花を摘みに裏山へ行きました。裏山といつてもそう高くはありません。小高い丘ぐらゐなものです。大きな木などは一本もなく禿山なのです。それでも桔梗や女郎花や、すゝきが山一面に咲き誇つてまるで花園のやうにきれいでした。三郎は無中になつて、あちらこちらと探し廻つてをりましたが、いつしか長い夏の日が西に傾いて、あたりがうす暗くなるのも忘れて一生懸命摘んで歩いてをりました。

大きな花束が二つも三つも出來てさあ歸らうと氣がついた時はもうすつかり日は暮て歩いて來た道さへ雅然わからないくらゐでした。

三郎は泣きじやくり乍ら歸りの道を探しましたけれども、さつぱりわかりません。あんなにおうちから近い筈だのに今日に限つて仲々遠いやうに思はれてなりません。

「お父さん」

「お母さん」

三郎はもう泣くのを止めて、こう大きな聲で呼んで見ました。けれど答へてくれるものは山彥より外には誰も答へてくれません。

テレビジヨン

△公衆電話の料金を轉々として盜まれる大阪電話局では今度料金を盜まれぬ電話機を考案、金は地中に埋沒されたコンクリートの金庫中に落ちる裝置になつてゐるのださうだ

▽「御主人から御註文がありましたから蒲鉾を持つて參りました」と釣錢まで用意した新手な押賣り詐欺が神戸に現れた

探偵小說 女妖(46)

江戸川亂歩作 横溝正史 伊藤幾久造畫

富豪の秘密(四)

名越伯爵――實は成瀬子爵は、輕く花子の腕をとると、踊子たちの側を拔けて、廣間を突つ切つた花子は今自分の腕をあづけてゐる男が、戀しい許婚者であらうなどとは夢にも氣がつかぬ。然し、相手の物柔かな態度なり、口吻なりが、初對面の人とも思へぬ氣易さを彼女に與へるのであつた。成瀬子爵は、その表面に見えてゐる程決して冷靜ではなかつた。自分は今、命にも變へ難い女と手と手をとつて、この華やかな夜會の席にゐるのだ。然し、おゝそれは何といふ慘めな、哀れな立場であらうか胸の中には溢れる程の愛の言葉の數々が秘められてゐる。然し、今、一言半句と雖も、さうした言葉を吐いてはならないのだ。いや〳〵に出す事はおろか、素振りの端くれにさへ、婦人らしい様子を示す事は禁じられてゐるのだ。悲しい試練――本當に世にかくも悲しい試練があらうか。

「此方へは度々いらつしやいますか」

やがて、賑やかな廣間を突切つて、物靜かな部屋へ入つて、柔かな長椅子に腰を下した時、花子はふとかう口を切つた。棕櫚の葉影が、紫色の好もしい電燈の光の中に、多角的な陰影を作つてゐる。相手がこの伯爵の様な老人でなければ、決して若い女が男と差向いでゐるべき場所ではない。然し、花子は、イギリスの貴族といふにさはしい相手の態度にすつかり安心し切つてゐた。

「あゝ、パリーですか、いゝえ」

伯爵は何か他の事を考へてゐたと見えて、花子からさう聲をかけられると周章て返事をした。が直にその後へ言葉をつゞけて、

「七年振り――さうです。七年振りになりますかね。何しろ急がしい暇のない身體ですから……」

「何か政府の御用でも……」

「いや、さうはつきりした仕事でもないのです。でもまあそんなものでせうか」

「今度も矢張り御用の筋で……？」

「それとも只お遊びにいらしたのでございますか」

「まあどちらつかずといふのが本當でせうか。暫くスイスの方へ保養に出かけてゐたのですが、その歸途、このパリーにゐる舊友を訪ねようと思つて、久し振りに立寄つたのですが……」

「その方にお逢ひになりまして？」

花子は何の氣なしにさう言つた伯爵はその言葉に凝つと花子の顔を見てゐたが。

「それが殘念ながら逢へないのです。意外な災難から、その舊友が身を隱してゐるやうな始末でして……」

「まア」

花子は思はず伯爵の顔を振返つた、その途端、二人の視線ははしなくも宙でピツタリと會つた。伯爵は周章てゝ眼を反す。花子はさつと顔を紅めると激しい動悸を胸に感じた。よく似た話があるものだ。この人の舊友といふのも、災難から身を隱してゐるといふ、そして自分の戀人成瀬子爵……。

彼女は急に忘れやうとつとめてゐた苦痛を感じ。

「ねえ花子孃」

その様子を注意深く見守つてゐた伯爵は、急に思ひがせまつたやうに身體を前へ乘出すと。

「お驚きになつてはいけませんよ私が探してゐる友達といふのは今貴女が思つていらつしやる人物と同じ人間なのです。ね、お分りになりましたか、私の舊友と言ふのは成瀬子爵なのですよ」

伯爵は花子の耳許に口をよせると、そつとそう呟いた。花子は突然世界が覗きからくりの繪板のやうにパッタリ變るのを感じた。彼女は思はず低い叫びを上げると伯爵の手をしつかりと握りしめた。伯爵の燃えるやうな息を頬に感じながら……。

後藤新平伯の銅像原型が出來上る
臺石を合せて高さは四十尺
朝倉文夫氏が製作

【東京特電二十三日發】故後藤新平伯の功績を永久に記念するため關東廳、滿鐵及民間有志の發起で大連星ヶ浦公園に建立する後藤伯の銅像は彫刻家朝倉文夫氏が創作中であつたが廿三日原型が出來上つた、銅像高さ一丈六尺、臺石の高さ二丈四尺を合せ四十尺に達し東京市内には未だ之に匹敵すべきものがないといふ大きさで堂々たる裝ひである、近く鑄造に着手し本年九月大連に於て盛大な除幕式が擧行される豫定であるが、廿三日下谷區谷中天王寺町のアトリエに朝倉氏を訪へば左の如く語つた

當り伯の銅像が出來上つたことは何等かの因縁があるのではないかと思ひます、雛形及設計に約一ヶ年を費し原型の作製は本年正月から始めました、伯の特徴である眼鏡、口、顎等を充分に表現すると共に銅像全體にも美しい表情を發揮するに努めました

大連灣内に濃霧襲ふ
廿三日午後から

二十三日正午頃から大連灣近海の濃霧が次第にその度を加へ午後一時半頃は全く灣内一帶濃霧に閉され船舶の航行を不能ならしめ午後零時半入港豫定であつた榊丸は午後一時頃三山島附近まで入港せしも濃霧のため徐行危險となり海務局廟島丸に水先され三時半頃辛うじて着埠した

復興帝都の見物
入京した張宗昌氏談

【東京廿三日發電】別府に亡命中の問題の人張宗昌氏は既報の如く一行八名を以て二十三日午前十時五十分東京驛着、直ちに帝國ホテルに入つた、流石の豪傑であるが今日の一行は女氣一つもないホテルでは二階の四室を借切と云ふ豪勢振り、張氏はロイド眼鏡に五分刈り頭、コンサージを着込んで聲く御くばかり大入道姿をどつかりソファに腰をおろし葉卷をくゆらし早くも押寄せた面會人に丁寧に握手の手を差出し愛嬌を振りまいてゐるが刺客が狙ふ賞金五萬元の快傑とも見えない、今回の上京は復興帝都見物の爲めと云つてゐるが滯在一週間の内には各方面の人々と會見を遂げる事になつてゐる氏は語る

私も御蔭で體もすつかり良くなつたが、歸國期はまだはつきり決つてゐない、昨夜は箱根で地震に驚かされました

氏は午餐を濟ますと警察の護衞をも辭退して自動車で早速市中見物に出掛けた

各映畫會社が假裝大行列
四月封切の特作品に因んで
けふの廣告祭の催し

【東京特電二十三日發】帝都復興祭を機會に沈滯してゐる興行界を華やかな昔に返すべく各映畫會社ではそれ〴〵趣向を凝らし復興ニユースを全國に上映して花のお江戸へお上りさんを集める計畫もあるが明二十五日に行はれる廣告祭には日活、松竹、マキノ、帝キネ（東亞のみ不參加）の各社はいづれも四月に封切する特作映畫に因んで大々的の假裝行列を行ひ芝公園から上野公園まで都大路を練り歩くが各社ともその趣向を秘してゐるのでハッキリしないが松竹では林長二郎を京都から連れて來るといふ說もあり日活はいづれ「大忠臣藏」に因んだ素晴らしい行列をやる事になるであらうと

自動車が列車と衝突
三名卽死

【福島二十三日發電】二十三日午前一時十二分常磐線上り二百六號列車が湯本驛を發し直灘踏切に差し掛つた際海邊側より活動寫眞機械、フキルムを積み乘客六名を乘せて疾走し來つた自動車と衝突し自動車は二十五メートルを引ずられ大破し運轉手及び乘客二名卽死し四名重傷を負ふた

太田選手優勝す
日英庭球戰

【イギリス、フオレストヒル二十二日發電】フオレストヒル日英庭球トーナメント本日の決勝成績左の如し

△男子シングルス決勝

太田（六―一、六―三）三木

△混合ダブルス決勝

三木、マツドフオード孃（六―二、七―五）太山、ジヨンソン孃

△男子ダブルス決勝

イームス、ホイートクラフト（一―六、六―四、六―三）太田、三木

安奉線釣魚臺附近にトンネルをつくる
愈よ工費約三十萬圓を投じて
本年一ぱいに完成

滿鐵では昭和四年度の追加豫算を以て安奉線釣魚臺附近に六百米突餘の隧道を鑿掘することゝなり近く工事に取懸る筈だが、これについて滿水工務課長は語る

安奉線　釣魚臺附近は滿鐵線隨一の景勝の地であるが岩石が脆いため往々その岩石が線路上にころげ込み殊に解氷期にそれが多いため列車の運行上危險視されて非常に支障を生ずる場合が少くないから從來鐵道部でもこの點については相當研究されてゐた、今度いよ〳〵追加豫算を計上して隧道を作ることに決定、その設計を急いでゐたが漸くその完成を見るに至つたので近く

工事に　着手する筈である工費は約三十萬圓だが隧道鑿掘のため釣魚臺の風光を損ずることは勿論列車内から眺望する風光も從來より惡くなることはなく寧ろよくなるだらうと思つてゐる、工事の完成は本年一杯と見れば間違ひなからう

池塘の春　きのふ中央公園て

故三浦大佐の遺骨が歸る

【東京特電二十三日發】去る一月二十八日佛國で客死した前佛國帝國大使館附武官三浦省三大佐の遺骨は未亡人が携帶して鹿島丸で二十四日神戶入港二十五日午前九時東京驛着の豫定で葬儀は來る二十九日水交社で執行の筈である

操縱士なしで飛ぶ飛行機
ドイツ人の新發明

飛行機の發達は今なほ停止する處を知らぬ有樣であるが最近ドイツでは更に驚くべき發明が行はれたそれは操縱者なしに飛行機を飛ばせることである。最近この新しい裝置を施した飛行機にドイツ航空局長エルンスト・ブランデンブルグ氏が同乘して實地に新發明の見學を行つたが飛行士が操縱席を離れてブランデンブルグ氏の居る客室に來た時には既にその裝置あることは知つて居たものゝ少からず驚いた。然し飛行機はその儘三十分にわたり自動的に飛行し次で飛行士は操縱席に歸り安全に着陸した。右飛行に使用した飛行機はユンケル氏W三十三型で飛行士は前水上機操縱士エッチ・ボイカウ大佐であつた。同大佐が此の安全裝置を發明したのであるが稱して「自動操縱機」と云つて居る。氏の說明によればこの裝置さへあれば誰もハンドルを握らず數哩の間を安全に飛行することが出來るとのことである。尙之より先き右の新裝置を施した飛行機は霧深く嶮惡な模樣の天候で普通の定期航空も中止された日に試驗飛行を行つたが何等の故障もなく直線飛行や旋回飛行を難なくやつてのけた。之が實用化されたら飛行機の操縱技術上一大革命を齎すであらう【ベルリン發】

支那の航空母艦
始めて上海で竣工す
飛行機二臺を積める

【上海二十三日發電】當地支那側海軍造船所にて支那最初の空航母艦威勝の艤裝を完成したので二十四日當地發南京に上航する、該艦は飛行機二臺を積込み得る

本社主催
フル・マラソンの競技規程決定す
優秀な選手は極東大會豫選へ
滿洲體協から派遣

恒例による本社主催の本社前—蔡大嶺間往復フル・マラソンはいよ〳〵來る四月十三日午後一時より擧行されるが、二十四日正午より本社會議室に滿鐵運動會の岡部平太、高橋俊夫兩氏、滿洲體育協會主事林田學氏及び大連アスレチック倶樂部幹事福元義德氏らの參集を煩はし本社員出席協議の結果左記の如く競技規定を決定した、なほ當大會に於て優秀なる記錄を殘したる勝者には銓衡の上來るべき極東オリムピック第二次豫選に滿洲體協より派遣されることになつた

期日　四月十三日（日曜日）午後一時

發着點　滿洲日報社正門前

コース　▲往路—本社前山縣通（大廣場左廻り一周半）西廣場（左廻り半周）常盤橋、伏見臺、旅大道路、蔡大嶺切通しにて引返し

歸路　蔡大嶺、星ヶ浦、伏見臺常盤橋、西廣場（左廻り半周）大廣場（左廻り半周）山縣通り本社前に至る

競技規定　一等より二十等まで入賞として締切り完全に競走を續け到着點に達したる參加者に參加記念賞を贈る（なほ切返し點に於ける一着より三着迄の順位者にも賞品を授與す）

申込方法　住所氏名職業年齡を名記して四月十日正午迄に到着する樣本社運動部宛參加料五十錢を添へ申込みのこと

大ボイラー
無事哈市につく

チユーリン商會註文の大ボイラーは廿一日夜途中無事寬城子驛着、廿二日ヂヤツキで東支線貨車に積換へ廿三日朝寬城子發赴哈したが廿四日夜哈爾賓に到着したと

商工學校募生

市立大連商工學校では過般商業本科の入學試驗を施行したが、受驗者日本人三十名、支那人八名の中合格者は日本人二十五名、支那人三名、計二十八名である、なほ若干名を募集するから入學希望者はこの際至急學校まで申出て貰ひたいと

性病豫防注射公費支辦に
いよ〳〵滿鐵で實施に內定
沿綫の藝酌婦へ福音

滿鐵沿線附屬地における藝妓、酌婦の總數は約千五百名であるが、從來これ等の特殊婦人が疾病に罹りサルバルサン等の注射を行ふ場合、その代價の支辦は一部形式的に樓主の負擔となつてゐるものもあるが、實際に於ては殆ど全部患者自身の負擔する有樣でこの點一個の社會問題として將又公衆衞生の見地からも改善の餘地あるものとして滿鐵地方部でも從來から研究中であり、關東廳警察官會議でも問題となると共に先般開かれた地方委員聯合會でもサルバルサン注射料の全額公費支辦を要望する旨決議を行つた結果、滿鐵ではいよ〳〵五年度においてこれを實施することに內定してゐる、實施の曉はか弱い特殊婦人の負擔を來より輕減する一方附屬地における性病豫防施設の徹底を見るものとして期待されてゐる

大掃除の延期を疊職組合が嘆願
仕事を緩和したいと

大連署の春季清潔法は每年四月下旬から五月上旬にかけて施行されるを例としてゐるが、疊職工組合では之れを五、六月下旬に御指令これ有る樣と二十三日大連署衞生係に嘆願して來た、施行延期の理由は淸潔法施行の前後が丁度疊換の時期に相當し淸潔法を控へて一般家庭の疊換が一時に行はれるので相當多忙なのみならず、各諸官公署の宿舍に於ける疊工事もまた施行され右組合員のみではその需要を充たし兼ねる狀態であり內地各方面より臨時募集して之に當らしむるも彼等に責任感なく就業に際して徒らに競爭しその結果は施行の不備不完を招くに至り需要者に迷惑をかける場合が多い斯くの如き次第で淸潔法施行前に於ては一時に仕事が殺倒し組合員のみでは手不足を感ずるも淸潔法施行後になると反對に減少し現組合員のみでも多過ぎる位であるから仕事を緩和する意味に於て五月下旬か六月上旬ごろに延期して貰ひたいと云ふのである

明政軟化事件
關係者取調べ

【東京二十四日發電】明政會抱き込み事件搜查のため上京中の大阪檢事局の末次檢事は二十三日午前中辻川を召喚して明政會當時の事情聽取正午歸宅を許し、更に午後三時ごろ長野縣選出元代議士大澤辰次郎氏を召喚し夜九時過ぎまで同樣取調べをなし歸宅を許した、右取調により明政會當時の政局に對する關係ほゞ明瞭となつたもの如くである、なほ當日吉植といふ四十年輩の人物が召喚されたが右は傳へらるゝ如き吉植庄一郎氏とは全く別人である

鎭海事件の弔慰感謝狀

去る十四日鎭海事件犧牲者送葬の日に當り本社は同地要塞司令部宛弔電を發したが、これに對し廿四日左記の如き感謝狀を寄せて來た

謹啓　三月十日當部內不祥事件突發に際しては早速御鄭重なる御見舞を辱ふし奉萬謝候善後の處置に就ては一同誠心誠意微衷を披瀝して萬全を期し殉難者の靈を慰め且つ各位の御芳情に酬い度と心掛け居候、先は不取敢御禮迄申述度如斯に御座候　敬具

昭和五年三月十六日

鎭海灣要塞司令官陸軍少將櫻井源之助、同參謀陸軍步兵少佐北島卓美、同副官陸軍砲兵大尉高崎季夫、同工兵部員陸軍工兵大尉佐々木隆綱、同砲兵部員陸軍砲兵大尉田島和市郞、同部附陸軍工兵中尉秋山源三、同部附陸軍二等主計小野英樹

霞町のボヤ

廿四日午前十一時ごろ沙河口霞町滿鐵技術硏究所本館裏倉庫にて同所苦力が湯を沸かさんと火をつけたところ、傍らにあつた薪に延燒しあはや大事に至らんとしたが急報により消防署員急行し直ちに消し止めた損害輕少の見込

苦力墜落卽死

目下繫留中の第廿六共同丸において乘客苦力曹鳳（三）はあやまつて船艙に墜落頭蓋骨を粉碎して卽死を遂げた

年收十五萬圓！
日本一の外交員

十五年間に八千五百萬圓の契約をとつた外交の第一人者渡辺吉氏の驚くべき外交秘訣、見よ！キング四月特大號の大評判讀物（廣告）

本社見學

大連遞信講習所本年度卒業生一行七十五名は寺島教師に引率され二十四日午後本社を見學した

滿電と對戰し大商軍勝つ
シーズン最初の試合で
滿倶球場の大賑ひ

5A—4

滿電對大連商業の野球戰は二十三日午後二時十分から滿倶球場に於て二宮（球審）五百旗頭兩氏審判の下に擧行、今シーズン皮切りの試合とて時節離れの寒さにもめげず觀衆多く結局五A對四で大商勝つ閉戰四時二十分、經過左の如くである

試合經過

第一回▲滿電　二死後芥田二飛失に出で和田の左翼二壘打に芥田生き和田三壘を衝いたが二三壘間に挾殺さる▲大商無得

第二回　▲滿電一死後大藤三壘強襲單打持原四球今泉投前に二走者進壘大藤ホームスチールして成り横山三飛▲大商無得

第三回　兩軍とも無得

第四回　▲滿電無得▲大商白石三壘右單打谷口も亦二壘左單打に出でたが谷口牽制球に死し因藤遊邪飛前單打梅本遊前工藤二飛失に白石生還堀邊三邪飛に止む

第五回　▲滿電無得▲大商伊藤左翼單打原田三壘左單打德永の犧打に走者それ〴〵送られ再び白石の犧打に伊藤生還同點となつたが谷口三飛

第六回　▲滿電芥田投前和田左翼二壘打藤枝左翼飛失に生き走者進壘大藤三振鈴木二壘トンネルに二走者生還今泉遊前に二點を勝ち越す（大藤藤枝と交替す）▲大商一死後梅本左翼二壘打工藤左翼單打に梅本生還、工藤盗壘堀邊伊藤共に四球（藤枝大藤と交替す）原田二飛に工藤生還德永投飛に再び同點となる

第七回　▲滿軍チャンスあるも成らず▲大商白石二飛失に生き谷口因藤投前に走者進み梅本二壘右單打に白石生還一點を勝ち越したが後續かず

第八回　兩軍無得

第九回　滿電最後の攻擊を開始せしも遂に成らず五A對四で敗れる

滿電　大野、佐賀、芥田、和田、藤枝、大藤、持原、鈴木、今泉、横山　打35　安4　犧0　盗3　三2　四4　失4

大商　白石、谷口、因藤、梅本、工藤、堀邊、伊藤、原田、德永　打32　安10　犧2　盗4　三1　四3　失7

二壘打和田一、三壘打梅本（兄）一、死球因藤一、併殺工藤—白石—伊藤

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	合計
滿電	1	1	0	0	0	2	0	0	0	4
大商	0	0	0	1	1	2	1	0	A	5A

戀と地獄（80）

三上於菟吉作　鶴田吾郎畫

狂夢（一）

「送つてくれないでもいいわ――すこし遅くなりすぎたけど、わたし、車を呼んで貰つてひとりで歸ることよ」

と、綾子が囁いた。

さまざまな、眩ぐるしい出來事があつた後で、どんな強い戀の刺激を求めつくしても、どこまでも飽きたりることの出來ないやうな綾子から、甘く、ねちねちした、魂の根に手でからみつくやうな、手の、目の、言葉の、唇の愛撫を受けた詮三は、もう大分夜が更けて戀人が家路につかなければならぬ頃には、ぐつたりと部屋隅の籐椅子に倒れたまゝ、蒼ざめた額に冷たい汗をうかべて默り込んでゐる外はなかつた。

「でも、ひとりになつてから又つまらないことを考へては厭よ――ねえ、詮さん、あなたを私から盗んで行かうとした人だつて言つてゐるではないこと？あなたはもう要らない人だつて、それなのに私にはあなたといふものがなければ生きてゐられないのだもの……それ程あなたが必要なんですもの……もう私を裏切るやうな氣持なんか起しては駄目よ、よくつて？わたし、もうあなたのためには何でもかでも捨ててゐるぢやないこと？わたし、もうとうに女性としてはこれ以上貴いものはないと言はれるものまで、あなたに差上げてしまつてゐるのぢやないこと？……あなたは、わたしが、どんなに未來を樂しんでゐるか知り切つてるくせに、そのわたしから未來を奪つてしまふやうなことを平氣でなさるのだもの……かうしてゐてもまだあなたは物足りないの――不平なの？外のものがほしいの？……よ、詮さん？」

綾子は汗ばんだ白い手で、籐椅子の外へぐつたり垂れてゐる青ざめた男の手を取つて唇に當てた。

詮三は香料と汗と體臭との入りまじつた匂ひが、少しはだかつた胸元から顫つて來るのを嗅いで殆ど眩暈を感じるのだつた――。

「ね、詮さん――わたしとの世界だけでは滿足が出來ないの？……わたしはこんなに二人だけの世界で滿足してゐるのに……」

綾子は握つた手をぎゆつと緊めつけて、むつちりと盛り上つた乳房の上に押しあてた。

詮三は、その瞬間、彼女の全身がある感覺の歡びに輕く戰慄するのを感じた……。

けれども、彼に取つては、彼女が今言つてゐることも、してゐることも、みんなあまりに重苦すぎた。息詰るやうな氣持を與へすぎた。

彼は何とか返事をするのさへ物憂かつた。默つたまゝ疲れた目でつい鼻の先に――燈光に背いたために大さう眞白に――白堊を塗りこくでもしたやうに不氣味に眞白に見える綾子の顔と、眞黒にきらめかして輝やいてゐる瞳とを眺めてゐた。

「詮さん、どうして默つてゐるの返事をして下さらないの？」

と、綾子はその白い顔と眞黒な目とをつい側に持つて來てせがんだ。

滿日文藝

滿日川柳『春雜吟』

大連　句浪人
芽生えする頃から家出急に殖え
家計簿の石炭代は子の貯金

大連　佛心
萬物の目覺めやうに春の雨

四平街　良博
どん底に住んでも長閑な春の夢
黄塵の中から馬車のきしる音

大連　木の葉
勸題の蠟がかんでる春の海
草花の上で辨當畫を待ち

沙河口　水母
ウインドーへ呉服屋だけは春を告げ
去年見たダリヤの色で貰ひに來

大連　黒眉
質札へちと利子足らぬ春が來る

旅順　滿子
春の宵無駄な話の種つきず

奉天　子草
打水にまだ冷たい春の水

大連　子禾
摘草も萎れて滿足のやゝ疲れ

大阪　朋邦
蜜豆のやうな新婚の春の夢

大連　笠原
辨當が二列に歩く星ヶ浦

普蘭店　火呂志
受驗前うらゝか過ぎて癪な春

沙河口　啞佛
春の陽へ龜ぽつかりと浮いた儘

旅順　樂臺
先生の笛に摘草みんな捨て

沙河口　水母
地下室へもう春が來た野菜籠

旅順　榮丸
爪彈で春雨に暮れる四疊半

月南
春雨の音へ宵寢のゐつかれず

新刊紹介

▲犬ものがたり（中根榮著）　著者は日本電通の編輯長として麗筆の所有者亦日本シエパード倶樂部の創立者の一人として愛犬家としても名を知られてゐる、全篇は行脚、犬小品、シエパード篇、雜の四つから成り、全世界から材料を集めて紀元當初から一九三〇年までの犬物語を載せてゐる「忠犬デルタ」はボンペイを埋めたヴエスビアス噴火の際に主人の子供に殉じた「忠犬」の物語「伯林の盲導犬」は盲人の手引をするシエパード犬の活躍を叙したものである、アルプスの山路で雪に惱む四十人の巡禮者を助けた有名な義犬バレーの物語、ビクトリヤ女王の御愛情を一身に受けた忠犬チム、歐洲戰亂に活躍した軍用犬の偉勳など、感激の深い物語りが約百餘篇、それに著者の犬を中心とした隨筆數十篇を收めてゐる、最後にシエパード編を附し、最近世界的に流行してきた一九三〇年度の犬として日本では軍用犬に、警察犬に、番犬に熾んに愛育されてゐるシエパードについての著者の蘊蓄を傾けてゐる、ユーモアに富んだ隨筆として近來にない快著であるといふことが出來る裝幀及び序文は共に櫻井肉彈大佐が筆をとつてゐる（定價一圓八十錢、東京麹町區麹町丁未社出版）